XPERIA Tablet Z SO-03E

取扱説明書

'13.3

はじめに

「SO-03E」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

SO-03Eの取扱説明書について

SO-03Eの操作説明は、本書のほかに『クイックスタートガイド』や本端末用アプリケーションの『取扱説明書』で説明しています。

● **『クイックスタートガイド』（本体付属品）**
お買い上げ時に最初に行う基本的な操作や設定のほか、画面の表示内容、主な機能の操作などを説明しています。

● **『取扱説明書』（本端末のアプリケーション）**
本書同様に各種機能の操作や設定操作などを説明しています。『取扱説明書』アプリを利用するには、ホーム画面で をタップし、［基本機能／設定］▶［取扱説明書］をタップします。初めてご利用になる場合は、画面の指示に従ってアプリケーションをダウンロードしてインストールする必要があります。以後は電子書籍としてご覧いただけます。また、説明ページの記載内容をタップして実際の操作へ移行したり、参照内容を表示したりできます。

❖注意

- アプリケーションのダウンロードおよびアップデート時には、データ量の大きい通信を行いますので、パケット通信料が高額になります。このため、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。

● **『取扱説明書』（PDFファイル）**
各種機能の操作や設定操作などを説明しています。次のドコモのホームページよりダウンロードできます。
http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html
※『クイックスタートガイド』の最新情報もダウンロードできます。なお、URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

❖注意

- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- SO-03Eに関する重要なお知らせを次のホームページに掲載しております。ご利用の前に必ずご確認ください。
http://www.sonymobile.co.jp/support/use_support/product/so-03e/

操作説明文の表記について

本書では、各キー(アイコン)の操作を ⓞ、[↩]、[⌂]、[□]、[◁ ▷] を使って説明しています。また、タッチスクリーンで表示されるアイコンや項目の選択操作を次のように表記して説明しています。

表　記	操作内容
ホーム画面で[::]をタップし、[基本機能／設定]▶[設定]▶[タブレット情報]をタップする	ホーム画面で[::](アプリケーションボタン)をタップして、次に表示された画面で「基本機能／設定」を、さらに表示された画面で「設定」、「タブレット情報」を順にタップする
アイコンをロングタッチする	画面上のアイコンを長めに(1〜2秒間)触れたままにする

❖お知らせ

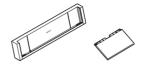
- 本書の操作説明は、横画面でお買い上げ時のホーム画面からの操作で説明しています。別のアプリケーションをホーム画面に設定している場合などは、操作手順が説明と異なることがあります。
- 本書で掲載している画面やイラストはイメージであるため、実際の製品や画面とは異なる場合があります。
- 本書では、操作方法が複数ある機能や設定の操作について、操作手順がわかりやすい方法で説明しています。
- 本書の本文中においては、「SO-03E」を「本端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書はホームアプリが「ドコモ」の場合で説明しています。ホームアプリの切り替え方法については、「ホーム画面の見かた」(P.67)をご参照ください。

本体付属品

- SO-03E本体（保証書付き）

- クイックスタートガイド

- SO-03Eのご利用にあたっての注意事項
  安全上／取り扱い上のご注意

- 卓上ホルダ SO16（保証書付き）

- microSDHCカード（16GB）（試供品）※
  （お買い上げ時は、本端末に取り付けられています。）

- マイク付ステレオヘッドセット
  （試供品）※

※ 取扱説明書付き

オプション品については、「オプション品・関連機器のご紹介」（P.223）をご参照ください。

目　次

本端末のご利用について

- 本端末は、LTE・W-CDMA・GSM／GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所、Xiサービスエリアおよび FOMA サービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが4本たっている状態で、移動せずに使用している場合でも通信が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。
- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリケーションなどによっては、本端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用される可能性があります。このため、ご利用されるアプリケーションなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- 本端末は、Xiエリア、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- 本端末は、ｉモードのサイト（番組）への接続やｉアプリなどには対応しておりません。
- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリケーションのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- モバキャスは通信と連携したサービスであるため、サービスのご利用にはパケット通信料が発生します。パケット定額サービスの加入をおすすめします。

- お客様がご利用のアプリケーションやサービスによっては、Wi-Fi通信中であってもパケット通信料が発生する場合があります。
- 本端末ではマナーモードに設定中でも、シャッター音やアラームなどの音声は消音されません。
- 画面ロック解除画面（P.37）にオペレーター名が表示されます。
- お客様の電話番号（自局番号）は、ホーム画面で をタップし、［基本機能／設定］▶［設定］▶［タブレット情報］▶［端末の状態］をタップして、「電話番号（MDN）」で確認できます。
- 本端末のソフトウェアバージョンは、ホーム画面で をタップし、［基本機能／設定］▶［設定］▶［タブレット情報］をタップして確認できます。
- パソコンからインターネットを経由してアップデートファイルを取得し、パソコンと本端末とを接続することでソフトウェアを更新することができます。詳細は、「パソコンに接続して更新する」（P.234）をご参照ください。
- 本端末の品質改善を行うため、ソフトウェア更新によってオペレーティングシステム（OS）のバージョンアップを行うことがあります。このため、常に最新のOSバージョンをご利用いただく必要があります。また、古いOSバージョンで使用していたアプリケーションが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- 本端末では、ドコモminiUIMカードのみご利用になれます。ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてドコモminiUIMカードにお取り替えください。
- 紛失に備え、画面ロックを設定し本端末のセキュリティを確保してください。詳細は「画面ロック」（P.136）をご参照ください。
- 万が一紛失した場合は、Google トーク、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスやFacebook、Twitter、mixiを他の人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワード変更や認証の無効化を行ってください。
- Googleが提供するサービスについては、Google Inc.の利用規約をお読みください。また、そのほかのウェブサービスについては、それぞれの利用規約をお読みください。
- Googleアプリケーションおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。

- spモード、mopera Uおよびビジネスmoperaインターネット以外のプロバイダはサポートしておりません。
- テザリングのご利用にはspモードのご契約が必要です。
- 本端末は、音声通話およびデジタル通信（テレビ電話、64Kデータ通信）には対応しておりません。
- ご利用の料金プランにより、テザリング利用時のパケット通信料が異なります。パケット定額サービスへのご加入を強くおすすめします。
- ご利用時の料金など詳しくは、次のホームページをご覧ください。
  http://www.nttdocomo.co.jp/
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ **ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。**

■ **ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。**

■ **次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。**

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

絵表示	内容
禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は、下記の項目に分けて説明しています。

1. 本端末、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモminiUIMカードの取り扱いについて（共通）

⚠危険

禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。（衣服のポケットに入れる等して身につける場合も含みます。）
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。
防水性能についてはこちらをご参照ください。→P.21「防水／防塵性能」

指示

本端末に使用するアダプタは、NTTドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠警告

禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

卓上ホルダ用接触端子やmicroUSB接続端子、ヘッドセット接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどの原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
ガスに引火する恐れがあります。

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。
- **電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。**
- **本端末の電源を切る。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

指示

本端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながらゲームやテレビ視聴などを長時間行うと本端末やアダプタの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

2. 本端末の取り扱いについて

■ 本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

⚠危険

禁止

火の中に投下しないでください。
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

内蔵電池内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

⚠警告

禁止

赤外線発光部を目に向けて送信しないでください。
目に悪影響を及ぼす原因となります。

禁止

本端末内のドコモminiUIMカードやmicroSDカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。ただし、電波を出さない設定にすることなどで、機内で本端末が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。
電源オフ時に、本端末のmicroUSB接続端子に充電などのためmicroUSBケーブルで接続を行った場合は、操作はできませんが電源はオンになります。このため、航空機内や病院など、使用を禁止された区域ではmicroUSBケーブルで接続を行わないようご注意ください。

指示

通知音が鳴っているときなどは、必ず本端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。
音量が大きすぎると難聴の原因となります。
また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信音量の設定に注意してください。
心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。
ディスプレイ部の表面には、飛散防止フィルムを貼った強化ガラスを使用し、カメラのレンズの表面には、アクリル樹脂を使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

指示

内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

⚠注意

禁止

アンテナなどを持って本端末を振り回さないでください。
本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

禁止

本端末が破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

モーションセンサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった端末は、ドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。

指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
各箇所の材質について→P.14「材質一覧」

指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。
視力低下の原因となります。

指示

内蔵電池内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

3. アダプタ、卓上ホルダの取り扱いについて

⚠警告

禁止

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。
感電の原因となります。

禁止

コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコード、卓上ホルダ、コンセントに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

4. ドコモminiUIMカードの取り扱いについて

⚠注意

指示
ドコモminiUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。
けがの原因となります。

5. 医用電気機器近くでの取り扱いについて

⚠警告

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末は15cm以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づく恐れがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください（機内モードまたは電源オフなど）。
付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

6. 材質一覧

使用箇所	材質	表面処理
外装ケース：Black（フレームメイン）	ナイロン樹脂（ガラス入り）	ウレタン塗装処理
外装ケース：White（フレームメイン）	ナイロン樹脂（ガラス入り）	UV塗装処理
外装ケース：Black（ヘッドセット接続端子カバー）	PC／PMMA樹脂、PC樹脂	ハードコート処理、ウレタン塗装処理
外装ケース：White（ヘッドセット接続端子カバー）	PC／PMMA樹脂、PC樹脂	ハードコート処理、UV塗装処理
外装ケース：Black（microUSB接続端子カバー）	PC／PMMA樹脂、PC樹脂	ハードコート処理、ウレタン塗装処理
外装ケース：White（microUSB接続端子カバー）	PC／PMMA樹脂、PC樹脂	ハードコート処理、UV塗装処理
外装ケース：Black（microSDカード／ドコモminiUIMカード挿入口カバー）	PC／PMMA樹脂、PC樹脂	ハードコート処理、ウレタン塗装処理
外装ケース：White（microSDカード／ドコモminiUIMカード挿入口カバー）	PC／PMMA樹脂、PC樹脂	ハードコート処理、UV塗装処理
外装ケース：Black（リアパネル）	PMMA＋ガラス繊維	ウレタン塗装処理
外装ケース：White（リアパネル）	PMMA＋ガラス繊維	UV塗装処理
外装ケース（サイドパネル）	PC／PMMA樹脂	ハードコート処理
透明板（カメラ）	PC／PMMA樹脂	AR処理
透明板（ディスプレイ）	ガラス	ハードコート処理
化粧リング（カメラ）	ステンレス鋼	―
サイドキー（電源キー）	アルミニウム合金	陽極酸化膜処理
サイドキー（音量キー）	PC樹脂	UV塗装処理
卓上ホルダ（前ケース）	ABS樹脂	―
卓上ホルダ（後ケース）	ABS樹脂	―
卓上ホルダ（下ケース）	ABS樹脂	―
卓上ホルダ（ガイド右）	ABS樹脂	―
卓上ホルダ（ガイド左）	ABS樹脂	―
卓上ホルダ（飾り）	アルミニウム	アルマイト
卓上ホルダ（クッションスピーカー）	スチレン樹脂	―
卓上ホルダ（ゴム足）	スチレン樹脂	―
卓上ホルダ（スタンド）	ABS樹脂	―
卓上ホルダ（スタンド：ゴム足）	ウレタン樹脂	―
卓上ホルダ（ボタン）	ABS樹脂	―
卓上ホルダ（接触端子）	りん青銅	金メッキ

使用箇所	材質	表面処理
卓上ホルダ（シートネジ）	ポリカーボネート	―

取り扱い上のご注意

■ 共通のお願い

- **SO-03Eは防水／防塵性能を有しておりますが、本端末内部に水や粉塵を侵入させたり、付属品、オプション品に水や粉塵を付着させたりしないでください。**
  アダプタ、卓上ホルダ、ドコモminiUIMカードは防水／防塵性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
  - 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
  - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
  - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**
  端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
  急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- **本端末などに無理な力がかからないように使用してください。**
  多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。
  また、外部接続機器をmicroUSB接続端子やヘッドセット接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
- **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
  傷つくことがあり故障、破損の原因となります。
- **オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**

■ 本端末についてのお願い

- **タッチスクリーンの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。**
  タッチスクリーンが破損する原因となります。

- **極端な高温、低温は避けてください。**
  温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**
- **お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  故障、破損の原因となります。
- **microUSB接続端子やヘッドセット接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
  故障、破損の原因となります。
- **使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
  素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- **通常はmicroUSB接続端子カバー、ヘッドセット接続端子カバー、microSDカード／ドコモminiUIMカード挿入口カバーを閉じた状態でご使用ください。**
  ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- **microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。**
  データの消失、故障の原因となります。
- **磁気カードなどを本端末に近づけないでください。**
  キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- **本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。**
  強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- **内蔵電池は消耗品です。**
  使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換につきましては、裏表紙の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。**

- **本端末を保管される場合は、次の点にご注意ください。**
  - フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
  - 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管

  内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となります。
  保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をお勧めします。

■ アダプタについてのお願い

- **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **次のような場所では、充電しないでください。**
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- **充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。**
  自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- **抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。**
- **強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。**
  故障の原因となります。
- **卓上ホルダのスタンドを取り付ける場合は、指やアダプタのコードなどを挟まないようご注意ください。**
  けがなどの事故や破損の原因となります。

■ ドコモminiUIMカードについてのお願い

- **ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。**
- **他のICカードリーダー／ライターなどにドコモminiUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。**
- **IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。**
- **お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
- **お客様ご自身で、ドコモminiUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **環境保全のため、不要になったドコモminiUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。**
- **ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。**
  データの消失、故障の原因となります。

- **ドコモminiUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  故障の原因となります。
- **ドコモminiUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。**
  故障の原因となります。
- **ドコモminiUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けないでください。**
  故障の原因となります。

■ Bluetooth機能を使用する場合のお願い

- **本端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。**
- **Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。**
- **周波数帯について**
  本端末のBluetooth機能／無線LAN機能が使用する周波数帯は、次のとおりです。

2.4： 2400MHz帯を使用する無線設備を表します。

FH/XX/DS/OF： 変調方式がFH-SS、その他の方式、DS-SS、OFDMであることを示します。

1： 想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。

4： 想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。

8： 想定される与干渉距離が80m以下であることを示します。

■■■： 2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャネルは国により異なります。航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

- **Bluetooth機器使用上の注意事項**
  本端末の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

- 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
- その他、ご不明な点につきましては、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 無線LAN（WLAN）についてのお願い

- **無線LAN（WLAN）は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。**
- **無線LANについて**
  電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
  - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
  - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
  - 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- **2.4GHz機器使用上の注意事項**
  WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
  - この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
  - 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
  - その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

- **5GHz機器使用上の注意事項**
  日本で使用できるチャネル番号と周波数は次のとおりです。

	チャネル番号（Ch）	周波数（MHz）
5.2GHz帯	36	5,180
	40	5,200
	44	5,220
	48	5,240
5.3GHz帯	52	5,260
	56	5,280
	60	5,300
	64	5,320
5.6GHz帯	100	5,500
	104	5,520
	108	5,540
	112	5,560
	116	5,580
	120	5,600
	124	5,620
	128	5,640
	132	5,660
	136	5,680
	140	5,700

本端末に内蔵の無線LANを5.2／5.3GHz帯でご使用になる場合、電波法の定めにより屋外ではご利用になれません。

■ 注意

- **改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。**
  本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定を受けており、その証として「技適マーク㊆」が本端末の電子銘板に表示されております。電子銘板は、ホーム画面で▦をタップし、［基本機能／設定］▶［設定］▶［タブレット情報］▶［法的情報］▶［認証］をタップしてご確認いただけます。
  本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**
  運転中の携帯電話を手で保持しての使用は、罰則の対象となります。
  ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。
- **基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**
  ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。
- **通信中は、本端末を身体から15mm以上離してご使用ください。**

防水／防塵性能

SO-03Eは、microUSB接続端子カバー、ヘッドセット接続端子カバー、microSDカード／ドコモminiUIMカード挿入口カバーを確実に取り付けた状態で、IPX5※1、IPX7※2の防水性能、IP5X※3の防塵性能を有しています。

※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L／分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、通信端末としての機能を有することを意味します。

※2 IPX7とは、常温で水道水、かつ静水の水深1mのところにSO-03Eを静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに通信端末としての機能を有することを意味します。

※3 IP5Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に通信端末を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに通信端末の機能を有し、かつ安全を維持することを意味します。

SO-03Eが有する防水／防塵性能でできること

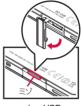
- 雨の中で傘をささずに通信ができます（1時間の雨量が20mm程度）。
  - 手が濡れているときや端末に水滴がついているときには、microUSB接続端子カバー、ヘッドセット接続端子カバー、microSDカード／ドコモminiUIMカード挿入口カバーの開閉はしないでください。
- 汚れたり水道水以外が付着した場合に洗い流すことができます。
  - やや弱めの水流（6L／分未満）で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温（5℃～35℃）の水道水で洗えます。
  - 洗うときはmicroUSB接続端子カバー、ヘッドセット接続端子カバー、microSDカード／ドコモminiUIMカード挿入口カバーを開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手洗いしてください。洗った後は、水抜きをしてから使用してください（P.25）。
- プールサイドで使用できます。ただし、プールの水をかけたり、プールの水に浸けたりしないでください。

防水／防塵性能を維持するために

水や粉塵の侵入を防ぐために、必ず次の点を守ってください。

- 常温の水道水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。
- microUSB接続端子カバー、ヘッドセット接続端子カバー、microSDカード／ドコモminiUIMカード挿入口カバーはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、水や粉塵が侵入する原因となります。
- マイク、スピーカーなどを尖ったものでつつかないでください。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- microUSB接続端子カバー、ヘッドセット接続端子カバー、microSDカード／ドコモminiUIMカード挿入口カバー裏面のゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。

■ microUSB接続端子カバー、ヘッドセット接続端子カバー、microSDカード／ドコモminiUIMカード挿入口カバーの開きかた

ミゾに指先をかけてカバーを開いてください。

microUSB
接続端子カバー

ヘッドセット
接続端子カバー

microSDカード／ドコモminiUIMカード
挿入口カバー

■ microUSB接続端子カバー、ヘッドセット接続端子カバー、microSDカード／ドコモminiUIMカード挿入口カバーの閉じかた

矢印の方向へカバーを押し込んですき間がないことを確認してください。

microUSB
接続端子カバー

ヘッドセット
接続端子カバー

microSDカード／ドコモminiUIMカード
挿入口カバー

防水／防塵性能を維持するため、異常の有無に関わらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

ご使用にあたっての注意事項

次のイラストで表すような行為は行わないでください。

〈例〉

石鹸／洗剤／入浴剤をつける

ブラシ／スポンジで洗う

洗濯機で洗う

強すぎる水流を当てる

海水につける

温泉で使う

砂／泥をつける

また、次の注意事項を守って正しくお使いください。

- 付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。
- 規定以上の強い水流（6L／分以上の水流：例えば、蛇口やシャワーから肌に当てて痛みを感じるほどの強さの水流）を直接当てないでください。SO-03EはIPX5の防水性能を有していますが、故障の原因となります。
- 万が一、塩水や海水、清涼飲料水がかかったり、泥や土などが付着したりした場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。

- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- 本端末を水中で移動させたり、水面に叩きつけたりしないでください。
- 水道水に浸けるときは、30分以内としてください。
- プールで使用するときは、その施設の規則を守って、使用してください。
- 本端末は水に浮きません。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。寒冷地では凍結し、故障の原因となります。
- マイク、スピーカーに水滴を残さないでください。動作不良となる恐れがあります。
- microUSB接続端子カバー、ヘッドセット接続端子カバー、microSDカード／ドコモminiUIMカード挿入口カバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切って、ドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。
- microUSB接続端子カバー、ヘッドセット接続端子カバー、microSDカード／ドコモminiUIMカード挿入口カバー裏面のゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口にてお取り替えください。

実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

水抜きについて

本端末を水に濡らすと、拭き取れなかった水が後から漏れてくることがありますので、次の手順で水抜きを行ってください。

① 本端末を安定した台などに置き、表面、裏面を乾いた清潔な布などでよく拭き取る

② 本端末を両手でしっかり持ち、マイクを下に向けて10回程度、水滴が飛ばなくなるまで振る。その後、スピーカーがある各側面を下に向けて、同様に各10回程度、水滴が飛ばなくなるまで振る

③ 乾いた清潔な布などで本端末の四隅を各10回程度、振るように押し当て、外周部のすき間に溜まった水分を拭き取る

④ マイク、スピーカー、電源キー、音量キー、卓上ホルダ用接触端子、各カバー（microUSB接続端子カバー、ヘッドセット接続端子カバー、microSDカード／ドコモminiUIMカード挿入口カバー）などのすき間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに本端末を10回程度振るように押し当てて拭き取る

⑤ 本端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、自然乾燥させる

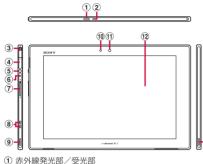
- 水を拭き取った後に本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。

- すき間に溜まった水を綿棒などで直接拭き取らないでください。

充電のときは

充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- 充電時は、本端末が濡れていないか確認してください。本端末が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
- 付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。
- 本端末が濡れている場合や水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで水を拭き取ってから、付属の卓上ホルダに差し込んだり、microUSB接続端子カバーを開いたりしてください。
- microUSB接続端子カバーを開いて充電した場合には、充電後はしっかりとカバーを閉じてください。なお、microUSB接続端子からの水や粉塵の侵入を防ぐため、卓上ホルダを使用して充電することをおすすめします。
- ACアダプタ、卓上ホルダは、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りや水のかかる場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 濡れた手でACアダプタ、卓上ホルダに触れないでください。感電の原因となります。

各部の名称と機能

① 赤外線発光部／受光部
② マイク
③ モバキャス・テレビアンテナ※1
④ ヘッドセット接続端子
⑤ 電源キー／画面ロックキー
⑥ 通知LED
⑦ 音量キー／ズームキー
⑧ 卓上ホルダ用接触端子
⑨ スピーカー
⑩ ライトセンサー：画面の明るさの自動制御に使用します。
⑪ フロントカメラレンズ
⑫ タッチスクリーン
⑬ FOMA／Xiアンテナ部※2
⑭ 裏面カバー
⑮ カメラレンズ
⑯ GPS／Wi-Fi／Bluetoothアンテナ部※2
⑰ N マーク
⑱ NFCアンテナ部※2
⑲ microSDカード／ドコモminiUIMカード挿入口
⑳ microUSB接続端子カバー固定用穴
㉑ microUSB接続端子：充電時に使用したり、MHL接続時に使用します。

※1 モバキャス・テレビアンテナが引き出しにくい場合は、先端のミゾに小さなクリップなどをかけて引き出してください。
※2 アンテナは本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと通信品質に影響を及ぼす場合があります。

❖注意

- 各センサー上にシールなどを貼らないでください。
- 裏面カバーは取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障の原因となります。
- 電池は本体に内蔵されており、取り外せません。
- 赤外線発光部／受光部は、「リモコン」アプリ（P.76）で使用します。赤外線通信を搭載した携帯電話などの機器と、赤外線通信を利用したデータの送受信などは行えません。

ドコモminiUIMカードについて

ドコモminiUIMカードとは、お客様の電話番号などの情報が記録されているICカードのことです。

- 本端末では、ドコモminiUIMカードを使用します。ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- ドコモminiUIMカードが本端末に取り付けられていないと、パケット通信などの機能を利用することができません。
- ドコモminiUIMカードについて詳しくは、ドコモminiUIMカードの取扱説明書をご覧ください。
- ドコモminiUIMカードを取り付け／取り外すときは、必ず本端末の電源を切ってから行ってください（P.36）。

■ ドコモminiUIMカードの暗証番号について

ドコモminiUIMカードには、PINコードという暗証番号があります。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます（P.135）。

❖お知らせ

- ドコモminiUIMカードを取り扱うときは、金属（IC）部分に触れたり、傷つけないようにご注意ください。故障や破損の原因となります。
- お買い上げ時はトレイにオレンジ色の仮のカードが挿入されています。仮のカードを抜いてから、ドコモminiUIMカードを取り付けてください。仮のカードが挿入されていると、電源を入れたり、充電することができません。

ドコモminiUIMカードを取り付ける

microSDカード／ドコモminiUIMカード挿入口カバーの開閉方法については「防水／防塵性能を維持するために」（P.22、P.23）をご参照ください。

1 microSDカード／ドコモminiUIMカード挿入口カバーを開いて、トレイの突起部（❶）に指先をかけてまっすぐに引き出し、本端末からトレイを取り外す

2　ドコモminiUIMカードのIC（金属）部分を上にしてトレイにはめ込み（❷）、トレイごと本端末に差し込んで奥までまっすぐ押し込む

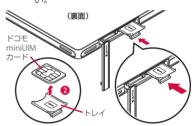
- 切り欠きの方向やトレイの差し込む方向にご注意ください。

3　microSDカード／ドコモminiUIMカード挿入口カバーを閉じて、○部分をしっかりと押し、本端末とすき間がないことを確認する

ドコモminiUIMカードを取り外す

1　microSDカード／ドコモminiUIMカード挿入口カバーを開いて、トレイの突起部に指先をかけてまっすぐに引き出し、本端末からトレイを取り外す

2　トレイからドコモminiUIMカードを取り出し（❷）、本端末にトレイを差し込んで奥までまっすぐ押し込む

- トレイの差し込む方向にご注意ください。

3　microSDカード／ドコモminiUIMカード挿入口カバーを閉じてしっかりと押し、本端末とすき間がないことを確認する（P.29）

microSDカードについて

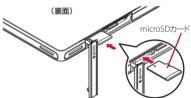
本端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを本端末に取り込んだりすることができます。
microSDカードは互換性のある他の機器でも使用できます。

- 本端末では市販の2GBまでのmicroSDカード、32GBまでのmicroSDHCカード、64GBまでのmicroSDXCカードに対応しています（2013年2月現在）。
- 対応のmicroSDカードは各microSDカードメーカへお問い合わせください。
- microSDXCカードは、SDXC対応機器でのみご利用いただけます。SDXC非対応の機器にmicroSDXCカードを差し込むと、microSDXCカードに保存されているデータが破損することなどがあるため、差し込まないでください。
- データが破損したmicroSDXCカードを再度利用するためには、SDXC対応機器にてmicroSDXCカードの初期化を行う必要があります（microSDXCカードのデータはすべて削除されます）。
- SDXC非対応機器とのデータコピーについては、コピー先やコピー元の機器の規格に準拠したカード（microSDHCカードやmicroSDカードなど）をご利用ください。
- 本端末が対応しているmicroSDカードのスピードクラスは、最大HS Class6および最大UHS-I class1です。

microSDカードを取り付ける

microSDカード／ドコモminiUIMカード挿入口カバーの開閉方法については「防水／防塵性能を維持するために」（P.22、P.23）をご参照ください。

1 microSDカード／ドコモminiUIMカード挿入口カバーを開いて、microSDカードの挿入方向を確認して、カチッと音がするまでまっすぐにゆっくりと差し込む

- microSDカードの金属端子面を下にして差し込みます。

2 microSDカード／ドコモminiUIMカード挿入口カバーを閉じてしっかりと押し、本端末とすき間がないことを確認する（P.29）

microSDカードを取り外す

microSDカードを取り外す場合は、必ずマウント（読み書き可能状態）を解除してから行ってください。

1 ホーム画面で をタップし、［基本機能／設定］▶［設定］▶［ストレージ］▶［SDカードのマウント解除］▶［OK］をタップする

- マウント解除を行うと、ステータスバーに「 SDカードのマウントを解除しました」と表示され、microSDカードが読み書きできなくなったことをお知らせします。

2 microSDカード／ドコモminiUIMカード挿入口カバーを開いて、microSDカードをカチッと音がするまで奥へ押し込み、microSDカードをゆっくり引き抜く

- ステータスバーに「 SDカードが取り外されています」と表示され、microSDカードが取り外されていることをお知らせします。

3 microSDカード／ドコモminiUIMカード挿入口カバーを閉じてしっかりと押し、本端末とすき間がないことを確認する（P.29）

❖お知らせ

- マウントを解除せずにmicroSDカードを取り外すと、ファイル損害やデータ消失などの可能性があります。

充電する

お買い上げ時の内蔵電池は十分に充電された状態ではありません。

充電時間

内蔵電池が空の状態から充電したときの時間です。低温時に充電すると、充電時間は長くなります。

ACアダプタ 04（別売品）	約330分（卓上ホルダ SO16併用時約290分）
DCアダプタ 03（別売品）	約490分（卓上ホルダ SO16併用時約480分）

十分に充電したときの使用時間（目安）

使用環境や内蔵電池の状態によって使用時間は異なります。詳しくは主な仕様をご参照ください（P.236）。

連続待受時間	FOMA／3G	約1120時間（静止時）
	GSM	約930時間（静止時）
	LTE	約1020時間（静止時）

内蔵電池の寿命について

- 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、内蔵電池の寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。内蔵電池の交換につきましては、裏表紙の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- 充電しながらテレビの視聴などを長時間行うと、内蔵電池の寿命が短くなることがあります。
- 内蔵電池の性能は、ホーム画面で をタップし、［基本機能／設定］▶［設定］▶［Xperia™］▶［電池性能表示］をタップすると確認できます。

充電について

- お買い上げ時はトレイにオレンジ色の仮のカードが挿入されています。必ずトレイから仮のカードを抜いて充電してください。仮のカードが挿入されていると充電できません。
- 充電にはACアダプタ 04（別売品）を使用してください。
- ACアダプタ 04（別売品）の対応電圧はAC100Vから240Vです。海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- 本端末を別売りのmicroUSB接続ケーブル01でパソコンに接続しても充電することはできますが、使用状況により充電できない場合があるため、本端末の電源を切った状態か、画面のバックライトが消灯している状態で充電してください。
  - パソコンを使って充電する場合は、電池アイコンは に変わりません。
  - お買い上げ時は「USB接続モード」が「メディア転送モード（MTP)」に設定されているため、Microsoft Windows XPのパソコンで本端末を充電するには、パソコンにMTP driverのインストールが必要となります。Windows Media Player 10以降をインストールすると、MTP driverをインストールすることができます。

- 本端末上に「PC Companionソフトウェア」画面が表示されたら［スキップ］をタップしてください。
- パソコン上に新しいハードウェアの検索などの画面が表示されたら「キャンセル」を選択してください。

- 充電には対応のACアダプタやmicroUSB接続ケーブルをご使用ください（P.223）。対応充電器以外をご利用になると、充電できない場合や正常に動作しなくなる場合があります。
- ACアダプタのケーブルやmicroUSB接続ケーブルは、無理な力がかからないように水平にゆっくり抜き差ししてください。
- 電源を入れる時に電池残量が起動するのに十分でない場合は、⏻ を押すと通知LEDが赤色で点滅します。
- 充電を開始すると、本端末の通知LEDが赤色／橙色／緑色に点灯し、緑色に点灯すると電池残量が90%以上になったことを示します。電池残量は、画面下部のステータスバーで確認するか、ホーム画面で をタップし、［基本機能／設定］▶［設定］▶［タブレット情報］▶［端末の状態］をタップして、「電池残量」で確認できます。電池残量が100%になると、ステータスバーや「電池残量」には「100%」と表示され、画面ロック解除画面（P.37）には「充電完了」と表示されます。
- 電池残量が19%以下になると、画面ロック解除画面に「充電してください」と表示され、14%以下になると、ポップアップ画面で「充電してください」と表示されます。ポップアップ画面の［電池情報］をタップすると、電池の使用量を確認したり、省電力モードを設定したりできます（P.127）。
- 電源オフの状態で充電を開始すると、操作はできませんが本端末の電源はオンになります。このため、航空機内や病院など、使用を禁止された区域では充電を行わないでください。

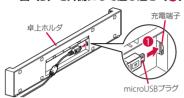
■ **おすそわけ充電について**

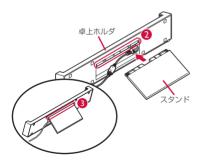
本端末と市販のケーブルを使って対象のXperia™を充電することができます。

- おすそわけ充電に必要なケーブルは別売品です。
- 充電対象機種はSO-02Eです（2013年2月現在）。
- おすそわけ充電について詳しくは、次のホームページをご覧ください。
  http://www.sonymobile.co.jp/support/

卓上ホルダを使って充電する

付属の卓上ホルダ SO16とACアダプタ 04（別売品）を使って充電する場合は、次の操作を行います。

1　卓上ホルダの裏側の充電端子に、ACアダプタのmicroUSBプラグを刻印面（B）を外側にして差し込む（❶）

2　卓上ホルダの裏側の差し込み口（❷）に、スタンドをカチッと音がするまで奥へまっすぐ押し込む

- 卓上ホルダとスタンドにすき間がないことを確認してください（❸）。

3　ACアダプタの電源プラグを起こし、コンセントに差し込む

4　卓上ホルダの側部のガイド（❹）に合わせて本端末をゆっくり差し込む

- 本端末のSONYロゴを左上にして差し込みます。
- 本端末のmicroUSB接続端子カバーやmicroSDカード／ドコモminiUIMカード挿入口カバーは閉じた状態で卓上ホルダに差し込んでください。
- 卓上ホルダと本端末のすき間に異物が入らないようにご注意ください。
- 本端末の通知LEDが点灯します。充電中の通知LEDについては、「通知LEDについて」（P.45）をご参照ください。

5　充電が完了したら、卓上ホルダを押さえながら本端末を上方向に持ち上げて取り外す

6　ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く

❖注意

- 卓上ホルダとパソコンを接続して充電することはできません。
- ACアダプタのケーブルの上に、卓上ホルダ（スタンドを含む）を置かないでください。
- 卓上ホルダのスタンドは保証対象外となります。
- 接続方向をよくご確認の上、正しく接続してください。無理に接続すると破損の原因となります。

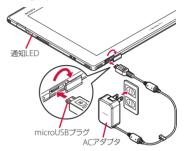
ACアダプタを使って充電する

ACアダプタ 04（別売品）を使って充電する場合は、次の操作を行います。
microUSB接続端子カバーの開閉方法については「防水／防塵性能を維持するために」（P.22、P.23）をご参照ください。

1 本端末のmicroUSB接続端子カバーを開き、ACアダプタのmicroUSBプラグを刻印面（B）を上にして、本端末のmicroUSB接続端子に水平に差し込む

- microUSB接続端子カバーを開いた後、カバーの突起部はmicroUSB接続端子カバー固定用穴に差し込んでください。

2 ACアダプタの電源プラグを起こし、コンセントに差し込む

- 本端末の通知LEDが点灯します。充電中の通知LEDについては、「通知LEDについて」（P.45）をご参照ください。

3 充電が完了したら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く

4 ACアダプタのmicroUSBプラグを本端末から水平に抜く

5 microUSB接続端子カバーを閉じてしっかりと押し、本端末とすき間がないことを確認する

❖注意

- 接続方向をよくご確認の上、正しく接続してください。無理に接続すると破損の原因となります。

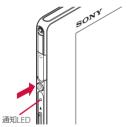
DCアダプタを使って充電する

DCアダプタ 03（別売品）は、自動車のシガーライターソケット（12V／24V）から充電するための電源を供給するアダプタです。詳しくはDCアダプタ 03（別売品）の取扱説明書をご覧ください。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 ⏻ を1秒以上押す

- 通知LEDが白く1回点滅し、しばらくすると画面ロック解除画面が表示されます。

2 画面ロックを解除する

- お買い上げ時の画面ロックの解除方法については、「画面ロックを解除する」（P.37）をご参照ください。

❖お知らせ

- お買い上げ時はトレイにオレンジ色の仮のカードが挿入されています。必ずトレイから仮のカードを抜いて電源を入れてください。仮のカードが挿入されていると電源が入りません。
- 初めて電源を入れたときは、画面を上下にフリック（スワイプ）して画面ロックを解除し、初期設定を行います（P.38）。
- 充電中に電源を入れると通知LEDは白く点滅しません。
- 画面ロック（P.136）、SIMカードロック（P.135）をかけていた場合は、電源を入れると、画面ロック解除画面／PINコード入力画面が表示されます。画面ロックの解除方法については、「画面ロックを解除する」（P.137）、PINコードの入力方法については、「電源を入れたときにPINコードを入力する」（P.135）をご参照ください。

電源を切る

1 ⏻ を1秒以上押す

2 ［電源を切る］をタップする

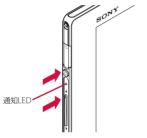
3 ［OK］をタップする

❖お知らせ

- ⏻ を1秒以上押して［電源を切る］をロングタッチし、［OK］をタップすると、本端末を再起動してセーフモードで起動することができます。セーフモードについては、「端末動作が不安定」（P.225）をご参照ください。

再起動する

画面が動かなくなったり、電源が切れなくなった場合に、本端末を再起動したり、強制終了して電源を切ることができます。

1　⏻と◁ ▷の上を同時に約5秒間押す

2　本端末の通知LEDが白く1回点滅した後に指を離す

- 本端末は再起動されます。

❖お知らせ

- 本端末の電源を強制的に切るには、⏻と◁ ▷の上を同時に約10秒間押し、本端末の通知LEDが白く3回点滅した後に指を離します。

画面ロックを設定する

画面ロックを設定すると、画面のバックライトが消灯し、タッチスクリーンやキーの誤動作を防止することができます。

- 本端末では、設定した時間が経過すると、自動的に画面のバックライトが消灯して画面ロックが設定されます。

1　⏻を押す

❖お知らせ

- お買い上げ時は画面ロックが設定されています。画面ロックの設定を変更するには、「画面ロックの解除方法を変更する」（P.136）をご参照ください。
- バックライトが消灯して画面ロックが設定されるまでの時間設定は、「画面のバックライトが消灯するまでの時間を設定する」（P.125）をご参照ください。

画面ロックを解除する

画面ロック解除画面は、電源を入れたとき、または⏻を押してバックライトを点灯させたときに表示されます。

1　画面ロック解除画面で🔒をタップする

❖お知らせ

- 画面ロック解除画面で📷をタップするとカメラを起動できます。🎤をタップすると、「しゃべってコンシェル」または「Google」アプリを起動できます。

- 画面ロックを無効に設定することもできます。詳しくは、「画面ロックがかからないようにする」（P.138）をご参照ください。

初期設定を行う

本端末の電源を初めて入れたときは、画面を上下にフリック（スワイプ）して画面ロックを解除し、画面の指示に従って初期設定を行います。

1 ［日本語］▶［完了］をタップし、➔をタップする

- 以降は画面の指示に従って以下の設定を行い、➔または［終了］をタップします。
  - Wi-Fiネットワークに接続
  - Sony Entertainment Networkに接続
  - オンラインサービスのアカウント設定や自動同期の設定
  - 優先的に利用するアプリケーションを選択

2 ドコモサービスの初期設定画面が表示されたら➔進むをタップする

- 以降は画面の指示に従って以下の設定を行い、➔進むをタップします。
  - アプリを一括でインストールするかを選択
  - ドコモアプリパスワードを設定

3 ［OK］をタップする

- ホーム画面の操作ガイドが表示されますので、［OK］／［以後表示しない］をタップすると、ホーム画面が表示されます。

❖お知らせ

- 後から言語を変更する場合は、ホーム画面で をタップし、［基本機能／設定］▶［設定］▶［言語と入力］▶［地域／言語］をタップします。各機能などを設定する場合は、ホーム画面で をタップし、［基本機能／設定］▶［設定］▶［セットアップガイド］／［ドコモサービス］などをタップして設定します。
- オンラインサービスを設定する前に、データ接続が可能な状態（LTE/3G/GPRS）であることをご確認いただくか、Wi-Fiネットワークに接続されていることをご確認ください。接続状態を知るには、「ステータスアイコン」（P.39）をご参照ください。
- Googleアカウントを設定しない場合でも本端末をお使いになれますが、Googleトーク、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスがご利用になれません。

ステータスバー

ステータスバーは画面下部に表示されます。ステータスバーには本端末の状態（ステータス）や通知情報、キーアイコン（P.41）、スモールアプリ（P.41）などが表示されます。

ステータスバー

ステータスアイコン

ステータスバーに表示される主なステータスアイコンは次のとおりです。

	電波状態
	国際ローミング使用可能
	国際ローミング通信中
	圏外
	HSDPA使用可能
	HSDPA通信中
	3G（パケット）使用可能
	3G（パケット）通信中
	LTE使用可能
	LTE通信中
	Wi-Fi接続中
	Wi-Fi通信中
	Auto IP機能でWi-Fi接続中
	Bluetooth機能をオンに設定中
	Bluetoothデバイスに接続中
	機内モード設定中
	マナーモード（サウンドOFF）に設定中
	NFC機能をオンに設定中
	電池の状態
	充電中
	電池残量が少ない状態（4%以下）
	PINロック解除コードロック中、またはドコモminiUIMカードが未挿入

通知アイコン

ステータスバーに表示される主な通知アイコンは次のとおりです。

	新着Eメールあり
	新着Gmailあり
	新着メッセージ（SMS）あり
	メッセージ（SMS）の配信に問題あり
	新着インスタントメッセージあり
	新着エリアメールあり
	スクリーンショットあり
	新着Facebookメッセージあり
	Facebookへデータアップロード中
	Facebookへデータアップロード完了
	Facebook機能の設定要求通知あり
	データを受信／ダウンロード
	データを送信／アップロード
	Bluetooth通信でデータなどの受信通知あり
	microSDカードのマウント解除（読み書き不可）

	microSDカードが取り外されている状態
	microSDカードの準備中
	アップデート通知／インストール完了（Google Playに更新可能なアプリケーションあり／アプリケーションのインストール完了）
	ソフトウェア更新通知あり
	ソフトウェア更新ダウンロード中
	ソフトウェア更新ダウンロードまたはインストール完了
	カレンダーの予定あり
	ストップウォッチ計測中
	タイマー使用中
	アラーム鳴動中
	楽曲をメディアプレイヤーで再生中
	楽曲をWALKMANで再生中
	モバキャス受信中
	テレビ視聴中※
	FMラジオ使用中※
	USB接続中
MHL	MHL接続中
	TV launcherの起動が可能な状態
	スクリーンミラーリング接続中
	モバイルデータ通信無効
	Wi-Fiオープンネットワーク利用可能
	VPN接続中
	本端末をメディアサーバーとして設定中／接続要求通知あり
	エラーメッセージ
	注意メッセージ
	同期に問題あり
	セットアップガイド未確認
	パーソナルエリアなどの通知あり
	Wi-Fiテザリング設定中
	USBテザリング設定中
	Wi-FiテザリングおよびUSBテザリング設定中
	GPS測位中
	オートGPS設定中
	Green Heart省エネアイコン（コンセントからACアダプタを外してください）
	本端末のメモリの空き容量低下

※ ホーム画面などの別の画面に切り替えると表示されます。

キーアイコンの基本操作

	バック	直前の画面に戻ります。または、ダイアログボックス、オプションメニュー、通知パネルなどを閉じます。
	ホーム	ホーム画面に戻ります。 ロングタッチして、へドラッグすると、「しゃべってコンシェル」または「Google」アプリを起動できます。
	最近使用したアプリ	最近使用したアプリケーションをサムネイルで一覧表示し、起動したり、一覧から削除できます（P.81）。

※ 本書では、各キーアイコンの操作を 、 、 を使って説明しています。

スモールアプリ

任意のアプリケーションを使用しながらスモールアプリを利用できます。

1 をタップする

- 設定されているスモールアプリが表示されます。

2 利用したいスモールアプリを選択する

- スモールアプリが起動します。

■ スモールアプリを追加する

Playストアからスモールアプリをインストールして設定することができます。
Playストアについては、「Playストア」（P.158）をご参照ください。

1 をタップして、［追加］をタップする

2 ［Playストア］をタップして、追加したいスモールアプリを選択する

- 画面の指示に従って操作してください。

■ ウィジェットを設定する

ウィジェットを選択して、スモールアプリとして設定することができます。

1 をタップして、［追加］をタップする

2 ［ウィジェット］をタップして、設定したいウィジェットを選択する

- 選択したウィジェットによっては設定が必要なものがあります。

3 名前を入力して［OK］をタップする

- スモールアプリの表示域にウィジェットが設定されます。

■ ウィジェットを削除する

スモールアプリ表示域に設定されたウィジェットをロングタッチし、[リストから削除]をタップする

■ ウィジェット名を変更する

スモールアプリ表示域に設定されたウィジェットをロングタッチして[名前を変更]をタップし、任意の名称を入力して[OK]をタップする

■ ショートカットに登録する

スモールアプリをステータスバーにショートカットとして登録できます。お買い上げ時は「リモコン」が設定されています。

1 **をタップして、ショートカットに登録したいスモールアプリをロングタッチする**

2 **[ショートカットに登録]をタップする**

- ステータスバーにショートカットとして登録されます。
- 削除する場合は、スモールアプリ表示域の をタップし、[ショートカットを削除]をタップします。

■ 表示条件を変更する

表示させるスモールアプリを条件によって変更できます。お買い上げ時は「すべて」が設定されています。

1 **をタップして、[すべて]をタップする**

2 **[すべて]/[スター付きのみ]/[アプリのみ]/[ウィジェットのみ]のいずれかをタップする**

- 表示されるスモールアプリが変更されます。
- 「スター付きのみ」を利用するには、あらかじめスモールアプリをロングタッチし、[スターを付ける]をタップして、スモールアプリにスターを設定します(スターを設定してもスモールアプリの表示は変更されません)。

❖お知らせ

- お買い上げ時はスモールアプリに「クリップマネージャー」「タイマー」「ノート」「ブラウザ」「リモコン」「レコーダー」「電卓」が設定されています。
- スモールアプリを削除することはできません(ウィジェットから設定したスモールアプリのみ削除できます)。本端末からアプリケーションをアンインストールすると、スモールアプリも削除されます。
- 起動中のスモールアプリを閉じるには をタップします。
- 起動中のスモールアプリを移動するには、名称をロングタッチして任意の場所までドラッグするか、 をロングタッチして任意の場所までドラッグします。

通知パネル

ステータスバーに通知アイコンが表示されている場合は、通知パネルを開いて通知アイコンの内容を確認したり、アプリケーションを起動したりできます。

■ 通知パネルを開く

1　ステータスバーの時刻をタップする

- 通知パネルが表示されます。

「ひつじのしつじくん®」©NTT DOCOMO

■ 通知パネルを閉じる

1　[戻る] をタップする

❖お知らせ

- ステータスバーのアイコンをタップしても通知パネルを開くことができます。
- 通知パネルで未読メールなどの件数や送信者名を確認できます。通知パネル内の通知状況やアプリケーションによっては、未読メールの表題や本文の一部などを確認することができます。
- 通知パネル上でピンチ（P.46）すると、アプリケーションによっては通知パネルの表示を拡大／縮小することができます。
- 通知パネル内の通知をロングタッチし、［アプリ情報］をタップすると、アプリケーションの情報を確認できます。
- 通知パネル以外の画面上をタップしても通知パネルを閉じることができます。
- 通知パネルを開いて[設定]をタップすると、設定パネルが表示されます（P.44）。

通知パネル内の表示を削除する

1　通知パネルを開いて［すべて消去］をタップする

❖お知らせ

- 通知パネル内の通知を左右にフリックすると、一覧から削除できます。
- 通知内容によっては通知を削除できない場合があります。

設定パネル

設定パネルを開いて、機内モードのオン／オフを設定したり、画面の明るさを調節したりできます。

■ 設定パネルを開く

1 ステータスバーの時刻をタップする

2 をタップする

- 設定パネルが表示されます。

設定パネル

「ひつじのしつじくん®」©NTT DOCOMO

① 機内モード：／をタップまたは左右にドラッグして、機内モードのオン／オフを設定します。
Wi-Fi：Wi-Fi機能のオン／オフを設定したり、Wi-Fiネットワークを選択して接続できます（P.112）。
画面の自動回転：／をタップまたは左右にドラッグして、本端末の向きに合わせて縦／横画面表示に自動で切り替えるかどうかを設定します。
：［自動］をタップして、画面の明るさを自動／手動で調整します。手動の場合は、スライダを左右にドラッグして、画面の明るさを調節します。
通知：／をタップまたは左右にドラッグして、通知アイコンの表示／非表示を設定します。

② 設定：設定メニュー画面（P.111）を表示します。

■ 設定パネルを閉じる

1 をタップする

❖お知らせ

- ステータスバーの時刻をタップして、日時やステータスなどを表示している部分をタップしても、設定パネルを開いたり閉じたりできます。
- 設定パネル以外の画面上をタップしても設定パネルを閉じることができます。
- 通知アイコンが表示されている場合は、設定パネル右上のをタップすると、通知パネルが表示されます（P.43）。

通知LEDについて

本端末の状態（ステータス）や受信メールなどの通知情報を表示します。

LEDの色と点滅	通知内容
赤の点灯	充電中に電池残量が14%以下であることを示す
赤の点滅	電池残量が14%以下であることを示す
緑の点灯	充電中に電池残量が90%以上であることを示す
緑の点滅	新着Gmailがあることを示す※
薄紫の点滅	新着メッセージ（SMS）があることを示す※
橙色の点灯	充電中に電池残量が15%-89%であることを示す

※ 画面ロック解除画面やバックライト消灯中、画面ロックを無効に設定している場合は、通知LEDが点滅します。

❖お知らせ

- 電源を入れる時に電池残量が起動するのに十分でない場合は、⏻ を押すと通知LEDが赤色で点滅します。
- 電源を入れるときや、再起動、強制終了する場合に通知LEDが白く点滅します。充電中に電源を入れると通知LEDは白く点滅しません（電源が入るまで充電中を示す通知LEDは消灯します）。
- 電源オフの状態で充電を開始すると通知LEDが赤く点灯しますが、ディスプレイに電池の状態が表示されると、電池残量を示す色で通知LEDが点灯します。

基本操作

タッチスクリーンの使いかた

タッチスクリーン利用上のご注意

- タッチスクリーンは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先が尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けないでください。
- 次の場合はタッチスクリーンに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作
  - タッチパネルが濡れたままでの操作
  - 指が汗や水などで濡れた状態での操作

タッチスクリーン上の操作

■ **タップ**

アイコンやメニューなどの項目に指で軽く触れ、すぐに離します。

- 2回続けてすばやくタップすることを、ダブルタップといいます。

■ **ロングタッチ**

アイコンやメニューなどの項目に指で長く触れます。

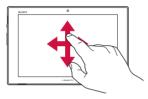
■ フリック（スワイプ）

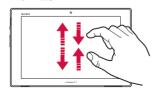
画面に触れて上下左右にはらうように操作します。

■ ドラッグ

画面に触れたまま目的の位置までなぞって指を離します。

■ スクロール

画面内に表示しきれないときなどに、表示内容を上下左右に動かして、表示位置をスクロール（移動）します。

■ ピンチ

画面に2本の指で触れ、指の間隔を開いたり（ピンチアウト）閉じたり（ピンチイン）します。一部の画面では、ピンチアウトすると表示を拡大、ピンチインすると表示を縮小します。

縦／横画面表示を自動で切り替える

本端末の向きに合わせて、自動的に縦画面表示または横画面表示に切り替わるように設定できます。

1 ステータスバーの時刻をタップする

2 をタップする

3 画面の自動回転の をタップまたは右にドラッグする

- 設定がオンになると、 になります。

❖お知らせ

- ホーム画面で をタップし、［基本機能／設定］▶［設定］▶［ユーザー補助］をタップして、「画面の自動回転」にチェックを入れても、自動的に画面表示を横向き／縦向きに切り替えることができます。
- 表示中の画面によっては、本端末の向きを変えても自動で切り替わらない場合があります。
- 縦画面表示または横画面表示に固定するには、縦／横画面表示中に画面の自動回転の設定をオフにします。
- 地面に対して水平に近い状態で本端末の向きを変えても、自動で縦／横画面表示に切り替わりません。

マナーモードを設定する

1 **⏻を1秒以上押す**

2 **［マナーモード］をタップする**

- マナーモードが設定されると、ステータスバーに が表示されます。

❖お知らせ

- ホーム画面などで ◁ ▷ の下を押し続けて、音楽、動画、ゲーム、その他のメディアの音量をオフに設定した後、もう一度 ◁ ▷ の下を押すと、マナーモードが設定され、メッセージ（SMS）やメールなどの通知音をオフに設定できます。画面ロック解除画面や、カメラなどのアプリケーションを起動している場合は ◁ ▷ の下を押し続けてもマナーモードを設定できません。
- 本端末ではマナーモードに設定中でも、シャッター音やアラームなどの音声は消音されません。また、音設定の「音楽、動画、ゲーム、その他のメディア」（P.123）の音量を調節したり、◁ ▷ の上を押して音量を上げたりすると、マナーモードは解除されますのでご注意ください。

スクリーンショットを撮影する

現在表示されている画面を画像として撮影（スクリーンショット）できます。

1 **スクリーンショットを撮影したい画面で、⏻を1秒以上押して、［スクリーンショット］をタップする**

- スクリーンショットが撮影され、ステータスバーに が表示されます。

❖お知らせ

- ⏻と ◁ ▷ の下を同時に1秒以上押してもスクリーンショットを撮影できます。
- ステータスバーの時刻をタップして、通知パネル内の［スクリーンショットを保存］をタップすると、撮影した画像を「アルバム」アプリで確認できます。また、［共有］をタップすると、撮影した画像をアプリケーションに添付して送信したり、共有したりできます。「共有」は、通知パネル内の通知状況により表示されない場合がありますが、通知パネル上でピンチアウトすると表示されます。

チェックを入れるまたは外して設定を切り替える

設定項目の横にチェックボックス／ラジオボタンなどが表示されているときは、チェックボックス／ラジオボタンなどのチェックマークを入れたり、外すことにより、設定のオン／オフを切り替えることができます。

／	チェックボックスの設定のオン／オフを切り替えます。
／	ラジオボタンの設定のオン／オフを切り替えます。
／	タップまたは左右にドラッグすることにより、設定のオン／オフを切り替えます。

本端末内やウェブページの情報を検索する

検索ボックスに文字を入力すると、本端末内やウェブ上の情報を検索することができます。

1 ホーム画面で をタップし、[Google]▶[Google]をタップする

- ソフトウェアキーボードが表示されます。

2 検索する語句を入力する

- 文字の入力に従って、検索結果の候補が表示されます。文字の入力については、「文字入力」(P.49)をご参照ください。
- 検索語句を入力し直す場合は をタップします。

3 検索項目またはソフトウェアキーボードの をタップする

- 検索結果からアプリケーションを選択した場合は、アプリケーションが起動します。

❖お知らせ

- Googleアカウントを設定していると、手順1でGoogle Nowについて縦画面で表示されます。画面の指示に従って操作してください。
- ソフトウェアキーボードの をタップすると、「ドコモ音声入力」または「Google音声入力」で検索する語句を音声で入力できます。

Google音声検索を利用する

検索する語句を音声で入力できます。

1 ホーム画面でGoogle検索ウィジェットの をタップする

2 マイクに向かって検索したい語句を話す

- 検索結果が表示されます。

検索設定

検索ボックスで使用する設定や、本端末内での検索対象を設定できます。

1 ホーム画面で をタップし、[Google]▶[Google]をタップする

- ソフトウェアキーボードが表示されますので、 または をタップします。

2 をタップし、[設定]をタップする

- Google検索の設定画面が表示され、次の設定ができます。

Google Now※	位置情報サービスをオンに設定して、現在地の天気、目的地までの交通状況や経路などを確認できます。
音声	音声検索時の言語や設定を変更できます。

タブレット内検索	検索対象とする本端末内のデータの種類（Chrome・Eメール・OfficeSuite・Playブックス・Playムービー・WALKMAN・アプリケーション・ドコモ電話帳・ブラウザ・メッセージ・連絡先）にチェックを入れる／外すことで、検索範囲を変更できます。
プライバシーとアカウント	検索文字の入力時にウェブ履歴から検索候補を表示するかを設定したり、本端末内のコンテンツやアプリケーションについて検索した履歴を消去することができます。 • Googleアカウントが必要になります。

※Googleアカウントを設定した場合に表示されます。

文字入力

文字入力は、メールの作成や電話帳の登録など、文字入力欄をタップすると表示されるソフトウェアキーボードを使います。

❖お知らせ

- ソフトウェアキーボードが表示されると、ステータスバーに が表示されます。
- 文字入力画面から入力前の画面に戻るときは、画面左下に表示されている をタップします。
- 文字入力画面でテキストをロングタッチすると、拡大されたテキストが表示され、テキスト上をドラッグしながら確認することができます。

入力方法の選択

本端末では、入力方法（キーボード種別）を「Google音声入力」「POBox Touch（日本語）」「ドコモ文字編集」「中国語キーボード」「外国語キーボード」から選択できます。

Google音声入力	文字入力中に、Google音声入力で音声入力する場合に選択します。
POBox Touch（日本語）	日本語を入力する場合に選択します。
ドコモ文字編集	文字入力中に、ドコモ音声入力で音声入力する場合などに選択します。
中国語キーボード	中国語を入力する場合に選択します。
外国語キーボード	入力する言語を選択できます。

1 **ホーム画面で をタップし、[基本機能／設定]▶[設定]をタップする**

2 **[言語と入力]▶[現在の入力方法]をタップする**

3 **[日本語　POBox Touch(日本語)]／[外国語キーボード]をタップする**

❖お知らせ

- 文字入力中にステータスバーの をタップして、「Google音声入力」「日本語　POBox Touch(日本語)」「日本語　ドコモ文字編集」「外国語キーボード」から入力方法を選択できます。
- お買い上げ時は入力方法として「中国語キーボード」を選択できません。中国語キーボードを使用する場合は、ホーム画面で をタップし、[基本機能／設定]▶[設定]▶[言語と入力]をタップして、「中国語キーボード」にチェックを入れます。

ソフトウェアキーボード

POBox Touch(日本語)では、QWERTY、12キー、手書き漢字の3種類のソフトウェアキーボードのスタイルを切り替えて使用できます。

■ QWERTYキーボード

縦画面

横画面

■ 12キーキーボード

縦画面

横画面

■ 手書き漢字入力

縦画面

横画面

❖お知らせ

- ソフトウェアキーボードのキー表示は、入力画面や文字種、設定によって変わります。

キーボードや設定の変更

1 文字入力画面で をロングタッチまたは をタップする

2 ／／／／／／ をタップする

- ：12キーキーボードを表示します。
- ：QWERTYキーボードを表示します。
- ：手書き漢字入力を表示します。
- ：POBox Touch（日本語）の設定画面が表示され、設定を確認・変更できます。
- ：プラグインアプリの一覧が表示されます。
- ：半角／全角を切り替えます。
- ：ソフトウェアキーボードを非表示にします。

❖お知らせ

- お買い上げ時は、QWERTYキーボードに設定されています。入力サポートとして、「予測変換」「自動大文字変換」「入力ミス補正」などがオンに設定されています。
- 縦画面／横画面ごとに最後に使用したキーボードの種類（12キーキーボード／QWERTYキーボード／手書き漢字入力）は保持されます。

QWERTYキーボードでの文字入力

一般的なパソコンのキーボードと同じ配列のキーボードを使用して文字を入力します。日本語はローマ字で入力します。

アイコン	機　能
／	「ひらがな漢字」→「英字」の順に文字種が切り替わります。
／ ロングタッチ	ポップアップメニューを表示します。 ／／：キーボード切り替え ：POBox Touch（日本語）の設定画面を表示 ：プラグインアプリの一覧を表示 （全角）／（半角）：全角／半角切り替え ：ソフトウェアキーボードの非表示
／	「ひらがな漢字／英字」→「数字／記号」の順に文字種が切り替わります。ロングタッチしている間は、ひらがな漢字／英字入力時でも数字／記号を入力できます。
	半角記号／全角記号の一覧を表示して入力できます。タブを切り替えると、顔文字の一覧を表示して入力できます（spモードメール入力時などは絵文字タブやデコメタブも表示されます）。
	カーソル移動※1：左へ移動します。ロングタッチすると連続して移動します。変換時は変換範囲を変更します。
	カーソル移動※1：右へ移動します。ロングタッチすると連続して移動します。変換時は変換範囲を変更します。未確定文字列があり、かつカーソルが右端にある状態でタップすると、最後尾と同一文字を入力します。
	変換確定前は「確定」と表示され※2、入力文字や変換文字を確定します。入力・変換が確定している場合は、カーソル位置で改行します。
	カーソル位置の前の文字を削除します。ロングタッチすると連続して削除します。
	文字未入力時や文字を入力し確定した後にスペースを入力します。ロングタッチすると連続してスペースを入力します。
	ひらがな漢字入力時に直変換候補を表示します。
	ひらがな漢字入力時に、変換候補内の語句をハイライト表示して選択します。連続してタップすると、変換候補内のハイライト表示される語句を変更し、入力する語句を選択できます。
	「ドコモ音声入力」または「Google音声入力」で文字を音声入力できます。候補一覧が表示されますので、入力したい文字列をタップします。
ロングタッチ	利用できるプラグインアプリの一覧が表示されます。

アイコン	機　能
英数カナ	ひらがな漢字入力時の変換確定前に表示され、タップしたキーに割り振られた英字やカタカナの変換候補を表示します。
英数カナ **ロングタッチ**	オンライン辞書が起動します。 あらかじめ、POBox Touch（日本語）の設定画面で、「オンライン辞書」にチェックを入れておく必要があります。
／／	英字入力時にタップすると、1文字のみ大文字／大文字／小文字を切り替えます。 ひらがな漢字／英字入力時にロングタッチしながら文字を入力すると、タップしたキーの英字を大文字入力できます。
全角／全角	数字入力時に表示され、数字や記号を半角／全角に切り替えます。
Tab	文字入力時や確定した後に、変換候補内の語句をハイライト表示して選択します。連続してタップすると、変換候補内のハイライト表示される語句を変更し、入力する語句を選択できます。 変換候補が表示されていない状態でタップすると、カーソルが次の文字入力欄に移動します。※3

※1 入力した文字がある場合、入力した文字列の目的の箇所をタップするだけでカーソルを移動できます。

※2 メールアカウントの登録画面など、一部の画面では、「次へ」「完了」「実行」などが表示されます。

※3 一部の画面や、次の文字入力欄を移動先として認識できない場合は、ソフトウェアキーボードが非表示となります。

12キーキーボードでの文字入力

1つの文字入力キーに複数の文字が割り当てられたキーボードを使用して文字を入力します。入力時はフリック入力やトグル入力を使用します。

アイコン	機　能
あA／あA	「ひらがな漢字」→「英字」の順に文字種が切り替わります。
あA／あA **ロングタッチ**	ポップアップメニューを表示します。 ／／：キーボード切り替え ：POBox Touch（日本語）の設定画面を表示 ：プラグインアプリの一覧を表示 半全（全角）／半全（半角）：全角／半角切り替え ：ソフトウェアキーボードの非表示
123／123	「ひらがな漢字／英字」→「数字」の順に文字種が切り替わります。
123／123 **ロングタッチ**	半角記号／全角記号の一覧を表示して入力できます。タブを切り替えると、顔文字の一覧を表示して入力できます（spモードメール入力時などは絵文字タブやデコメタブも表示されます）。
英数カナ	ひらがな漢字入力時の変換確定前に表示され、タップしたキーに割り振られた英数文字やカタカナの変換候補を表示します。
取消	変換確定後に表示され、変換前の表示に戻ります。

アイコン	機　能
	カーソル移動※1：左へ移動します。ロングタッチすると連続して移動します。変換時は変換範囲を変更します。
	カーソル移動※1：右へ移動します。ロングタッチすると連続して移動します。変換時は変換範囲を変更します。未確定文字列があり、かつカーソルが右端にある状態でタップすると、最後尾と同一文字を入力します。
	変換確定前は「確定」と表示され※2、入力文字や変換文字を確定します。入力・変換が確定している場合は、カーソル位置で改行します。
	カーソル位置の前の文字を削除します。ロングタッチすると連続して削除します。
	文字未入力時や文字を入力し確定した後にスペースを入力します。ロングタッチすると連続してスペースを入力します。
	「ドコモ音声入力」または「Google音声入力」で文字を音声入力できます。候補一覧が表示されますので、入力したい文字列をタップします。
ロングタッチ	利用できるプラグインアプリの一覧が表示されます。
逆順	1つ前の文字を表示（逆順）します。
候補	ひらがな漢字入力時に、変換候補内の語句をハイライト表示して選択します。連続してタップすると、変換候補内のハイライト表示される語句を変更し、入力する語句を選択できます。
候補 **ロングタッチ**	オンライン辞書が起動します。 あらかじめ、POBox Touch（日本語）の設定画面で、「オンライン辞書」にチェックを入れておく必要があります。
全角／全角	数字入力時に表示され、半角／全角に切り替えます。

※1 入力した文字がある場合、入力した文字列の目的の箇所をタップするだけでカーソルを移動できます。

※2 メールアカウントの登録画面など、一部の画面では、「次へ」「完了」「実行」などが表示されます。

入力時の設定

■ フリック入力

上下左右にフリックして各行の文字を入力します。

- **例：「な」行を入力する場合**
  「な」はタップするだけで入力できます。「に」は左、「ぬ」は上、「ね」は右、「の」は下にそれぞれフリックして入力できます。

- 大文字／小文字の切り替えや濁点／半濁点の付加は、［大⇔小゛゜］／［A⇔a］をタップまたはフリックして行います。
- フリック入力は、お買い上げ時の状態で利用できるように設定されています。ご利用にならない場合は、次の操作で解除できます。
  ①文字入力画面で［あA］をロングタッチする
  ②［×］をタップする
  ③［ソフトウェアキーボード設定］▶「フリック入力」のチェックを外す

■ トグル入力

同じキーを連続してタップし、割り当てられた文字を入力します。
同じキーに配列された文字を続けて入力するには、次のように操作します。

- **例：「あお」と入力する場合**
  ①「あ」を1回タップする
  ②［▶］をタップして「あ」を5回タップする
- **例：「ca」と入力する場合**
  ①「abc」を3回タップする
  ②［▶］をタップする※
  ③「abc」を1回タップする
  ※ アプリケーションによっては手順②で［A⇔a］をタップする場合もあります。

- 大文字／小文字の切り替えや濁点／半濁点の付加は、［大⇔小゛゜］／［A⇔a］をタップして行います。
- トグル入力は、お買い上げ時の状態で利用できるように設定されています。ご利用にならない場合は、次の操作で解除できます。
  ①文字入力画面で［あA］をロングタッチする
  ②［×］をタップする
  ③［ソフトウェアキーボード設定］▶「トグル入力」のチェックを外す

❖お知らせ

- トグル入力の場合、タップしたキーのハイライトが消えると、［▶］をタップしなくても、同じキーに配列された文字を続けて入力できます。

手書き漢字入力での文字入力

手書き漢字入力画面を指でなぞることで文字を入力します。

アイコン	機　能
	ポップアップメニューを表示します。 ／／：キーボード切り替え ：POBox Touch（日本語）の設定画面を表示 ：プラグインアプリの一覧を表示 （全角）／（半角）：全角／半角切り替え ：ソフトウェアキーボードの非表示
／※1	半角記号／全角記号の一覧を表示して入力できます。タブを切り替えると、顔文字の一覧を表示して入力できます（spモードメール入力時などは絵文字タブやデコメタブも表示されます）。
ロングタッチ	POBox Touch 徹底ガイド内の手書き漢字入力の使い方ガイドが起動し、手書き漢字入力の詳しい使い方を閲覧できます。
※1 ロングタッチ	オンライン辞書が起動します。 あらかじめ、POBox Touch（日本語）の設定画面で、「オンライン辞書」にチェックを入れておく必要があります。
	「ドコモ音声入力」または「Google音声入力」で文字を音声入力できます。候補一覧が表示されますので、入力したい文字列をタップします。
ロングタッチ	利用できるプラグインアプリの一覧が表示されます。
	文字未入力時や文字を入力し確定した後にスペースを入力します。ロングタッチすると連続してスペースを入力します。
直変換	文字入力時に直変換候補を表示します。
候補	文字入力時に、変換候補内の語句をハイライト表示して選択します。連続してタップすると、変換候補内のハイライト表示される語句を変更し、入力する語句を選択できます。
	カーソル移動※2：左へ移動します。ロングタッチすると連続して移動します。変換時は変換範囲を変更します。
	カーソル移動※2：右へ移動します。ロングタッチすると連続して移動します。変換時は変換範囲を変更します。
	カーソル位置の前の文字を削除します。ロングタッチすると連続して削除します。
	変換確定前は「確定」と表示され※3、入力文字や変換文字を確定します。 入力・変換が確定している場合は、カーソル位置で改行します。

※1 文字入力時に表示されます。

※2 入力した文字がある場合、入力した文字列の目的の箇所をタップするだけでカーソルを移動できます。

※3 メールアカウントの登録画面など、一部の画面では、「次へ」「完了」「実行」などが表示されます。

❖お知らせ

- 初めて手書き漢字入力で文字を入力する場合は、入力方法を読んで、[OK]をタップします。
- 入力モードを切り替えずに、ひらがな、漢字、カタカナ、英字、数字、一部の記号を手書き入力できます。
- 文字入力画面で をタップし、 をタップして[ソフトウェアキーボード設定]▶「自動スクロール」にチェックを入れると、手書き漢字入力画面の右側にグレーのエリアが表示され、そのエリアまで文字を入力すると、自動的に入力するエリアが左へスクロールします。「自動スクロール」のチェックを外している場合は、手書き漢字入力画面の をタップして入力するエリアをスクロールします。
- 濁点や半濁点は、手書き漢字入力画面の中央より上側に入力してください。
- 句読点や小文字は、手書き漢字入力画面の中央より下側に入力してください。
- 文字入力時に入力した文字の左上のアイコンをタップすると、入力した文字に対する候補が表示されます。2文字以上を入力した後に左上のアイコンをタップすると、 も表示されます。 をタップすると、入力した2文字を1つの文字に結合することができます。
- 文字入力時に をタップすると、入力した文字を削除できます。

テキストの編集

電話帳やノートなどの文字入力画面で、編集したい文字をダブルタップすると、画面上部にテキストの編集メニューが表示されます。
 または をドラッグすると、選択する文字列を変更できます。

すべて選択	入力したテキストをすべて選択します。
切り取り	選択した文字列を切り取ります。
コピー	選択した文字列をコピーします。
貼り付け	コピーまたは切り取った文字列を貼り付けます。
完了	編集メニューを終了します。

❖お知らせ

- コピーまたは切り取った文字列を貼り付けるには、挿入したい位置でロングタッチし、[貼り付け]をタップします。テキストが入力されている場合は、挿入したい位置でタップし、 をタップして、[貼り付け]をタップします。
- アプリケーションによっては、本機能を利用できない場合があります。

文字入力の設定

入力方法ごとに、文字入力の各種設定を行うことができます。

1 **ホーム画面で をタップし、［基本機能／設定］▶［設定］▶［言語と入力］をタップする**

2 **「Google音声入力」／「POBox Touch（日本語）」／「ドコモ文字編集」／「中国語キーボード」／「外国語キーボード」の をタップする**

- 各入力方法の設定画面が表示されます。表示される画面の項目をタップして設定してください。

❖お知らせ

- 設定できる項目は、入力方法により異なります。
- 文字入力中にステータスバーの をタップして、各入力方法の をタップしても設定画面が表示されます。
- お買い上げ時は「中国語キーボード」の を利用できません。中国語キーボードの設定をするには、手順2で「中国語キーボード」にチェックを入れてから をタップします。

POBox Touch（日本語）の設定

POBox Touch（日本語）の設定画面を表示する

1 **ホーム画面で をタップし、［基本機能／設定］▶［設定］▶［言語と入力］をタップする**

2 **「POBox Touch（日本語）」の をタップする**

- POBox Touch（日本語）の設定画面が表示されます。

❖お知らせ

- POBox Touch（日本語）の設定画面を表示するには、文字入力画面で をロングタッチまたは をタップして をタップしても表示できます。また、文字入力中にステータスバーの をタップし、「日本語　POBox Touch（日本語）」の をタップしても表示できます。

ソフトウェアキーボードの共通設定

キー操作音や変換候補内の表示行数を設定します。

1 POBox Touch（日本語）の設定画面で［ソフトウェアキーボード設定］をタップする

- 「ソフトウェアキーボード共通設定」の各項目を設定します。

キー操作音	キーをタップしたときに音を出すかどうかを設定します。
候補表示行数（縦画面）	縦画面時に表示される変換候補内の表示行数を設定します。
候補表示行数（横画面）	横画面時に表示される変換候補内の表示行数を設定します。

❖お知らせ

- 「キー操作音」の音量は、音設定の「音楽、動画、ゲーム、その他のメディア」（P.123）と連動しています。
- お買い上げ時の変換候補内の表示行数は、縦画面は2行、横画面は1行に設定されています。

入力サポート

予測変換機能や音声入力設定など、文字入力時のサポート機能を設定できます。

予測変換を設定する

予測変換機能では、日本語・英語ともに入力した文字列に対して予測される変換候補を表示します。また、予測変換設定にチェックを入れると、「入力ミス補正」「自動スペース入力」の設定ができるようになり、文字入力の手間を軽減することができます。

1 POBox Touch（日本語）の設定画面で［入力サポート］をタップする

2 「予測変換」にチェックを入れる

❖お知らせ

- 予測変換候補内で画面下部に向かってフリックまたは▼をタップすると、予測変換候補の表示領域が拡大され、ソフトウェアキーボードが非表示となります。予測変換候補の下に表示される［前候補］／［次候補］／［確定］をタップして、入力したい文字を選択・確定できます。ソフトウェアキーボードを表示させたいときは、［戻る］／﹀／▲をタップします。
- ひらがな漢字入力時に、予測変換候補を表示中は「予測」、直変換候補を表示中は「直変」と表示されます。予測変換候補と直変換候補は、［予測］または［直変］をタップして切り替えられます。

音声入力設定

音声入力を「ドコモ音声入力」または「Google音声入力」に設定します。

1 POBox Touch（日本語）の設定画面で［入力サポート］▶［音声入力］をタップする

2 ［ドコモ音声入力］／［Google音声入力］をタップする

❖お知らせ

- お買い上げ時は、「ドコモ音声入力」に設定されています。
- ソフトウェアキーボードの を初めてタップすると、ドコモ音声入力を起動するか、Google音声入力に変更するかを選択できます。

自動大文字変換

QWERTYキーボードまたは12キーキーボードで半角英字入力時に、文頭の文字が自動的に大文字になるように設定します。

1 POBox Touch（日本語）の設定画面で［入力サポート］をタップする

2 「自動大文字変換」にチェックを入れる

❖お知らせ

- 「自動大文字変換」にチェックを入れていても、半角英字入力時に文頭の文字が大文字にならない場合もあります。

入力ミス補正を設定する

QWERTYキーボードで半角英字を入力し、変換前の文字列に入力ミスがあった場合に、入力ミスを補正して変換候補を表示します。

1 POBox Touch（日本語）の設定画面で［入力サポート］をタップする

2 「入力ミス補正」にチェックを入れる

❖お知らせ

- 予測変換機能（P.59）を設定していない場合は、入力ミス補正を設定できません。

自動スペース入力を設定する

QWERTYキーボードまたは12キーキーボードで英語予測候補を選択時に、入力文字の後ろに自動でスペースを入力します。ただし、メールアドレスやウェブアドレスしか入力できない入力欄では、自動スペースは入力されません。

1 POBox Touch（日本語）の設定画面で［入力サポート］をタップする

2 「自動スペース入力」にチェックを入れる

❖お知らせ

- 予測変換機能（P.59）を設定していない場合は、自動スペース入力を設定できません。

キセカエ設定

ソフトウェアキーボードの外観を変更できます。

1 POBox Touch（日本語）の設定画面で［キセカエキーボード選択］をタップする

2 左右にフリックして、表示されるキーボードから選択し、［決定］をタップする

❖お知らせ

- キセカエキーボードをウェブサイトからダウンロードして追加するには、手順2で［Webから取得］をタップします。ウェブサイトからダウンロードしたキセカエキーボードによっては、本端末に対応していない場合があります。
- ダウンロードしたキセカエキーボードを削除するには、ホーム画面でをタップし、［基本機能／設定］▶［設定］▶［アプリ］▶「ダウンロード」タブで削除したいキセカエキーボードをタップし、［アンインストール］▶［OK］▶［OK］をタップします。本端末に対応していないキセカエキーボードは、手順2で［アンインストール］をタップしても削除できます。

プラグインアプリを利用する

文字入力時にプラグインアプリを使用したり、利用するプラグインアプリを追加することができます。

連絡先引用2.3を利用する

電話帳に連絡先が登録されていると、文字入力時に「連絡先引用2.3」を使って連絡先の情報を引用できます。

1 文字入力画面でをロングタッチまたはをタップする

2 をタップする

3 ［連絡先引用2.3］▶「連絡先」タブをタップする

4 引用したい連絡先を選択する

- 画面上部の検索ボックスに名前や読みを入力すると、一致する連絡先がリスト表示されます。

5 入力したい項目にチェックを入れて、［OK］をタップする

- すべての項目を選択／解除するには、［すべて選択］／［すべて選択解除］をタップします。

❖お知らせ

- 文字入力画面でをロングタッチしてもプラグインアプリの一覧が表示されます。
- 「引用履歴」タブには、文字入力時に引用した連絡先が表示されます。

プラグインアプリを追加する

文字入力時に利用するプラグインアプリをインストールして追加できます。

1 POBox Touch（日本語）の設定画面で［プラグインアプリの管理］をタップする

2 プラグインの起動方法画面で［OK］をタップする

- プラグイン設定の画面が表示されます。

3 ［新規プラグインのダウンロード］をタップする

- POBoxプラグイン一覧の画面が表示されます。

4 追加したいアプリケーションを選択する

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

❖お知らせ

- プラグイン設定の画面でチェックの入っているプラグインアプリは、文字入力画面で起動することができます。プリインストールされているプラグインアプリの「連絡先引用2.3」は、お買い上げ時にはチェックが入っています。

辞書設定

あらかじめ辞書の設定をしておくと、文字入力時に優先的に変換候補として表示されます。

ユーザー辞書に登録する

ユーザー辞書には「日本語ユーザー辞書」と「英語ユーザー辞書」の2種類があります。

1 POBox Touch（日本語）の設定画面で［辞書と学習］をタップする

2 ［日本語ユーザー辞書］／［英語ユーザー辞書］をタップする

3 ⋮をタップし、［追加］をタップする

4 「読み」の文字入力欄をタップして入力する

5 「語句」の文字入力欄をタップして入力し、ソフトウェアキーボードの［完了］をタップする

6 ［保存］をタップする

❖お知らせ

- ユーザー辞書に登録できる文字数は「読み」「語句」ともに、全角・半角に関わらず最大50文字まで、登録できる件数は最大500件となります。

- 登録したユーザー辞書は、編集／削除できます。編集する場合は、登録したユーザー辞書を選択して⋮をタップし、［編集］をタップして、編集内容を入力したら［保存］をタップします。削除する場合は、登録したユーザー辞書を選択して⋮をタップし、［削除］▶［削除］をタップします。ユーザー辞書をすべて削除するには、⋮をタップし、［すべて削除］▶［削除］をタップします。
- 手書き漢字入力で英字入力する場合は、英語ユーザー辞書に登録した語句は変換候補に表示されません。

学習辞書を設定する

1 POBox Touch（日本語）の設定画面で［辞書と学習］をタップし、［学習辞書］をタップする

2 「入力した語句を自動学習」にチェックを入れる

- すでに学習した内容をリセットするには、［学習辞書リセット］▶［削除］をタップします。

❖お知らせ

- すでに学習した語句を学習履歴から個別に削除するには、変換候補の中から削除したい語句をロングタッチし、［削除］をタップします。

オンライン辞書を設定する

ひらがな漢字入力時に英数カナをロングタッチすると、オンライン辞書を起動することができます。

1 POBox Touch（日本語）の設定画面で［辞書と学習］をタップし、［オンライン辞書］をタップする

2 ［オンライン辞書］をタップし、注意文を読んで［同意する］をタップする

- 「オンライン辞書」にチェックが入ります。

❖お知らせ

- ひらがな漢字入力時にQWERTYキーボードでは英数カナ、12キーキーボードでは候補、手書き漢字入力では☺をロングタッチして、オンライン辞書を起動します。

辞書のバックアップと復元

ユーザー辞書と学習辞書は、内部ストレージへバックアップ保存し、必要なときに復元することができます。

1 POBox Touch（日本語）の設定画面で［辞書と学習］をタップし、［バックアップと復元］をタップする

2 ［バックアップ］／［復元］をタップする

3 バックアップ／復元したい辞書にチェックを入れる

- 「日本語ユーザー辞書」「英語ユーザー辞書」「学習辞書」から選択します。

4 ［実行］をタップする

- バックアップでは、内部ストレージ内の辞書に上書きするかどうかの確認画面が表示されます。復元では、本端末内の辞書に上書きするかどうかの確認画面が表示されます。

5 ［OK］▶［OK］をタップする

- バックアップ／復元が実行されます。

❖お知らせ

- 復元に失敗した場合は、本端末内の辞書は初期化されますが、再度操作することによって復元することができます。
- ユーザー辞書と学習辞書は、microSDカードにはバックアップ保存されません。

POBox Touch 徹底ガイド

基本から応用まで、高機能なPOBox Touch（日本語）を詳しく解説したガイドを閲覧できます。また、プラグインアプリやキセカエキーボードの紹介サイトから最新の情報を取得できます。

1 POBox Touch（日本語）の設定画面で［POBox Touch 徹底ガイド］をタップする

- POBox Touch 徹底ガイドが表示されます。

❖お知らせ

- 手書き漢字入力画面で をロングタッチしても、POBox Touch 徹底ガイド内の手書き漢字入力の使い方ガイドが起動し、手書き漢字入力の詳しい使い方を閲覧できます。

USBキーボード／Bluetoothキーボード

本端末にUSBキーボードまたはHID（Human Interface Device）プロファイルに対応したBluetoothキーボードを接続して、文字を入力できます。

■ 日本語配列キーボードを使用する場合

1 USBキーボードまたはBluetoothキーボードを本端末に接続後、ステータスバーの時刻をタップして［キーボードレイアウトの選択］をタップする

- ステータスバーに通知が表示されない場合は、ホーム画面でをタップし、［基本機能／設定］▶［設定］▶［言語と入力］をタップします。

2 本端末に接続中のUSBキーボード名またはBluetoothキーボード名をタップする

3 ［キーボードレイアウトの設定］▶［日本語］をタップする

- 日本語配列キーボードが設定されます。などをタップして設定を終了します。

❖お知らせ

- HIDプロファイルに対応したBluetoothキーボードでも、機器によっては利用できない場合や正常に動作しない場合があります。
- 本端末のステータスバーにが表示された後に、USBキーボードまたはBluetoothキーボードで文字を入力してください。ステータスアイコンが表示されない場合は、文字入力欄をタップしてください。
- 日本語配列のUSBキーボードまたはBluetoothキーボードの「半角／全角」キーを押すと、本端末のかな入力と英字入力を切り替えることができます。英字配列キーボードの場合は、「 ` 」キー（グレーブキー）を押すと切り替えることができます。
- 予測変換候補の表示中にUSBキーボードまたはBluetoothキーボードの「Tab」キー／「↓」キーを押すと、本端末の予測変換候補内の語句を選択できます。
- 予測変換候補内の語句を選択していない状態で、USBキーボードまたはBluetoothキーボードの「Space」キーを押すと、本端末の予測変換候補を直変換候補に切り替えることができます。
- 接続したUSBキーボードまたはBluetoothキーボードからテキストの編集ができます。本端末のテキストの編集については、「テキストの編集」（P.57）をご参照ください。
  - 「Ctrl」キーと「A」キーを押すと、入力したテキストをすべて選択します。
  - 「Shift」キーと「←」キー、または「Shift」キーと「→」キーを押すと、入力したテキストをカーソル位置から部分的に選択します。
  - 「Ctrl」キーと「X」キーを押すと、選択した文字列を切り取ります。
  - 「Ctrl」キーと「C」キーを押すと、選択した文字列をコピーします。

- 「Ctrl」キーと「V」キーを押すと、コピーまたは切り取った文字列を貼り付けます。
- 予測変換候補の表示中にUSBキーボードまたはBluetoothキーボードの「無変換」キーを押すと、本端末の予測変換候補を英数カナ変換候補に切り替えることができます。
- 予測変換候補の表示中にUSBキーボードまたはBluetoothキーボードの「Shift」キーと「Alt」キーを押すと、本端末のオンライン辞書が起動します。あらかじめ、POBox Touch(日本語)の設定画面で、「オンライン辞書」にチェックを入れておく必要があります。
- 文字入力欄と変換候補欄の間に、現在の変換状態(予測変換/直変換/英数カナ変換/オンライン辞書)を表示し、変換候補の選択方法を表示します。
- 変換候補の表示中にUSBキーボードまたはBluetoothキーボードの「ファンクション」キーを押すと、ひらがな/カタカナ/英字に変換できます。
  - 「F6」キーを押すと、ひらがなに変換します。
  - 「F7」キーを押すと、全角カタカナに変換します。
  - 「F8」キーを押すと、半角カタカナに変換します。
  - 「F9」キーを押すと、全角英字に変換します。
  - 「F10」キーを押すと、半角英字に変換します。

ホーム画面

ホーム画面はアプリケーションを使用するためのスタート画面です。ホーム画面ではアプリケーションのショートカットやウィジェットを追加・移動したり、壁紙を変えるなどのカスタマイズができます。

ホーム画面の見かた

[ホーム] をタップすると表示され、最大12個のホーム画面を左右にフリックして使用できます。

「ひつじのしつじくん®」©NTT DOCOMO

① ホーム画面の現在表示位置
② 壁紙
③ ウィジェット：Google検索
④ ウィジェット：マチキャラ
⑤ ショートカット（アプリケーション）
⑥ アプリケーションボタン
⑦ ステータスバー

❖お知らせ

- 本端末では、ホームアプリを「ドコモ」または「Xperia™」に切り替えられます。
  お買い上げ時は、ホームアプリに「ドコモ」が設定されています。ホームアプリを切り替える場合は、ホーム画面で[アプリ]をタップし、［基本機能／設定］▶［設定］▶［セットアップガイド］をタップして、優先アプリケーション画面で［今すぐ変更］▶［ホームアプリ］をタップします。また、ホーム画面で[アプリ]をタップし、［基本機能／設定］▶［設定］▶［Xperia™］▶［優先アプリ設定］▶［ホームアプリ］をタップしても切り替えられます（P.131）。
- ホームアプリを切り替えると、ホーム画面のレイアウトなどによっては、画面上のウィジェットやアプリケーションのショートカットなどが正しく表示されない場合があります。
- ホーム画面の操作ガイドが表示されたら、［OK］／［以後表示しない］をタップして、ホーム画面を表示します。

ホーム画面を切り替える

1 ホーム画面を左右にフリックする

- ホーム画面が切り替わります。

❖お知らせ

- ホーム画面上部に表示される[● ○ ○]で、現在表示しているホーム画面の位置を確認できます。
- ホーム画面の一覧を表示し、任意のホーム画面をタップしても切り替えることができます。ホーム画面一覧の表示については、「ホーム画面の一覧を表示する」（P.68）をご参照ください。

ホーム画面の一覧を表示する

1 ホーム画面でピンチインする

- ホーム画面一覧が表示されます。

❖お知らせ

- ホーム画面上のアイコンがない部分で画面をロングタッチし、[ホーム画面一覧]をタップしても表示することができます。
- ホーム画面一覧の操作ガイドが表示されたら、[OK]/[以後表示しない]をタップします。
- ホーム画面に戻るには、ピンチアウトするか、[⌂]または[↩]をタップします。

ホーム画面に追加する

1 ホーム画面上のアイコンがない部分で画面をロングタッチする

-「操作を選択」メニューが表示され、ホーム画面を変更できます。

■ 操作を選択

ショートカット	アプリケーションや設定画面などのショートカットを追加します(P.68)。
ウィジェット	ウィジェットを追加します(P.69)。
フォルダ	新しいフォルダを作成します(P.70)。
きせかえ	ホーム画面やアプリケーション画面の背景を変更したり、ウェブサイトからダウンロードして追加します(P.70)。
壁紙	壁紙を変更したり、ウェブサイトからダウンロードして追加します(P.71)。
グループ	アプリケーション画面のグループのショートカットを追加します(P.71)。
ホーム画面一覧	ホーム画面の一覧を表示します(P.68)。
壁紙ループ設定	ホーム画面の壁紙の表示をループさせるかどうかを設定します。

ホーム画面にショートカットを追加する

1 「操作を選択」メニュー画面で(P.68)、[ショートカット]をタップする

2 追加したいショートカットを選択する

- ショートカットがホーム画面に表示されます。

❖お知らせ

- ホーム画面で[アプリ]をタップし、追加したいアプリケーションアイコンをロングタッチして[ホームへ追加]をタップしてもアプリケーションのショートカットを追加することができます。

ホーム画面にウィジェットを追加する

1 「操作を選択」メニュー画面で（P.68）、［ウィジェット］をタップする

- ウィジェットの一覧が表示されます。

おすすめのコンテンツを楽しむ	Google Playのおすすめのアプリケーションを「すべて」「アプリ」「書籍」「映画」から選択して表示します。
カテゴリナビ	トピックスなどを表示したり、グルメや乗換案内などのカテゴリを選択して情報を検索できます。
カレンダー	カレンダーを表示します。
スクリーンミラーリング	スクリーンミラーリングのオン／オフを切り替えることができます。
パーソナルエリア	パーソナルエリアを表示します。
ブックマーク	ブラウザのブックマークを表示します。
ブックマーク	Chromeのブックマークを表示します。
マチキャラ	しゃべってコンシェルを利用できます。
交通状況	任意のウィジェット名と目的地を入力すると、現在地から目的地までの所要時間がウィジェットで表示され、タップすると提供されている交通状況を確認できます。
再生ーマイライブラリ	Google Playで管理している動画や書籍などを、「マイライブラリ」「マイブック」「マイ動画」から選択して表示します。
診断ツールアプリ	診断ツールを表示します。
電話帳	ドコモの提供する電話帳アプリから連絡先を表示します。
連絡先	Xperia™の電話帳アプリから連絡先を表示します。
Contents Headline	dマーケットにあるおすすめの音楽、動画、電子書籍、アプリケーション情報を表示します。
docomo Wi-Fiかんたん接続	Wi-Fiエリア内では、ワンタッチでWi-Fiへの接続／切断ができます。
Eメール	Eメールのアカウントやフォルダを選択して表示します。
Facebook	Facebookのコメントを表示したり、投稿したりできます。
Facebook	Facebookにコメントを投稿したり、画像を選択してアップロードできます。
Gmail	Gmailのアカウントやフォルダを選択して表示します。
Google+投稿	Google+の投稿を表示します。
Google検索	Googleの検索ボックスを表示します。
iチャネルウィジェット（1件表示／2件表示）	ニュースや天気などの最新情報を表示します。
ICタグ・バーコードリーダー	ICタグの読取モードのオン／オフを切り替えることができます。
Music Unlimited	Music Unlimitedを表示します。
NFCカンタン起動	NFC機能のオン／オフを切り替えることができます。

NOTTV ウィジェット	モバキャス（スマートフォン向けの放送サービス）の番組やコンテンツなどを視聴できます。
OfficeSuiteの最近の履歴	最近のOfficeSuiteを使用した履歴を表示します。
Playストア	Google Playのおすすめのアプリケーションを表示します。
Socialife	FacebookやTwitterなどのSNS、お気に入りのニュースサイトなどを表示します。
Socialife（visual style）	FacebookやTwitterなどのSNS、お気に入りのニュースサイトなどで写真や画像などが設定されているものを表示します。
Socialife シェア	FacebookやTwitterなどのSNSにメッセージを投稿できます。
Socialife フレンド	FacebookやTwitterなどのSNSに登録している友達の最新のイベントを表示します。
TrackID™	TrackIDを表示します。
YouTube	再生回数の多い動画やおすすめの動画などを表示します。

2 **項目を選択する**

❖お知らせ

- Google Playからウィジェットのあるアプリケーションをインストールした場合、インストールしたウィジェットもウィジェット一覧に表示されます。

ホーム画面にフォルダを追加する

1 **「操作を選択」メニュー画面で（P.68）、［フォルダ］をタップする**

- フォルダがホーム画面に追加されます。

❖お知らせ

- フォルダ名を変更するには、変更したいフォルダをタップして、名称入力欄をタップし、フォルダ名を入力して、ソフトウェアキーボードの［完了］をタップし、画面上をタップします。変更したいフォルダをロングタッチして［名称変更］をタップし、フォルダ名を入力して［OK］をタップしても変更することができます。
- フォルダの中にショートカットを移動するには、ホーム画面で移動したいショートカットをロングタッチし、任意のフォルダの上にドラッグします。

きせかえを変更する

1 **「操作を選択」メニュー画面で（P.68）、［きせかえ］をタップする**

2 **左右にフリックし、変更したいきせかえを選択する**

❖お知らせ

- 手順2で変更したいきせかえを選択して［設定する］をタップしても、きせかえを変更できます。
- ホーム画面でをタップし、をタップして、［きせかえ］をタップしても変更することができます。

- きせかえのコンテンツは、［サイトから探す］をタップして、ウェブサイトからダウンロードして追加することもできます。追加したきせかえのコンテンツを削除するには、画像を選択して［削除］▶［削除する］をタップします。

壁紙を変更する

1 「操作を選択」メニュー画面で（P.68）、［壁紙］をタップする

2 ［アルバム］／［ライブ壁紙］／［Xperia™の壁紙］のいずれかをタップする

- ［アルバム］をタップした場合は、画像を選択し、ドラッグまたはピンチなどでトリミング枠を調整しながら画像の範囲を設定し、［トリミング］をタップすると、壁紙に設定されます。
- ［ライブ壁紙］をタップした場合は、コンテンツを選択し、［壁紙を設定］をタップします。ライブ壁紙のコンテンツは、ウェブサイトからダウンロードして追加することもできます。コンテンツによっては［設定］をタップすると、種類を変更したり、壁紙に表示される内容を変更できるものがあります。
- ［Xperia™の壁紙］をタップした場合は、画像を選択し、［壁紙を設定］をタップします。

❖お知らせ

- ホーム画面で をタップし、［基本機能／設定］▶［設定］▶［画面設定］▶［壁紙］をタップしても変更することができます。

ホーム画面にグループを追加する

1 「操作を選択」メニュー画面で（P.68）、［グループ］をタップする

2 追加したいアプリケーションのグループを選択する

❖お知らせ

- アプリケーション画面（P.73）でグループ名をロングタッチし、［ホームへ追加］をタップしても追加することができます。

ホーム画面を変更する

ホーム画面一覧を表示中に、ホーム画面を追加したり、削除したり、並べ替えできます。

- ホーム画面一覧の表示については、「ホーム画面の一覧を表示する」（P.68）をご参照ください。

ホーム画面を追加する

1 ホーム画面でピンチインする

- ホーム画面一覧が表示されます。

2 をタップする

❖**お知らせ**

- お買い上げ時は3つのホーム画面で構成されていて、最大12個のホーム画面を表示することができます。

ホーム画面を削除する

1 ホーム画面でピンチインする

- ホーム画面一覧が表示されます。

2 削除したいホーム画面のサムネイルの をタップする

❖**お知らせ**

- ホーム画面一覧で、削除したいホーム画面のサムネイルをロングタッチし、［削除］をタップしても削除できます。

ホーム画面を並べ替える

1 ホーム画面でピンチインする

- ホーム画面一覧が表示されます。

2 並べ替えたいホーム画面をロングタッチする

3 任意の場所までドラッグする

ホーム画面のアイコンを移動する

1 ホーム画面で移動したいアイコンをロングタッチする

2 任意の場所までドラッグする

- ロングタッチしたままホーム画面の左右にドラッグすると、別のホーム画面へ移動できます。

ホーム画面のアイコンを削除する

1 ホーム画面で削除したいアイコンをロングタッチする

2 ［削除］をタップする

❖**お知らせ**

- ホーム画面で削除したいアイコンをロングタッチし、画面下部に表示される にドラッグしても削除できます。

ホーム画面のショートカットやウィジェットをアンインストールする

- ホーム画面のショートカットやウィジェットをアンインストールする前に、アプリケーションやウィジェット内に保存されているデータも含めて、そのアプリケーションやウィジェットに関連する保存しておきたいコンテンツをすべてバックアップしておいてください。
- アプリケーションやウィジェットによっては、アンインストールできない場合があります。

1 ホーム画面でアンインストールしたいショートカットまたはウィジェットをロングタッチする

2 ［アンインストール］をタップする

- アンインストールの確認画面が表示されます。

3 ［OK］▶［OK］をタップする

❖お知らせ

- 設定メニュー画面（P.111）からもアンインストールできます。詳しくは、「インストールされたアプリケーションを削除する」（P.129）をご参照ください。

アプリケーション画面

アプリケーション画面から本端末に搭載されているアプリケーションにアクセスして、各機能を利用します。

アプリケーション画面の見かた

1 ホーム画面で（アプリケーションボタン）をタップする

- アプリケーション画面が表示されます。

① アプリタブ
- アプリケーション画面を表示します。

② おすすめタブ
- ドコモがおすすめするアプリケーションをインストールできます。

③ アプリケーションアイコン
- ウェブサイトからアプリケーションをダウンロードしたり、既存のアプリケーションが更新されると、アプリケーションアイコンの左上に✦が表示されます。
- 未読メールなどの件数が数字で表示されるアイコンがあります。

④ オプションメニューアイコン
- 本体設定などのオプションメニューを表示します。

⑤ グループ名
- グループ別にアプリケーションを管理できます。
- 横画面の場合はタップすると、グループ内のアプリケーションを表示します。
- 縦画面の場合はタップすると、グループ内のアプリケーションを表示／非表示にできます。

⑥ グループ内アプリケーションの数

⑦ グループ内アプリケーション
- アプリケーション画面でピンチアウト／ピンチインすると、すべてのグループ内アプリケーションを表示／非表示にできます（縦画面のみ）。

❖お知らせ
- アプリケーション画面の操作ガイドが表示されたら、［OK］／［以後表示しない］をタップします。
- アプリケーション画面を閉じるには、[↩]または[⌂]をタップします。
- アプリケーションアイコンをロングタッチし、［アプリ情報］をタップすると、アプリケーションの情報を確認できます。
- 本書の操作説明は、横画面での操作で説明しています。アプリケーションを利用するにはグループ名をタップしてください。

アプリケーションの種類

お買い上げ時のアプリケーション画面に表示されるアプリケーションは次のとおりです。
- 一部のアプリケーションの使用には、別途お申し込み（有料）が必要となるものがあります。

■ ドコモサービス

dメニュー

ｉモードで利用できたコンテンツをはじめ、スマートフォンならではの楽しく便利なコンテンツを簡単に探せる「ｄメニュー」へのショートカットアプリです。→P.157

dマーケット

ｄマーケットを起動するアプリです。ｄマーケットでは、音楽や動画、書籍などのコンテンツを購入することができます。また、Google Play上のアプリを紹介しています。→P.157

ｉチャネル

ｉチャネルを利用するためのアプリです。

しゃべってコンシェル

「調べたいこと」や「やりたいこと」などを端末に話しかけると、その言葉の意図を読み取り、最適な回答を表示するアプリです。

docomo Wi-Fiかんたん接続
ドコモの公衆無線LANサービス「docomo Wi-Fi」もしくは自宅のWi-Fi環境を便利に利用するためのアプリです。ウィジェットによりWi-Fiエリア内では、ワンタッチでWi-Fiへの接続／切断ができます。

■ 基本機能／設定

ドコモ電話帳
ドコモの提供する電話帳アプリを起動し、友人や同僚の連絡先を管理します。→P.83

spモードメール
ドコモのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しています。→P.92

災害用キット
緊急速報「エリアメール」の受信メール確認と各種設定（P.104）、災害用伝言板にメッセージの登録や確認などができるアプリです。

取扱説明書
本端末の取扱説明書です。説明から使いたい機能を直接起動することもできます。
※「はじめに」の「SO-03Eの取扱説明書について」をご参照ください。

設定
本端末の各種設定を行います。→P.111

遠隔サポート
「スマートフォンあんしん遠隔サポート」をご利用いただくためのアプリです。「スマートフォンあんしん遠隔サポート」はお客様がお使いの端末の画面を、専用コールセンタースタッフが遠隔で確認しながら、操作のサポートを行うサービスです。

■ エンタメ／便利ツール

カメラ
写真や動画の撮影ができます。→P.176

フォトコレクション
写真・動画の無料ストレージサービスです。クラウド上で顔やシーンを識別して自動でグループ分けすることができます。

NOTTV
モバキャスを視聴できます。「NOTTV」などの放送局の番組・コンテンツをお楽しみ頂けます。→P.162

テレビ
フルセグ／ワンセグを視聴します。→P.167

メディアプレイヤー
音楽や動画を再生することができるアプリです。→P.201

ICタグ・バーコードリーダー
ICタグとバーコードを読み取るためのアプリです。

電卓
加算、減算、乗算、除算などの基本的な計算を行います。

アラームと時計
アラームを設定したり、時計を表示します。→P.213

トルカ
トルカの取得・表示・検索・更新などができます。→P.161

リモコン
さまざまな機器の赤外線リモコンを本端末に登録して、登録した赤外線リモコンの代わりに本端末を使って複数の機器を操作できます。

■ Xperia

連絡先
Xperia™の電話帳アプリを起動し、友人や同僚の連絡先を管理します。

FMラジオ
FMラジオを利用できます。→P.174

電子書籍 Reader by Sony
ソニーのeBookストア「Reader Store」で今話題の書籍や人気コミックなどを好きなときに購入して楽しめます。

WALKMAN
内部ストレージやmicroSDカードに保存した音楽データを再生します。

アルバム
撮影した写真や動画、PicasaやFacebookなどにアップした画像を閲覧できます。→P.197

ムービー
Video Unlimitedで本端末にダウンロードした作品や、PCなどから本端末に転送した動画を再生できます。Wi-Fi機能を利用して、DLNA機器の動画を本製品で再生したり、ブルーレイディスクレコーダーで録画した番組などをワイヤレスおでかけ転送して、本端末で再生できます。

Socialife
FacebookやTwitterなどのSNS、お気に入りのニュースサイトなどをまとめて閲覧・管理できます。→P.204

Music Unlimited
いつでも、どこでも世界中の音楽を聴くことができるサービス「Music Unlimited（ミュージックアンリミテッド）」へ接続します。

Video Unlimited
お気に入りの映像作品を本端末にダウンロードして、どこでも視聴することができるサービス「Video Unlimited（ビデオアンリミテッド）」へ接続します。

PlayMemories Online
ソニーの写真・動画クラウドサービスに、写真や動画を簡単にアップロードし、アップロードされた写真や動画を特定の友人と共有できます。

PSMを始めよう
『PS Store』を紹介するサイトを表示します。ゲームをダウンロードして本端末で楽しむことができます。

TrackID™
再生している音楽の情報を確認するサービスを利用できます。

ノート
作成したメモやボイスメモを他の端末に送信して情報を共有できます。Evernoteと同期することもできます。

Sony Select
Sony Selectに接続して、アプリやゲームなどを取得できます。

OfficeSuite
Officeドキュメントを閲覧、表示できます。→P.218

Facebook
Facebookクライアントアプリを起動します。→P.141

ファイル転送
本端末の内部ストレージとmicroSDカードとの間で、データやファイルなどを簡単に転送できます。

■ Google

Eメール
Eメール（複数のアカウントを使用可）を送受信します。→P.95

Gmail
Googleアカウントのメールを送受信できます。→P.102

メッセージ
メッセージ（SMS）を送受信します。→P.92

トーク
Google トークを利用してチャットができます。→P.104

ブラウザ
ウェブサイトおよびWAPサイトの閲覧（WMLは除く）や、ファイルのダウンロードができます。→P.106

Chrome
Google Chromeでインターネットに接続します。

Google
キーワードから本端末内やウェブページを対象に検索できます。→P.48

音声検索
Google音声検索を利用できます。

Playストア
Google Playにアクセスして新しいアプリケーションのダウンロード・購入ができます。→P.158

YouTube
世界中の動画を再生したり、録画した動画をアップロードできます。→P.199

Playムービー
Google Playの映画レンタルサービスにアクセスして、鑑賞したい映画作品を選択してレンタルできる動画アプリです。

Playブックス
Google Play Booksから新作、ベストセラーなどをダウンロードして読むことができます。

カレンダー
カレンダーを表示して、予定の管理をします。→P.211

マップ
現在地の表示、他の場所の検索や経路検索などGoogleマップのサービスを利用できます。→P.208

ナビ
Googleマップナビを表示して、目的地への音声ナビゲーションなどを利用できます。→P.210

ローカル
Googleマップ上に登録された現在地付近のお店など各種情報を利用できます。→P.209

Google+
Googleが提供するSNSのクライアントアプリであるGoogle+を起動します。

メッセンジャー
Google+を利用してグループでチャットができます。

❖お知らせ

- このアプリケーション画面に表示されているものは、お買い上げ時にプリインストールされています。プリインストールされているアプリケーションには、一部アンインストールできるアプリケーションがあります。一度アンインストールしても「Playストア」（P.158）などから再度ダウンロードできる場合があります。
- ホーム画面でをタップし、「おすすめ」タブ▶［おすすめアプリを見る］をタップすると、ドコモがおすすめするアプリケーションが表示されます。詳しくは、「「おすすめ」アプリケーションをインストールする」（P.82）をご参照ください。
- アプリケーションによっては、名称が最後まで表示されない場合があります。
- アプリケーションによっては、ダウンロードとインストールが必要になるものがあります。アプリケーションをタップしてもダウンロードできない場合は、ホーム画面でをタップし、［基本機能／設定］▶［設定］▶［セキュリティ］▶［提供元不明のアプリ］▶［OK］をタップし、チェックを入れてからアプリケーションをダウンロードします。
- 複数のアプリケーションを起動していると、電池の消費量が増えて使用時間が短くなることがあります。このため使用しないアプリケーションは終了することをおすすめします。アプリケーションを終了するには、使用中のアプリケーションの画面でをタップしてホーム画面（P.67）を表示させるか、をタップして［全アプリ終了］をタップしてください。

アプリケーション画面を変更する

アプリケーション画面で、アプリケーションアイコンをホーム画面に追加したり、並べ替えたり、アプリケーションをアンインストールできます。また、グループの設定を変更することができます。

アプリケーションアイコンをホーム画面に追加する

1 アプリケーション画面で、ホーム画面に追加したいアプリケーションアイコンをロングタッチする

2 ［ホームへ追加］をタップする

- ホーム画面にアプリケーションアイコンが追加されます。

❖お知らせ

- ホーム画面上のアイコンがない部分で画面をロングタッチし、［ショートカット］▶［アプリケーション］をタップして、任意のアプリケーションを選択しても追加することができます。

アプリケーションアイコンを並べ替える

1 アプリケーション画面で、並べ替えたいアプリケーションアイコンをロングタッチする

2 任意の場所までドラッグする

- アプリケーションアイコンが移動します。

❖お知らせ

- アプリケーションアイコンを別のアプリケーションのグループに移動するには、アプリケーション画面でアイコンをロングタッチし、［移動］をタップして移動先のグループを選択するか、アプリケーション画面でアイコンをロングタッチし、移動したいグループへドラッグしても移動できます。

アプリケーションをアンインストールする

アプリケーション画面から一部のアプリケーションアイコンを削除できます。

- アンインストールする前に、アプリケーション内に保存されているデータも含めて、そのアプリケーションに関連する保存しておきたいコンテンツをすべてバックアップしておいてください。
- アプリケーションやウィジェットによっては、アンインストールできない場合があります。

1 アプリケーション画面で、アンインストールしたいアプリケーションアイコンをロングタッチする

2 ［アンインストール］をタップする

- アンインストールの確認画面が表示されます。

3 ［OK］▶［OK］をタップする

❖お知らせ

- 設定メニュー画面（P.111）からもアンインストールできます。詳しくは、「インストールされたアプリケーションを削除する」（P.129）をご参照ください。

グループのショートカットをホーム画面に追加する

1 アプリケーション画面で、ホーム画面に追加したいグループ名をロングタッチする

2 ［ホームへ追加］をタップする

- ホーム画面にグループのショートカットが追加されます。

❖お知らせ

- ホーム画面上のアイコンがない部分で画面をロングタッチし、［グループ］をタップして、任意のグループを選択しても追加することができます。

グループ名のラベルの色を変更する

- 縦画面のみ変更できます。

1 アプリケーション画面で、ラベルの色を変更したいグループ名をロングタッチする

2 ［ラベル変更］をタップし、変更したいラベルの色を選択する

- グループ名のラベルの色が変更されます。

グループを削除する

1 アプリケーション画面で、削除したいグループ名をロングタッチする

2 ［削除］▶［OK］をタップする

- 削除したグループに分類されていたアプリケーションアイコンは「ダウンロードアプリ」グループに移動します。

❖お知らせ

- 「最近使ったアプリ」「ドコモサービス」「ダウンロードアプリ」グループは削除できません。

グループ名を変更する

1 アプリケーション画面で、名称を変更したいグループ名をロングタッチする

2 ［名称変更］をタップする

3 グループ名を入力して［OK］をタップする

- グループ名が変更されます。

❖お知らせ

- 「最近使ったアプリ」「ドコモサービス」「ダウンロードアプリ」グループは、グループ名を変更することはできません。

グループを追加する

1 アプリケーション画面で ⋮ をタップし、［グループ追加］をタップする

2 グループ名を入力して［OK］をタップする

- 新しくグループが追加されます。

グループを並べ替える

1 アプリケーション画面で、並べ替えたいグループ名をロングタッチする

2 任意の場所までドラッグする

- グループが移動します。

最近使用したアプリケーションのウィンドウを開く

最近使用したアプリケーションをサムネイルで一覧表示し、起動できます。

1 ［▭］をタップする

- 最近使用したアプリケーションのサムネイルが表示されます。

❖お知らせ

- サムネイル表示されたアプリケーションを左右にフリックすると一覧から削除できます。
- サムネイル表示されたアプリケーションをタップすると起動できます。ロングタッチして［リストから削除］をタップすると一覧から消去し、［アプリ情報］をタップするとアプリケーションの情報を確認できます。［全アプリ終了］をタップすると、サムネイル表示されたアプリケーションをすべて終了し、サムネイル表示の履歴をすべて消去することができます。

アプリケーションを検索する

本端末にインストールされているアプリケーションを検索し、起動することができます。

1 **アプリケーション画面で ⋮ をタップし、[検索]をタップする**

- ソフトウェアキーボードが表示されます。

2 **検索するアプリケーション名を入力する**

- 文字の入力に従って、検索結果の候補が表示されます。

3 **アプリケーション名をタップする**

- アプリケーションが起動します。

❖お知らせ

- Googleアカウントを設定していると、手順1でGoogle Nowについての画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。
- ホーム画面で をタップし、[Google]▶[Google]をタップしてもアプリケーションを検索することができます。詳しくは、「本端末内やウェブページの情報を検索する」（P.48）をご参照ください。

「おすすめ」アプリケーションをインストールする

アプリケーション画面の「おすすめ」タブ（P.73）には、ドコモがおすすめするアプリケーションが表示されます。

1 **アプリケーション画面で「おすすめ」タブをタップする**

2 **[おすすめアプリを見る]をタップする**

3 **利用したいアプリケーションを選択する**

- ダウンロード画面が表示されますので、画面の指示に従って操作してください。

❖お知らせ

- 手順3で［おすすめアプリをすべて見る］をタップすると、ブラウザが起動し、ドコモがおすすめするアプリケーションが一覧表示されます。
- ダウンロードしたアプリケーションは、アプリケーション画面の「ダウンロードアプリ」グループに表示されます。

ホームアプリの情報を確認する

1 **アプリケーション画面で ⋮ をタップし、[アプリケーション情報]をタップする**

- ホームアプリの情報が表示されます。

電話帳

電話帳では、電話番号、メールアドレス、各種サービスのアカウントなど、連絡先に関するさまざまな情報を入力できます。

電話帳を表示する

1 ホーム画面で をタップし、「連絡先」タブをタップする

- 電話帳一覧画面が表示されます。

❖お知らせ

- 初めて使用するときは、「クラウドの利用について」画面が表示され、［利用する］をタップすると、クラウドの利用を開始できます。電話帳のクラウドサービスには、ドコモの電話帳アプリが必要となります。
- 「SDカードバックアップ」を利用すると、電話帳のデータをmicroSDカードにバックアップできます。バックアップの方法については、「SDカードバックアップ」(P.216)をご参照ください。
- ホーム画面で をタップし、［Xperia］▶［連絡先］をタップすると、Xperia™の電話帳アプリを起動することができます。

電話帳一覧画面

電話帳一覧画面では、連絡先の各種情報が表示されます。電話帳に写真を追加したり、グループごとの電話帳を表示したりすることもできます。

① 電話帳に登録された名前
② インデックス
- インデックス文字をタップすると、インデックス文字に振り分けられている電話帳を表示します。

③ グループ
- 表示するグループを選択します。

④ 連絡先タブ
⑤ コミュニケーションタブ
- メッセージ（SMS）の送受信、spモードメール、SNSのメッセージの送受信履歴が表示されます。SNSのメッセージは、クラウドを利用開始の上、「マイSNS」機能を利用している場合のみ表示されます。

⑥ タイムラインタブ
- 「フレンドNEWS」機能、および「マイSNS」機能によるSNS・ブログのタイムラインが表示されます。表示するためにはクラウドを利用開始している必要があります。

⑦ マイプロフィールタブ
  - 自分の電話番号を確認できます。
⑧ オプションメニュー
⑨ プロフィール情報
  - 選択中の電話帳のプロフィール情報が表示されます。
⑩ 登録
⑪ 登録内容
  - 登録内容がアイコンで表示されます。
⑫ 検索
⑬ 電話帳に設定された写真
  - 写真をタップすると、メールなどのショートカットが表示され、メールを作成して送信したりできます。

電話帳を管理する

電話帳を追加する

1 電話帳一覧画面（P.83）で、[登録]をタップする

- Googleアカウントなどを設定している場合は、設定したアカウントを登録先として選択できます。

2 プロフィール編集画面で必要な項目を入力する

- 名前や電話番号、メールアドレスなどを設定できます。「その他」の ^ をタップし、登録したい項目の［追加］をタップして入力します。

3 [登録完了]をタップする

❖お知らせ

- 電話帳の登録件数は、電話帳一覧画面で、⋮ をタップし、［その他］▶［アプリケーション情報］をタップすると確認できます。
- 「ふりがな（姓／名）」を登録した場合、電話帳一覧画面には「ふりがな」の五十音順、アルファベット順で表示されます。電話帳登録時に、「姓／名」を漢字で入力し、「ふりがな」を入力しなかった場合は、電話帳一覧画面の「他」欄に表示されます。
- 電話帳登録時に保存先として「docomo」アカウントを選択すると、SNSやブログのアカウントを設定できます。
- 複数の電話番号やメールアドレスの中からメインで使用する番号やアドレスを設定するには、プロフィール情報の電話番号やメールアドレスをロングタッチし、［メインの番号に設定］／［メインのアドレスに設定］をタップします。電話番号やメールアドレスの右横にチェックが入ります。設定を解除するには、プロフィール情報の電話番号やメールアドレスをロングタッチし、［メインの番号を解除］／［メインのアドレスを解除］をタップします。

電話帳を検索する

1 電話帳一覧画面（P.83）で、[検索]をタップする

2 検索する名前や読みを入力する

- 入力した文字で始まる電話帳（姓／名）が表示されます。

電話帳の表示順を変更する

1 **電話帳一覧画面（P.83）で、⋮ をタップし、［その他］▶［連絡先の表示順］をタップする**

2 **［あいうえお順］／［ABC順］／［123順］のいずれかをタップする**

電話帳の表示条件を変更する

登録している電話帳のうち、電話帳一覧画面に表示させる電話帳を設定することができます。

1 **電話帳一覧画面（P.83）で、⋮ をタップし、［その他］▶［表示するアカウント］をタップする**

2 **［すべてのアカウントを表示］／［カスタマイズ...］をタップする**

- Googleアカウントなどを設定していると、表示させるアカウントとしてdocomoアカウントやGoogleアカウントなどを選択できます。
- ［カスタマイズ...］をタップして、アカウントの各項目にあるチェックボックスを選択して、電話帳一覧画面の表示をカスタマイズできます。

電話帳をグループごとに表示する

1 **電話帳一覧画面（P.83）で、［グループ］をタップする**

2 **任意のグループを選択する**

- 電話帳登録時に設定したグループごとに電話帳が表示されます。
- グループを非表示にする場合は、［閉じる］をタップします。

電話帳をグループに設定する

電話帳一覧画面から任意のグループに設定することができます。

1 **電話帳一覧画面（P.83）で、［グループ］をタップする**

2 **グループ設定したい電話帳をロングタッチし、任意のグループの上にドラッグする**

❖お知らせ

- グループ設定を解除したい場合は、解除したい電話帳をロングタッチし、設定していたグループの上にドラッグします。
- Googleアカウントなどを設定している場合は、アカウントごとにグループが表示され、同じアカウント内でグループを設定／解除することができます。

電話帳のグループを新規作成する

1 電話帳一覧画面（P.83）で、[グループ] ▶ [追加] をタップする

- 「追加」が表示されない場合は、グループ上をフリックすると表示されます。
- Googleアカウントなどを設定している場合は、設定したアカウントを追加先として選択できます。

2 グループ追加画面で色、アイコン、グループ名を入力し、[OK] をタップする

- 設定項目は、アカウントの種類により異なります。

❖お知らせ

- 新規作成したグループと、お買い上げ時に登録されているグループの「家族」「友人」「会社」は、編集／削除できます。編集する場合は、グループをロングタッチし、[グループ編集] をタップして、編集内容を入力したら [OK] をタップします。削除する場合は、グループをロングタッチし、[グループ削除] ▶ [OK] をタップします。削除したグループに設定されていた電話帳は、「グループなし」タブに移動します。
- 1つのアカウント内に既存のグループ名と同じ名称のグループは追加できません。

電話帳を編集する

1 電話帳一覧画面（P.83）で、編集する電話帳をタップする

2 プロフィール情報の [編集] をタップする

3 必要な項目を選択し、編集する

- [追加] をタップして電話番号やメールアドレスなどを設定したり、[削除] をタップして設定している情報を消去します。

4 [登録完了] をタップする

電話帳をお気に入り登録する

電話帳にお気に入りのマークを付けることができます。お気に入りリストを使用すると、マークを付けた電話帳にすばやくアクセスできます。

1 電話帳一覧画面（P.83）で、お気に入り登録する電話帳をタップする

2 プロフィール情報の ☆ をタップする

- ★ になり、お気に入りに登録されます。

❖お知らせ

- docomoアカウントやGoogleアカウントなどに保存された電話帳は、お気に入りに登録できます。
- お気に入りに登録した電話帳を表示するには、電話帳一覧画面で [グループ] ▶ [お気に入り] をタップします。

電話帳に写真を設定する

1 **電話帳一覧画面（P.83）で、写真を設定する電話帳をタップする**

2 **プロフィール情報の［編集］をタップする**

3 **画像（ ）の［設定］をタップする**

4 **［写真を撮影］／［画像を選ぶ］をタップする**

- ［写真を撮影］をタップした場合は、「カメラ」または「ピクチャーエフェクト」を選択し、「常時」または「今回のみ」を選択して写真を撮影します。「ピクチャーエフェクト」での撮影方法については、「ピクチャーエフェクト」（P.194）をご参照ください。
- ［画像を選ぶ］をタップした場合は、表示された画像一覧から選択します。

5 **表示する画像の範囲を設定して、［トリミング］をタップする**

- ドラッグまたはピンチなどでトリミング枠を調整しながら画像の範囲を設定します。

6 **［登録完了］をタップする**

❖お知らせ

- 次の操作でも、電話帳に写真を設定できます。
  ホーム画面で をタップし、［Xperia］▶［アルバム］をタップします。設定したい画像を選択して画面上をタップし、 をタップして、［登録］▶［電話帳の写真］をタップします。登録したい電話帳を選択し、表示する画像の範囲を設定して［トリミング］をタップします。

電話帳に着信音を設定する

1 **電話帳一覧画面（P.83）で、着信音を設定する電話帳をタップする**

2 ** をタップし、［その他］▶［着信音を設定］をタップする**

3 **着信音を選択し、［完了］をタップする**

❖お知らせ

- docomoアカウントの場合は、プロフィール編集画面で着信音の［設定］をタップしても着信音を設定できます。
- お買い上げ時に登録されている着信音以外の音を設定する場合は、 をタップして設定できます。
- 保存先のアカウントによっては、電話帳登録時に着信音を設定できます。

電話帳を統合する

複数の電話帳として登録された電話帳を1つに統合させて、まとめることができます。

1 **電話帳一覧画面（P.83）で、統合する電話帳をタップする**

2 **⋮をタップし、［その他］▶［統合／分割］をタップする**

- 統合する電話帳候補が表示されます。

3 **統合する電話帳をタップする**

❖お知らせ

- 電話帳の統合を解除するには、解除したい電話帳をタップし、⋮をタップして、［その他］▶［統合／分割］▶［分割］をタップします。

電話帳を削除する

1 **電話帳一覧画面（P.83）で、⋮をタップし、［選択削除］をタップする**

2 **削除する電話帳にチェックを入れる**

- すべての電話帳を削除するには「全選択」にチェックを入れます。
- インデックスをタップして削除したい電話帳を検索できます。

3 **［削除］▶［OK］をタップする**

❖お知らせ

- 電話帳を1件のみ削除する場合は、電話帳一覧画面で、削除したい電話帳をタップし、⋮をタップして、［1件削除］▶［OK］をタップします。

マイプロフィールを確認して情報を編集する

1 **電話帳一覧画面（P.83）で、「マイプロフィール」タブをタップする**

2 **［編集］をタップする**

3 **マイプロフィール画面で名前などの必要な項目を入力する**

- ［追加］をタップして電話番号やメールアドレスを入力し、［設定］をタップしてSNSやブログのアカウントを登録します。「その他」の＾をタップし、登録したい項目の［追加］をタップして入力します。

4 **［登録完了］をタップする**

❖お知らせ

- マイプロフィールには、複数の電話番号やメールアドレス、SNSやブログのアカウントなどを登録することができます。
- 名刺作成アプリを使って作成した名刺データをマイプロフィールに保存し、名刺データをネットワーク経由で交換することができます。初めて使用するときは、電話帳一覧画面で、「マイプロフィール」タブをタップし、［新規作成］をタップして、表示される画面の指示に従って操作してください。

電話帳をBluetooth／Eメール／Gmailで送信する

登録した電話帳やマイプロフィールの情報をBluetooth機能（P.147）やEメールの添付機能などを利用して送信できます。

■ 電話帳を送信する

1 電話帳一覧画面（P.83）で、送信したい電話帳をタップする

2 ⋮ をタップし、［その他］▶［共有］をタップする

3 送信方法を選択する

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

■ 表示している電話帳を送信する

電話帳一覧画面に表示させている電話帳を全件送信します。電話帳の表示条件については、「電話帳の表示条件を変更する」（P.85）をご参照ください。

1 電話帳一覧画面（P.83）で、⋮ をタップし、［その他］▶［インポート／エクスポート］をタップする

2 ［表示可能な電話帳を共有］をタップする

3 送信方法を選択し、［常時］／［今回のみ］をタップする

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

■ マイプロフィールを送信する

1 電話帳一覧画面（P.83）で、「マイプロフィール」タブをタップする

2 ⋮ をタップし、［共有］をタップする

3 送信方法を選択する

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

❖お知らせ

- Bluetooth機能を利用する場合は、あらかじめBluetooth機能をオンに設定するか（P.147）、手順3で［Bluetooth］▶［ONにする］をタップします。
- Eメールを利用する場合は、あらかじめEメールのアカウントを設定する必要があります（P.95）。
- Eメール／Gmailに添付して送信する場合は、アカウントを設定したメール作成画面から送信します。Gmailのアカウントを設定していない場合は、設定ウィザードが表示され、設定後にメールを作成して送信できます。
- 電話帳に設定している名刺データなど、一部の情報は送信できません。

電話帳のエクスポート／インポート

microSDカードやドコモminiUIMカードへ電話帳をエクスポート／インポートすることができます。エクスポートした情報は、別の電話に移行する場合などに役立ちます。

❖お知らせ

- オンラインの同期サービスでも電話帳などを同期することができます。詳細については、「自動同期を設定する」（P.143）をご参照ください。

電話帳をmicroSDカードにエクスポートする

- あらかじめmicroSDカードを本端末に取り付けておきます（P.30）。

1 電話帳一覧画面（P.83）で、⋮をタップし、［その他］▶［インポート／エクスポート］をタップする

2 ［SDカードにエクスポート］をタップする

3 ［1つの連絡先をエクスポート］／［複数の連絡先をエクスポート］／［すべての連絡先をエクスポート］のいずれかをタップし、［OK］をタップする

- ［1つの連絡先をエクスポート］／［複数の連絡先をエクスポート］をタップした場合は、エクスポートしたい連絡先にチェックを入れて［OK］をタップします。

4 名刺添付の［無し］／［有り］を選択する

5 ［OK］をタップする

microSDカードから電話帳をインポートする

- あらかじめmicroSDカードを本端末に取り付けておきます（P.30）。

1 電話帳一覧画面（P.83）で、⋮をタップし、［その他］▶［インポート／エクスポート］をタップする

2 ［SDカードからインポート］をタップする

- Googleアカウントなどを設定している場合は、設定したアカウントをインポート先として選択できます。
- vCardファイルが1件しかない場合は、すぐにインポートが開始されます。

3 ［電話帳を1つインポート］／［複数の電話帳をインポート］／［すべての電話帳をインポート］のいずれかをタップし、［OK］をタップする

- ［電話帳を1つインポート］／［複数の電話帳をインポート］をタップした場合は、インポートしたいvCardファイルにチェックを入れて［OK］をタップします。
- vCardファイルの中に複数の電話帳が入っている場合は、すべて一度にインポートされます。

❖お知らせ

- 電話帳によっては、データの一部がインポートまたはエクスポートされない場合があります。

ドコモminiUIMカードから電話帳をインポートする

- あらかじめドコモminiUIMカードを本端末に取り付けておきます（P.28）。

1 電話帳一覧画面（P.83）で、⋮をタップし、［その他］▶［インポート／エクスポート］をタップする

2 ［SIMカードからインポート］をタップする

- Googleアカウントなどを設定している場合は、設定したアカウントをインポート先として選択できます。

3 インポートする電話帳をタップする

- 電話帳がインポートされます。
- インポートする電話帳をロングタッチし、［インポート］をタップしてもインポートできます。
- すべての電話帳をインポートする場合は、⋮をタップし、［すべてインポート］をタップします。

❖お知らせ

- インポート可能な情報は、名前と電話番号です。
- インポートした際に、同じ名前の電話帳がすでに存在していても、別々の電話帳としてインポートされます。
- 電話帳をドコモminiUIMカードにエクスポートする場合は、Xperia™の「連絡先」アプリをご利用ください。ただし、ドコモminiUIMカードのメモリ容量が限られているため、名前と1つ目の電話番号のみが保存されます。電話帳によっては、データの一部がエクスポートされない場合があります。

spモードメール

ドコモのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。
絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しています。spモードメールの詳細については、『ご利用ガイドブック（spモード編）』をご覧ください。

1 ホーム画面で をタップする

2 画面を上にフリックして［ダウンロード］をタップする

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

❖お知らせ

- 「SDカードバックアップ」を利用すると、spモードメールのデータをmicroSDカードにバックアップできます。バックアップの方法については、「SDカードバックアップ」（P.216）をご参照ください。

メッセージ（SMS）

携帯電話番号を宛先にして、全角最大70文字（半角英数字のみの場合は最大160文字）まで、テキストメッセージを送受信できます。

メッセージ（SMS）を送信する

1 ホーム画面で をタップし、［Google］▶［メッセージ］をタップする

2 （新規作成）をタップする

3 送信相手の電話番号を入力する

- をタップすると連絡先一覧画面が表示され、登録されている連絡先の中から選択できます。画面上部の検索ボックスに名前または電話番号を入力すると、一致する連絡先がリスト表示されます。

4 ［メッセージを作成］をタップして、本文を入力する

- をタップし、［テンプレート選択］をタップすると、「テンプレート設定」（P.94）で登録した定型文を選択して入力できます。
- 入力した文字数が制限文字数に近づくと、入力できる残り文字数がテキストボックスの左上に表示されます。

5 ［送信］をタップする

❖お知らせ

- テキストの入力については、「文字入力」（P.49）をご参照ください。
- 海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。利用可能な国・海外通信事業者について詳しくは、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。
- 宛先が海外通信事業者の場合、「＋」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は先頭の「0」を除いた電話番号を入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。
- 受信した海外からのメッセージ（SMS）に返信する場合は、新規でメッセージ（SMS）を作成する必要があります。手順3で「010」、「国番号」、「受信した相手先携帯電話番号」の順に入力してメッセージ（SMS）を送信します。

メッセージ（SMS）を受信して読む

1 ホーム画面でをタップし、［Google］▶［メッセージ］をタップする

- 送信者ごとにメッセージ（SMS）が表示されます。未読のメッセージ（SMS）がある送信者は太字で表示されます。

2 読みたいメッセージ（SMS）の送信者を選択する

- メッセージ（SMS）本文が表示されます。

❖お知らせ

- メッセージ（SMS）を受信すると、ステータスバーにが表示されます。メッセージ（SMS）本文を読むには、ステータスバーの時刻をタップし、通知されたメッセージ（SMS）の項目をタップします。
- メッセージ（SMS）本文の／をタップするとのスターが付きます。スターを付けたメッセージ（SMS）を一覧で確認するには、ホーム画面でをタップして［Google］▶［メッセージ］をタップし、をタップして［スター付きメッセージ］をタップします。

メッセージ（SMS）の電話番号を電話帳に保存する

1 ホーム画面でをタップし、［Google］▶［メッセージ］をタップする

2 保存する電話番号のをタップし、［保存］をタップする

3 ［新規登録］または、追加登録する電話帳をタップする

- Googleアカウントなどを設定している場合は、［新規登録］をタップすると、設定したアカウントを登録先として選択できます。

4 必要な項目を入力し、[登録完了]をタップする

❖お知らせ

- すでに電話帳に登録されている送信者の場合は、手順2で や写真(画像)部分をタップすると、電話帳の表示などができます。

メッセージ(SMS)の設定を変更する

1 ホーム画面で をタップし、[Google]▶[メッセージ]をタップする

2 をタップし、[設定]をタップする

通知設定	通知	新着メッセージ(SMS)の通知をステータスバーに表示するかどうかを設定します。
	通知ライト	メッセージ(SMS)を受信した場合に通知LEDでお知らせするかどうかを設定します。
	配信確認レポート	送信相手がメッセージ(SMS)を受信するたびに、自分の送ったメッセージ(SMS)にチェックをつけるかどうかを設定します。
通知音		メッセージ(SMS)を受信した場合の通知音を設定します。
テンプレート設定		テキスト作成時に挿入することができる定型文を登録します。
SIMメッセージ		ドコモminiUIMカードに保存したメッセージ(SMS)を管理します。
プッシュ設定		プロバイダから送信されるメッセージ(SMS)を設定します。
SMSセンター番号		SMSセンターの番号を確認します。

メッセージ(SMS)本文を削除する

1 ホーム画面で をタップし、[Google]▶[メッセージ]をタップする

2 削除するメッセージ(SMS)の送受信者を選択する

3 削除するメッセージ(SMS)本文をロングタッチする

4 [メッセージを削除]▶[削除]をタップする

❖お知らせ

- 複数のメッセージ(SMS)本文を選択して削除する場合は、手順3で をタップし、[メッセージを削除]をタップして削除したいメッセージ(SMS)本文にチェックを入れ、 をタップして[削除]をタップします。

- すべてのメッセージ（SMS）本文を削除する場合は、手順3で ⋮ をタップし、［メッセージを削除］をタップして画面上部の［X件を選択済み］▶［すべて選択］をタップし、🗑 をタップして［削除］をタップします。

メッセージ（SMS）を送受信者ごとに削除する

1 ホーム画面で ⠿ をタップし、［Google］▶［メッセージ］をタップする

2 削除する送受信者をロングタッチする

- 削除する送受信者にチェックが入ります。［X件を選択済み］▶［すべて選択］をタップすると、すべての送受信者にチェックが入ります。

3 🗑 をタップし、［削除］をタップする

❖お知らせ

- 手順2で ⋮ をタップし、［複数のメッセージを削除］をタップしても、送受信者を選択して削除したり、すべての送受信者のメッセージ（SMS）を削除することができます。

Eメール

mopera UメールのEメールアカウント、一般のISP（プロバイダ）が提供するPOP3やIMAPに対応したEメールアカウント、Exchange ActiveSyncアカウントなどを設定して、Eメールを送受信できます。
複数のEメールアカウントを設定することもできます。

Eメールの初期設定をする

Eメールアカウントを画面の指示に従って設定します。
mopera Uメールの設定方法については「mopera Uメールを利用する」（P.101）をご参照ください。

1 ホーム画面で ⠿ をタップし、［Google］▶［Eメール］をタップする

2 Eメールアドレスとパスワードを入力する

3 ［次へ］をタップする

- Eメールを手動で設定する場合は、［手動セットアップ］をタップし、画面の指示に従って設定してください。

4　受信トレイを確認する頻度を設定し、必要な項目にチェックを入れて、［次へ］をタップする

- アカウントのタイプを選択する画面が表示された場合は、設定するEメールアカウントの種類をタップし、画面の指示に従って設定してください。

5　アカウントの名前と送信Eメールに表示される名前を入力し、［次へ］をタップする

- 設定したEメールアカウントの受信トレイが表示されます。
- Exchange ActiveSyncアカウントを設定する場合、Eメールに表示される名前を設定することはできません。Eメールの初期設定が終わった後、Eメールアカウントの設定の「名前」（P.99）から設定してください。

❖お知らせ

- 設定を手動で入力する必要がある場合は、Eメールサービスプロバイダまたはシステム管理者に、正しいEメールアカウント設定を問い合わせてください。
- EメールアカウントにExchange ActiveSyncアカウントを設定した場合、サーバー管理者がリモートワイプを設定していると、本端末内のデータが消去される場合があります。

Eメールを作成して送信する

1　ホーム画面で をタップし、［Google］▶［Eメール］をタップする

2　（作成）をタップする

3　送信相手のEメールアドレスを入力する

- をタップすると連絡先一覧画面が表示され、登録されている連絡先の中から選択できます。画面上部の検索ボックスに名前またはEメールアドレスを入力すると、一致する連絡先がリスト表示されます。
- 複数のEメールアドレスを文字で直接入力する場合は、カンマ（,）で区切って次のEメールアドレスを入力します。
- CcまたはBccを追加する場合は、 をタップします。

4　件名や本文を入力する

5　［送信］をタップする

❖お知らせ

- ファイルを添付する場合は、Eメール作成中に をタップし、次の操作でファイルを添付します。

画像を追加	保存した画像ファイルの一覧から選択して添付します。
写真を撮影	カメラを起動して撮影した写真を添付します。
動画を追加	保存した動画ファイルの一覧から選択して添付します。
動画を録画	カメラを起動して撮影した動画を添付します。
サウンドを追加	WALKMAN：保存した音楽ファイルの一覧から選択して添付します。 **音声レコーダー**：音声メッセージを録音して添付します。
ファイルを追加	保存したファイルの一覧から選択して添付します。

- Eメール作成中に をタップし［下書き保存］をタップすると、作成中のメールを下書き保存できます。また、Eメール作成中に他の画面を表示すると、自動的に下書き保存します（宛先や件名、本文が未入力で添付もしていない状態のEメールを下書き保存する場合は をタップします）。
- Eメールの送受信には、画面に表示される文字や画像以外に通信が必要なデータが含まれており、その部分も課金の対象となります。
- Eメールは、パソコンからのメールとして扱われます。受信する端末でパソコンからのEメール受信を拒否する設定を行っていると、Eメールを受信できません。

Eメールを受信して読む

1 ホーム画面で をタップし、［Google］▶［Eメール］をタップする

- 複数のEメールアカウントを設定している場合は、画面上部のEメールアドレスをタップして、受信するEメールアカウントを選択します。

2 受信トレイで をタップする

3 読みたいEメールをタップする

- Eメール本文が表示されます。

❖お知らせ

- 受信したEメールの送信者名は、送信側で設定している名前が表示されます。
- Eメールアカウントの設定（P.99）で「Eメール受信通知」を設定し、「Eメールの受信確認頻度」を「手動」以外に設定している場合、新しいEメールの受信をお知らせする がステータスバーに表示されます。ステータスバーの時刻をタップすると、受信したEメールを確認できます。
- Eメールアカウントの設定（P.99）で「Eメールの受信確認頻度」を「手動」以外に設定すると、従量制データ通信をご利用の場合は、新着Eメールを確認するたびに課金が発生する場合があります。
- 受信したEメールのアドレスをタップすると、電話帳に登録することができます。すでに電話帳やGoogle トークに登録されているアドレスの場合は、電話帳の表示やアプリケーションを選択してメールの作成などを行うことができます。

- 受信トレイで、☆をタップすると★のスターが付き、Eメールが「スター付き」フォルダに追加されます。スターを付けたEメールを一覧で確認するには、［スター付き］をタップします。
- 複数のEメールにスターを付けるには、受信トレイでスターを付けたいEメールにチェックを入れて、画面右上の★をタップします。
- Eメール本文の画面でEメールにスターを付けるには、⋮をタップし、［スターを付ける］をタップします。

Eメールメッセージの添付ファイルを保存する

1 **ホーム画面で⠿をタップし、［Google］▶［Eメール］をタップする**

2 **添付ファイル付きのEメールをタップし、📎をタップする**

- 添付ファイルの一覧が表示されます。添付ファイルがダウンロードされていない場合は、［読込］をタップします。

3 **保存したいファイルの［保存］をタップする**

- ［表示］や［再生］をタップすると、添付ファイルを表示したり、再生することができます。

❖お知らせ

- 添付ファイルは内部ストレージに保存されます。

Eメールを返信／転送する

1 **ホーム画面で⠿をタップし、［Google］▶［Eメール］をタップする**

2 **返信または転送するEメールをタップする**

3 **［返信］／［全員に返信］／［転送］のいずれかをタップする**

- ［転送］をタップした場合は、転送先のEメールアドレスを入力します。

4 **本文を入力する**

5 **［送信］をタップする**

❖お知らせ

- Eメールを返信または転送すると、返信または転送元のEメールの内容が引用されます。元のEメールの内容の引用を削除するには、「引用あり」のチェックを外します。
- Eメールを転送すると、元のEメールの添付ファイルが引用されます。添付ファイルの引用を削除するには、✕をタップします。

Eメールを削除する

1 **ホーム画面で をタップし、［Google］▶［Eメール］をタップする**

2 **削除するEメールをタップする**

3 **をタップし、［削除］をタップする**

❖お知らせ

- 複数のEメールを選択して削除する場合は、受信トレイで削除したいEメールにチェックを入れて をタップし、［削除］をタップします。1件以上のEメールにチェックを入れて［X件を選択済み］▶［すべて選択］をタップすると、すべてのEメールにチェックが入ります。

Eメールアカウントの設定を変更する

1 **ホーム画面で をタップし、［Google］▶［Eメール］をタップする**

2 **をタップし、［設定］をタップする**

3 **設定を変更するEメールアカウントをタップする**

アカウント名	アカウント名を変更します。
名前	あなたの名前（差出人名）を変更します。
署名	署名を変更します。
クイック返信	Eメール作成時に挿入することができる定型文を登録します。
優先アカウント	Eメールアカウントが複数設定されている場合、Eメールを作成するときの優先アカウントにするかどうかを設定します。
Eメールの受信確認頻度	新着Eメールの自動確認の有無や自動確認の間隔を設定します。
自動ダウンロード※	Wi-Fi接続時に添付ファイルを自動的にダウンロードするかどうかを設定します。
Eメール受信通知	新着Eメールの通知をステータスバーに表示するかどうかを設定します。
通知音	Eメールを受信した場合の通知音を設定します。
通知ライト	Eメールを受信した場合に通知LEDでお知らせするかどうかを設定します。
受信サーバー設定	受信メールサーバーを設定します。
送信サーバー設定	送信メールサーバーを設定します。
アカウントの削除	Eメールアカウントを削除します。

※ Gmailのメールアカウント（@gmail.com）を設定した場合に表示されます。

❖**お知らせ**
- 設定できる項目は、アカウントの種類により異なります。
- Exchange ActiveSyncアカウントでは、「外出中の自動返信設定」「同期するEメールの期間」「連絡先を同期」「カレンダーを同期」も設定できます。また、「送信サーバー設定」は設定不要です。
- 「Eメールの受信確認頻度」を「手動」以外に設定すると、従量制データ通信をご利用の場合は、新着Eメールを確認するたびに課金が発生する場合があります。
- 手順3で［全般］をタップすると、「Eメール」アプリ全体の設定を変更できます。

別のEメールアカウントを設定する

1 ホーム画面で をタップし、［Google］▶［Eメール］をタップする

2 ⋮ をタップし、［設定］▶［アカウントを追加］をタップする

3 Eメールアドレスとパスワードを入力する
- 必要に応じて、「いつもこのアカウントでEメールを送信」にチェックを入れます。

4 ［次へ］をタップする
- Eメールを手動で設定する場合は、［手動セットアップ］をタップし、画面の指示に従って設定してください。

5 受信トレイを確認する頻度を設定し、必要な項目にチェックを入れて、［次へ］をタップする
- アカウントのタイプを選択する画面が表示された場合は、設定するEメールアカウントの種類をタップし、画面の指示に従って設定してください。

6 アカウントの名前と送信Eメールに表示される名前を入力し、［次へ］をタップする
- 設定したEメールアカウントの受信トレイが表示されます。
- Exchange ActiveSyncアカウントを設定する場合、Eメールに表示される名前を設定することはできません。Eメールの初期設定が終わった後、Eメールアカウントの設定の「名前」（P.99）から設定してください。

❖**お知らせ**
- 設定を手動で入力する必要がある場合は、Eメールサービスプロバイダまたはシステム管理者に、正しいEメールアカウント設定を問い合わせてください。
- EメールアカウントにExchange ActiveSyncアカウントを設定した場合、サーバー管理者がリモートワイプを設定していると、本端末内のデータが消去される場合があります。
- 画面上部のEメールアドレスをタップすると、設定したアカウントの一覧が表示されます。［全アカウント］をタップすると、すべてのアカウントの受信トレイが統合して表示されます。

Eメールアカウントを削除する

1 ホーム画面で をタップし、［Google］▶［Eメール］をタップする

2 をタップし、［設定］をタップする

3 削除するアカウントをタップする

4 ［アカウントの削除］▶［OK］をタップする

mopera Uメールを利用する

mopera Uをご利用いただいているお客様は、mopera Uメールのご利用が可能です。mopera Uの設定方法については「mopera Uを設定する」（P.122）をご参照ください。

mopera Uメールのメールボックス容量は50MBです。POPメール、IMAPメール両方に対応しています。ウェブメールでもご利用が可能です。

■ POPメールの場合

1 ホーム画面で をタップし、［Google］▶［Eメール］をタップする

- すでにEメールアカウントを設定している場合は、 をタップし、［設定］▶［アカウントを追加］をタップします。

2 mopera Uメールアドレスとmopera Uのパスワードを入力し、［手動セットアップ］／［次へ］をタップする

- ［次へ］をタップした場合は、自動的にPOP3アカウントとなるので、手順4へ進みます。

3 メールアカウントのタイプから［POP3］をタップする

4 mopera Uの「ユーザー名」、「パスワード」を正しく入力し、POP3サーバーには「mail.mopera.net」を入力して、入力内容を確認する

- 手順2で［次へ］をタップした場合は、POP3サーバー欄に「mail.mopera.net」が入力されています。

5 セキュリティの種類を選択する

- セキュリティを設定しない場合は、「設定しない」を選択します。

6 **入力内容を確認して、[次へ]をタップする**

7 **SMTPサーバーには「mail.mopera.net」を入力し、mopera Uの「ユーザー名」、「パスワード」の入力内容を確認する**

- 手順2で[次へ]をタップした場合、mopera Uの「ユーザー名」「パスワード」の入力内容を確認するには、「ログインが必要」にチェックを入れておく必要があります。
- 手順2で[次へ]をタップした場合は、SMTPサーバー欄に「mail.mopera.net」が入力されています。また、ポート欄は「587」に設定してください。

8 **[次へ]をタップする**

9 **アカウントの設定画面で、受信トレイを確認する頻度などを設定し、[次へ]をタップする**

10 **アカウント設定画面で、送信メールに表示される名前を入力し、[次へ]をタップする**

- メーラーが表示され、設定したメールが利用可能になります。

❖お知らせ

- SMTPサーバーの設定画面で「ログインが必要」にチェックを入れていない場合は、メールを送信することができないため、「ログインが必要」にチェックを入れておく必要があります。

Gmail

Googleアカウントを設定すると、Gmailを使用してEメールを送受信できます。

- Googleアカウントを設定していない場合は、初期設定画面の指示に従って設定します。詳細については、「Googleアカウントを設定する」(P.140)をご参照ください。
- Googleアカウントを設定した後、Gmailを同期していない場合は、「アカウントは未同期」画面が表示されます。画面の指示に従って設定してください。

❖お知らせ

- Gmailについて詳しくは、Gmailの画面で ⋮ をタップし、[ヘルプ]をタップしてGmailのヘルプをご参照ください。

Gmailを送信する

1 ホーム画面で をタップし、［Google］▶［Gmail］をタップする

2 （作成）をタップする

3 送信相手のEメールアドレスを入力する

- Eメールアドレス入力欄に名前またはEメールアドレスを入力すると、電話帳に一致する連絡先がリスト表示されます。
- CcまたはBccを追加する場合は、［CC/BCCを追加］をタップします。

4 件名や本文を入力する

5 ［送信］をタップする

❖お知らせ

- 画像を添付する場合は、 をタップし添付する画像を選択します。
- 動画を添付する場合は、 をタップし、［動画を添付］をタップして添付する動画を選択します。

Gmailを更新する

1 ホーム画面で をタップし、［Google］▶［Gmail］をタップする

2 受信トレイで をタップする

- 本端末の「Gmail」アプリとGmailアカウントを同期させ、受信トレイを更新します。

Google トーク（チャット）

Google トークを使用してチャットをすることができます。Google トークを使用するには、Googleアカウントを設定する必要があります。詳細については、「Googleアカウントを設定する」（P.140）をご参照ください。

Google トークにログインする

すでにGoogleアカウントを設定している場合は、ログインなしでご利用になれます。

1 **ホーム画面で をタップし、[Google] ▶ [トーク] をタップする**

2 **[既存のアカウント] をタップし、ユーザー名とパスワードを入力する**

3 **をタップする**

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

❖**お知らせ**

- Google トークについて詳しくは、Google トークの画面で をタップし、[ヘルプ] をタップしてご参照ください。

緊急速報「エリアメール」

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができるサービスです。

- エリアメールはお申し込みが不要の無料サービスです。
- 次の場合はエリアメールを受信できません。
  - 圏外時
  - 電源オフ時
  - 国際ローミング中
  - 機内モード中
  - ソフトウェア更新中
  - 他社のSIMカードをご利用時
  - メッセージ（SMS）送受信中
- テザリング設定中およびパケット通信を利用している場合は、エリアメールを受信できないことがあります。
- 受信できなかったエリアメールを再度受信することはできません。

緊急速報「エリアメール」を受信する

内容通知画面が表示され、ブザー音または専用着信音でお知らせします。

1 エリアメールを自動的に受信する

2 エリアメールを受信すると、専用の着信音が鳴り通知LEDが点滅する

- 着信音および着信音量は変更することはできません。
- 通知LEDは画面のバックライト消灯中にのみ点滅します。

3 エリアメールの本文が自動で表示される

受信したエリアメールを後で閲覧する

1 ホーム画面で をタップし、［基本機能／設定］▶［災害用キット］をタップする

- 初めて使用するときは、「ご利用にあたって」画面が表示されます。［同意して利用する］をタップすると、利用を開始できます。

2 ［緊急速報「エリアメール」］をタップする

3 エリアメール一覧から、任意のエリアメールを選択する

- エリアメールの本文を閲覧することができます。

緊急速報「エリアメール」を設定する

1 ホーム画面で をタップし、［基本機能／設定］▶［災害用キット］をタップする

2 ［緊急速報「エリアメール」］をタップする

3 をタップし、［設定］をタップする

受信設定	エリアメールを受信するかどうかを設定します。
着信音	エリアメール受信時の鳴動時間と、マナーモード中でも専用の着信音を鳴らすかどうかを設定します。
受信画面および着信音確認	緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報の受信画面と着信音を確認できます。
その他の設定	緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報以外で利用するエリアメールの受信登録／削除の設定をします。

❖お知らせ

- ドコモminiUIMカードを挿入していないとエリアメールを設定することはできません。

ウェブブラウザ

ウェブブラウザを利用して、パソコンと同じようにウェブページを閲覧できます。
本端末では、パケット通信またはWi-Fiによる接続でウェブブラウザを利用できます。

ブラウザを開く

1 ホーム画面で をタップする

- ブラウザ画面が表示されます。

❖お知らせ

- ホーム画面で をタップし、［Google］▶［Chrome］をタップしてもインターネットに接続してウェブページを閲覧することができます。

ウェブページを表示する

ウェブページを移動する

1 ブラウザ画面で画面上部のウェブページのアドレス入力欄または をタップする

- ウェブページのアドレス入力欄が表示されていない場合は、画面を下にフリックすると表示されます。

2 ウェブページのアドレスまたは検索する語句を入力する

- アドレスや文字の入力に従って、一致するウェブページの候補が表示されます。

3 表示された候補の一覧またはソフトウェアキーボードの［確定］▶［実行］をタップする

- ウェブページに移動します。

❖お知らせ

- 手順2でアドレス入力欄の をタップすると、検索する語句を音声で入力してウェブページを検索できます。

前のページに戻る

1 ／ をタップする

新しいタブを追加する

複数のタブを開き、ウェブページの閲覧ができます。

1 ブラウザ画面でタブの をタップする

- 新しいタブが開き、設定されているホームページを表示します。

シークレットタブを開く

ブラウザの履歴や検索履歴を残さずに、ウェブページの閲覧ができます。

1 ブラウザ画面で ⋮ をタップし、[新しいシークレットタブ]をタップする

- 新しいタブが開き、シークレットモードの説明が表示されます。

2 ウェブページを表示する

- ウェブページを表示する方法については「ウェブページを移動する」（P.106）をご参照ください。

❖お知らせ

- シークレットタブには が表示されます。
- シークレットタブで開いたウェブページは履歴に残りません。タブを閉じるとCookieなどの記録も消去されます。ダウンロードしたファイルやブックマークしたウェブページはシークレットタブでも保存されます。

タブを切り替える

1 ブラウザ画面で表示したいタブをタップする

- 表示したいタブがブラウザ画面に表示されていない場合は、タブを左右にフリックします。

タブを閉じる

1 ブラウザ画面で閉じるタブをタップする

- 閉じるタブがブラウザ画面に表示されていない場合は、タブを左右にフリックします。

2 タブの × をタップする

ウェブページを拡大／縮小する

1 ブラウザ画面をピンチアウト／インする

❖お知らせ

- ブラウザ画面をダブルタップしても拡大／縮小できます。
- 画面にフィットするように作られたウェブページは拡大／縮小できません。

ウェブページでテキストを検索する

1 ブラウザ画面で ⁝ をタップし、[ページ内を検索] をタップする

- 画面上部に検索バーが表示されます。

2 検索する語句を入力する

- 文字を入力すると、一致する文字が強調して表示されます。
- ︿／﹀をタップすると、前後の一致項目に移動します。

❖お知らせ

- 検索バーを閉じるには、[完了] をタップします。

ウェブページでテキストをコピーする

1 ブラウザ画面でコピーしたいテキストをロングタッチする

2 または をドラッグしてコピーするテキストの範囲を選択する

- 選択されたテキストは青色でハイライト表示されます。

3 [コピー] をタップする

- 「テキストをクリップボードにコピーしました。」と表示されます。

4 貼り付け先の入力欄をロングタッチし、[貼り付け] をタップする

❖お知らせ

- ウェブページでは、文字を選択できない場合があります。

ブラウザの設定を変更する

ホームページの設定、プライバシーとセキュリティ、ページの表示などの設定を行うことができます。

1 ブラウザ画面で ⁝ をタップし、[設定] をタップする

2 変更する項目を選択する

ホームページを設定する

新しいタブを開いたときに表示されるホームページを設定できます。

1 ブラウザ画面で ⁝ をタップし、[設定] ▶ [全般] をタップする

2 [ホームページを設定] をタップし、ホームページに設定したい項目を選択する

リンクを操作する

1 リンクを操作するウェブページを開く

2 リンクをタップする

- リンクがハイライト表示され、リンク先のウェブページに移動します。

❖**お知らせ**

- リンクや画像を含むリンク、画像をロングタッチすると「開く」「新しいタブで開く」「リンクを保存」「URLをコピー」「テキストを選択してコピー」「画像を保存」「画像を表示」「壁紙として設定」「リンクを共有」が表示されます。
- Basic認証またはSSL通信を必要とするウェブサイトから「リンクを保存」でファイルをダウンロードする際、ダウンロードできない場合があります。

ブックマークと履歴を管理する

履歴の確認やブックマークの保存などができます。

ウェブページをブックマークする

1 ブラウザ画面でブックマークするウェブページを表示する

2 ☆をタップする

- ☆が表示されていない場合は、画面を下にフリックすると表示されます。

3 ラベルなどの項目を設定し、［OK］をタップする

- 次の設定ができます。

ラベル	ブックマークに表示する名前を設定します。
アドレス	ブックマークに保存するURLを設定します。
アカウント	Googleアカウントなどを設定して、ブラウザを同期している場合は、ブックマークの保存先として選択できます。
追加先	ホーム画面にブックマークのショートカットを追加したり、フォルダを作成したりすることができます。

ブックマークを開く

1 ブラウザ画面で★をタップする

- ★が表示されていない場合は、画面を下にフリックすると表示されます。

2 開くブックマークをタップする

❖**お知らせ**

- ブックマークをロングタッチすると、ブックマークの編集や削除などができます。

履歴を確認する

1 ブラウザ画面で をタップし、「履歴」タブをタップする

- が表示されていない場合は、画面を下にフリックすると表示されます。

2 [今日]、[昨日] など閲覧した時期をタップする

- よく閲覧するウェブページを確認するには、[よく見るサイト] をタップします。
- 履歴をタップすると、ウェブページを開きます。

❖お知らせ

- ブラウザ画面で をロングタッチしても、履歴を確認することができます。

履歴を削除する

1 ブラウザ画面で をタップし、「履歴」タブをタップする

- が表示されていない場合は、画面を下にフリックすると表示されます。

2 閲覧した時期をタップして削除する履歴をロングタッチし、[履歴から削除] をタップする

❖お知らせ

- 履歴をすべて削除するには、手順2で をタップして [OK] をタップします。
- キャッシュなどの一時インターネットファイルを削除するには、ブラウザ画面で をタップし、[設定] ▶ [プライバシーとセキュリティ] をタップして、各項目を設定してください。

設定メニューを表示する

1 **ホーム画面で をタップし、［基本機能／設定］▶［設定］をタップする**

■ 設定メニュー

無線とネットワーク	P.111
端末	P.123
ユーザー設定	P.132
アカウント	P.140
システム	P.144

❖お知らせ

- ホーム画面で をタップし、 をタップして、［本体設定］をタップしても設定メニューを表示できます。
- ステータスバーの時刻をタップし、 をタップして、［設定］をタップしても設定メニューを表示できます。

無線とネットワーク

Wi-Fi、Bluetooth機能など、各種ネットワークに関する設定をします。

Wi-Fi		P.111
Bluetooth		P.116、P.147
データ使用		P.116
その他の設定	機内モード	P.117
	VPN	P.118
	テザリング	P.119
	メディアサーバー設定	P.155
	NFC	P.160
	Androidビーム	P.159
	モバイルネットワーク	P.121、P.221

Wi-Fi

Wi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

- Wi-Fiがオンのときでもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fiネットワーク接続中は、Wi-Fiが優先されます。

- Wi-Fiネットワークが切断された場合には、自動的にLTE/WCDMA/GSMネットワークモードでの接続に切り替わります。切り替わったままご利用される場合は、パケット通信料が発生する場合がございますのでご注意ください。
- Wi-Fi機能を使用しないときは、オフにすることで電池の消費を抑制できます。
- Wi-Fi Direct機能（P.115）を利用中、またはスクリーンミラーリング（P.130）中にWi-Fi接続を開始した場合は、Wi-Fi Direct機能／スクリーンミラーリングは終了します。

Wi-Fiを使用する前に

Wi-Fi機能を使用するには、Wi-Fiをオンにしてから利用可能なWi-Fiネットワークを検索して接続します。

- Wi-Fi機能を使用してインターネットへ接続する場合、事前にWi-Fiネットワークへの接続を行ってください。

❖お知らせ

- Wi-Fi機能を使用するときには十分な電波強度が得られるようご注意ください。Wi-Fiネットワークの電波強度は、お使いの本端末の位置によって異なります。Wi-Fiルーターの近くに移動すれば、電波強度が改善されることがあります。

■ Bluetooth機器との電波干渉について

Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g/n）は同一周波数（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。また、ストリーミングデータ再生時などで通信が途切れたり音声が乱れることがあります。この場合、次の対策を行ってください。

- 本端末やワイヤレス接続するBluetooth機器は、無線LANと10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、ワイヤレス接続するBluetooth機器の電源を切ってください。

Wi-Fiをオンにする

1 設定メニュー画面で（P.111）、Wi-Fiの をタップまたは右にドラッグする

❖お知らせ

- Wi-Fi接続がオンになるまで、数秒かかる場合があります。

Wi-Fiネットワークに接続する

1 設定メニュー画面で（P.111）、［Wi-Fi］をタップする

- 利用可能なオープンネットワーク、またはセキュリティで保護されたWi-Fiネットワークが表示されます。

2 接続したいWi-Fiネットワークを選択する

- セキュリティで保護されたWi-Fiネットワークに接続する場合は、Wi-Fiネットワークのパスワードを入力して［接続］をタップします。
- WPS対応機器でWi-Fiネットワークに接続する場合は、をタップするか、をタップし、［WPS PIN入力］をタップします。画面の指示に従って操作してください。

❖お知らせ

- 次回接続時は、本体にパスワードが記録されています。
- アクセスポイントを選択して接続するときに誤ったパスワード（セキュリティキー）を入力した場合、下記のいずれかが表示されます。
  - 保存済み、WEPで保護
  - 保存済み、WPA/WPA2で保護
  - 保存済み、802.1xで保護
  - インターネット接続不良により無効※
  - 認証に問題
  - 接続が制限されています

  ※［接続］をタップしてからメッセージが表示されるまでに5分以上かかる場合があります。

  パスワード（セキュリティキー）をご確認ください。
  なお、正しいパスワード（セキュリティキー）を入力しても上記いずれかのメッセージが表示される場合は、正しいIPアドレスを取得できていないことがあります。電波状況をご確認の上、接続し直してください。
- ドコモサービスをWi-Fi経由で利用する場合は「Wi-Fiオプションパスワード」の設定が必要です。設定メニュー画面で（P.111）、［ドコモサービス］▶［ドコモアプリWi-Fi利用設定］▶［Wi-Fiオプションパスワード］をタップして設定します。

■ ステータスバーに表示されるWi-Fiネットワーク状態表示アイコン

Wi-Fiネットワークの接続状態によって、ステータスバーに次のアイコンが表示されます。

	Wi-Fiネットワークに接続すると表示されます。
	Wi-Fiネットワークで通信すると表示されます。
	Auto IP機能を使ってWi-Fiネットワークに接続すると表示されます。
	オープンネットワークを検出すると表示されます。※

※Wi-Fiネットワークに接続していない状態で、あらかじめWi-Fiネットワークの通知をオンにしておく必要があります（P.114）。

Wi-Fiネットワークから切断する

1 **設定メニュー画面で（P.111）、[Wi-Fi] をタップする**

2 **現在接続中のWi-Fiネットワークをタップする**

3 **[切断] をタップする**

Wi-Fiネットワークのステータス

Wi-Fiネットワークに接続している場合、または近くにWi-Fiネットワークが存在する場合、これらのWi-Fiネットワークのステータスを表示できます。また、セキュリティで保護されていないWi-Fiネットワークを検出した場合は、通知するように設定することもできます。

- 設定によっては、あらかじめWi-Fi設定をオンにしておく必要があります（P.112）。

Wi-Fiオープンネットワークの通知をオンにする

1 **設定メニュー画面で（P.111）、[Wi-Fi] をタップする**

2 **⋮ をタップし、[詳細設定] をタップする**

3 **「ネットワークの通知」にチェックを入れる**

Wi-Fiネットワークを手動でスキャンする

1 **設定メニュー画面で（P.111）、[Wi-Fi] をタップする**

2 **⋮ をタップし、[スキャン] をタップする**
   - Wi-Fiネットワークのスキャンが開始されます。

3 **一覧にあるWi-Fiネットワークをタップし、ネットワークに接続する**

Wi-Fiネットワークを手動で追加する

1 **設定メニュー画面で（P.111）、[Wi-Fi] をタップする**

2 **＋ をタップし、追加するWi-Fiネットワークのネットワーク SSIDを入力する**

3 **「セキュリティ」の設定項目をタップし、追加するWi-Fiネットワークのセキュリティタイプをタップする**
   - 「なし」「WEP」「WPA/WPA2 PSK」「802.1x EAP」の4種類が表示されます。

4 **必要に応じて、追加するWi-Fiネットワークのセキュリティ情報を入力する**

5 **[保存] をタップする**

接続中のWi-Fiネットワーク情報を確認する

1 設定メニュー画面で（P.111）、[Wi-Fi]をタップする

2 現在接続中のWi-Fiネットワークをタップする

- ネットワーク情報の詳細が表示されます。

❖**お知らせ**

- 手順1で をタップし、[詳細設定]をタップすると、Auto IP機能のオン／オフを切り替えたり、「MACアドレス」および「IPアドレス」を確認できます。また、「接続不良のとき無効にする」にチェックを入れると、Wi-Fiの電波が弱い場合には、LTE/WCDMA/GSMネットワークモードを使用するように設定することもできます。

Wi-Fiのスリープ設定を変更する

画面のバックライトが消灯したときに本体のWi-Fi機能がオフになるように設定できます。また、Wi-Fi機能を常にオンにするか、あるいは充電時には常にオンにするように設定することもできます。

1 設定メニュー画面で（P.111）、[Wi-Fi]をタップする

2 をタップし、[詳細設定]をタップする

3 [スリープ時のWi-Fi接続]をタップする

4 [使用する]／[充電時にのみ使用する]／[使用しない（モバイルデータ使用量増加）]のいずれかをタップする

❖**お知らせ**

- Wi-Fiネットワークが切断された場合は、自動的にLTE/WCDMA/GSMネットワークモードでの接続に切り替わります。

Wi-Fi Direct対応機器を利用する

アクセスポイントを設定しなくても、Wi-Fi Direct機能に対応したデバイス間で直接Wi-Fi接続ができます。

1 設定メニュー画面で（P.111）、[Wi-Fi]をタップする

2 をタップし、[Wi-Fi Direct]をタップする

- 検出されたWi-Fi Direct対応機器名が一覧表示されます。

3 接続するWi-Fi Direct対応機器名を選択する

- 注意文が表示された場合は、[OK]をタップします。
- [機器の検索]をタップすると、検出一覧を更新できます。
- 検出されたWi-Fi Direct対応機器側で表示される本端末の名前を変更するには、[機器名を変更]をタップします。

❖お知らせ

- Wi-Fi Direct機能を利用するには、Wi-Fi Direct機能に対応したアプリケーションが必要です。対応するアプリケーションをインストールすることで利用可能となります。
- Wi-Fi接続中にWi-Fi Directの接続を開始した場合は、Wi-Fi接続が切断され、パケット通信（LTE/WCDMA/GSM）に切り替わります。

Bluetooth

Bluetooth機能を利用して、Bluetoothデバイスにワイヤレス接続できます。Bluetooth通信について詳しくは、「Bluetooth機能を利用する」（P.147）をご参照ください。

データ使用

モバイルデータ通信を有効／無効に設定したり、データ使用量の上限を設定できます。

❖お知らせ

- アプリケーションごとの通信量を確認することができ、アプリケーションによっては設定を表示できる場合もあります。

モバイルデータ通信を有効にする

1 設定メニュー画面で（P.111）、［データ使用］をタップする

2 モバイルデータ通信の をタップまたは右にドラッグする

3 注意文を読んで［はい］をタップする

データ使用量の上限を設定する

1 設定メニュー画面で（P.111）、［データ使用］をタップする

2 ［モバイルデータの制限を設定］をタップし、注意文を読んで［OK］をタップする

- 「モバイルデータの制限を設定」にチェックが入ります。

❖お知らせ

- データ使用量が指定の上限に達した場合は、データ通信が無効となります。ご注意ください。
- データ使用量の上限の設定値と、警告用の設定値は、グラフ内のそれぞれのバーの右端を上下にドラッグして変更します。

データの測定期間を設定する

1 設定メニュー画面で（P.111）、［データ使用］をタップする

2 「データ使用周期」の設定項目をタップし、設定されている期間／［データ使用周期を変更］をタップする

- ［データ使用周期を変更］をタップした場合は、毎月のリセット日を選択して［設定］をタップします。

データローミングを許可する

1 設定メニュー画面で（P.111）、［データ使用］をタップする

2 ⋮をタップし、［データローミング］をタップして、注意文を読んで［OK］をタップする

- 「データローミング」にチェックが入ります。

バックグラウンドデータを制限する

1 設定メニュー画面で（P.111）、［データ使用］をタップする

2 ⋮をタップし、［バックグラウンドデータ制限］をタップして、注意文を読んで［OK］をタップする

- 「バックグラウンドデータ制限」にチェックが入ります。

❖**お知らせ**

- 特定のWi-Fiネットワークの利用を制限する場合は、手順2で⋮をタップし、［モバイルアクセスポイント］をタップして、制限したいWi-Fiネットワークにチェックを入れます。

Wi-Fiの使用状況を表示する

1 設定メニュー画面で（P.111）、［データ使用］をタップする

2 ⋮をタップし、「Wi-Fiの使用状況を表示」にチェックを入れる

- 「Wi-Fi」タブが表示され、タップするとWi-Fiの使用状況を確認できます。

機内モード

インターネット接続（メールの送受信含む）など、電波を発する機能をすべて無効にします。メールの着信などを気にしないで本端末を操作したいときに便利です。

機内モードをオンにする

1 設定メニュー画面で（P.111）、［その他の設定］をタップする

2 「機内モード」にチェックを入れる

- 機内モードが設定されると、ステータスバーに✈が表示されます。
- 「機内モード」のチェックを外すと、機内モードはオフになります。

❖**お知らせ**

- ⓞを1秒以上押して、ポップアップ画面の［機内モード］をタップしても、機内モードのオン／オフを設定できます。
- ステータスバーの時刻をタップし、✕をタップして、機内モードの◎をタップまたは右にドラッグしても、機内モードのオン／オフを設定できます。

- 機内モードがオンの場合でもWi-FiやBluetooth機能、NFC機能をオンにすることができます。航空機内や病院など電波の使用を禁止された区域ではWi-Fi、Bluetooth機能、NFC機能を使用しないよう注意してください。

VPN（仮想プライベートネットワーク）に接続する

仮想プライベートネットワーク（VPN：Virtual Private Network）は、保護されたローカルネットワーク内の情報に、別のネットワークから接続する技術です。VPNは一般に、企業や学校、その他の施設に備えられており、ユーザーは構内にいなくてもローカルネットワーク内の情報にアクセスできます。本端末からVPNアクセスを設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を得る必要があります。詳しくは、次のホームページをご覧ください。
http://www.sonymobile.co.jp/support/

❖**お知らせ**
- ISPをspモードに設定している場合は、PPTPはご利用いただけません。

VPNを追加する

1 設定メニュー画面で（P.111）、［その他の設定］▶［VPN］をタップする

- 注意文が表示された場合は、画面の指示に従って画面ロックの解除方法を設定してください。詳しくは「画面ロックの解除方法を設定する」（P.136）をご参照ください。

2 ［VPNプロフィールの追加］をタップする

3 編集画面が表示されたら、ネットワーク管理者の指示に従い、VPN設定の各項目を入力／設定する

4 ［保存］をタップする

❖**お知らせ**
- 追加したVPNは編集／削除できます。
  編集するには、変更したいVPNをロングタッチし、［プロフィールを編集］をタップします。必要に応じてVPNの設定を変更し、［保存］をタップします。削除するには、削除したいVPNをロングタッチし、［プロフィールを削除］をタップします。

VPNに接続する

1 設定メニュー画面で（P.111）、［その他の設定］▶［VPN］をタップする

2 接続するVPNをタップする

3 必要な認証情報を入力し、［接続］をタップする

- VPNに接続すると、接続中を示す🔑がステータスバーに表示されます。

VPNを切断する

1 ステータスバーの時刻をタップする

2 VPN接続中を示す通知をタップする

3 ［切断］をタップする

テザリング機能を利用する

テザリングとは、スマートフォンなどのモバイル機器をモデムとして使い、USB対応機器や、無線LAN対応機器をインターネットに接続させることです。

❖お知らせ

- ご利用の料金プランにより、テザリング利用時のパケット通信料が異なります。パケット定額サービスへのご加入を強くおすすめします。
- ご利用時の料金など詳しくは、次のホームページをご覧ください。
http://www.nttdocomo.co.jp/
- ドコモminiUIMカード未挿入時やモバイルデータ通信を無効にしている場合、または圏外の場合、USBテザリングやWi-Fiテザリングは利用できません。

USBテザリングを設定する

本端末をmicroUSB接続ケーブル 01（別売品）などでUSB対応のパソコンと接続し、モデムとして利用することで、パソコンをインターネットに接続することができます。

1 設定メニュー画面で（P.111）、［その他の設定］▶［テザリング］をタップする

2 本端末をmicroUSB接続ケーブルでパソコンに接続する（P.151）

- 初めてmicroUSB接続ケーブルを接続したときは、パソコンに本端末のドライバソフトがインストールされます。インストール完了までしばらくお待ちください。
- 本端末上に「PC Companionソフトウェア」画面が表示されたら、［スキップ］をタップしてください。

3 ［USBテザリング］をタップする

4 「注意事項の詳細」の内容を確認し、［OK］をタップする

- 「USBテザリング」にチェックが入ります。

❖お知らせ

- USBテザリングに必要なパソコンの動作環境（OS）は以下のとおりです。
  - Microsoft Windows 8
  - Microsoft Windows 7
  - Microsoft Windows Vista
  - Microsoft Windows XP※
  - Linux

  ※ Microsoft Windows XPはPC Companionのインストールが必要です。
- USBテザリング中は、パソコンで本端末のストレージをマウントすることはできません。

Wi-Fiテザリングを設定する

1 設定メニュー画面で（P.111）、［その他の設定］▶［テザリング］をタップする

2 ［Wi-Fiテザリング］をタップする

3 「注意事項の詳細」の内容を確認し、［OK］をタップする

- 「Wi-Fiテザリング」にチェックが入ります。

❖お知らせ

- Wi-Fiネットワークに接続しているときに、Wi-Fiテザリングを開始するとWi-Fi接続は切断されますが、Wi-Fiテザリングを終了すると自動的に接続されます。また、Wi-Fi機能を利用してDLNA機器と本端末を接続しているときも、Wi-Fiテザリングを開始すると自動的に切断／接続されます。
- USBテザリングとWi-Fiテザリングは同時に利用できます。

ポータブルWi-Fiアクセスポイントを設定する

本端末をWi-Fiアクセスポイントとして利用し、無線LAN対応機器をインターネットに10台まで同時に接続することができます。

1 設定メニュー画面で（P.111）、［その他の設定］▶［テザリング］をタップする

2 ［Wi-Fiテザリング設定］▶［Wi-Fiテザリング設定］をタップする

3 設定するWi-Fiアクセスポイントのネットワーク SSIDを入力する

- お買い上げ時には「Xperia Tablet Z_XXXX」が設定されています。

4 「セキュリティ」の設定項目をタップし、設定するWi-Fiアクセスポイントのセキュリティタイプをタップする

- 「なし」「WPA2 PSK」が表示されます。

5 必要に応じて、設定するWi-Fiアクセスポイントのセキュリティ情報を入力する

6 ［保存］をタップする

❖お知らせ

- お買い上げ時にはパスワードがランダムに設定されていますが、任意のパスワードに変更することもできます。

アクセスポイントを設定する

インターネットに接続するためのアクセスポイント（spモード、mopera U）は、あらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。
お買い上げ時には、通常使う接続先としてspモード（P.122）が設定されています。

利用中のアクセスポイントを確認する

1 設定メニュー画面で（P.111）、［その他の設定］▶［モバイルネットワーク］▶［アクセスポイント名］をタップする

- 利用可能なアクセスポイント（APN）が表示されます。
- 表示されるアクセスポイント（APN）は編集せずにそのままお使いいただくことをおすすめします。

❖お知らせ

- 使用できる接続が複数ある場合は、右側のラジオボタンにチェックの付いたものが、現在使用されているネットワーク接続を示します。

アクセスポイントを追加で設定する

1 設定メニュー画面で（P.111）、［その他の設定］▶［モバイルネットワーク］▶［アクセスポイント名］をタップする

2 ⋮をタップし、［新しいAPN］をタップする

3 ［名前］をタップし、任意の名前を入力して［OK］をタップする

4 ［APN］をタップし、アクセスポイント名を入力して［OK］をタップする

5 通信事業者によって要求されているその他すべての情報をタップして入力する

6 ⋮をタップし、［保存］をタップする

❖お知らせ

- APN設定の際に、MCC/MNCをデフォルト設定値（440/10）以外に変更すると、APN画面上に表示されなくなりますので、変更しないでください。APN画面上に表示されなくなった場合には、⋮をタップし、「初期設定にリセット」または「新しいAPN」から再度APNの設定を行ってください。
- POBox Touch（日本語）の設定画面で「自動スペース入力を設定する」（P.60）にチェックを入れて、半角英字（英語モード）にて予測変換を利用する際は、確定時に自動的にスペースが入力される場合があります。手動でスペースを削除してください。

アクセスポイントを初期化する

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 設定メニュー画面で（P.111）、［その他の設定］▶［モバイルネットワーク］▶［アクセスポイント名］をタップする

2 ⋮をタップし、［初期設定にリセット］をタップする

spモード

spモードはNTTドコモのスマートフォン向けISPです。インターネット接続に加え、ｉモードと同じメールアドレス（@docomo.ne.jp）を使ったメールサービスなどがご利用いただけます。spモードはお申し込みが必要な有料サービスです。spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

mopera U

mopera UはNTTドコモのISPです。
mopera Uにお申し込みいただいたお客様は、簡単な設定でインターネットをご利用いただけます。mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。

mopera Uを設定する

1 設定メニュー画面で（P.111）、［その他の設定］▶［モバイルネットワーク］▶［アクセスポイント名］をタップする

2 「mopera U」または「mopera U設定」のラジオボタンにチェックを入れる

- ホーム画面に戻ってブラウザを開くと、インターネットへの快適なアクセスを楽しめます。

❖お知らせ

- 「mopera U設定」はmopera U設定用アクセスポイントです。mopera U設定用アクセスポイントのご利用は、パケット通信料がかかりません。なお、初期設定画面、および設定変更画面以外には接続できないのでご注意ください。mopera U設定の詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。

端末

音設定

通知音や操作音などを設定します。

- マナーモードについては、「マナーモードを設定する」（P.47）をご参照ください。

Clear Phase™	内蔵スピーカーに適した音質に設定します。
xLOUD™	オーディオ再生レベル強調技術（"xLOUD"）を設定すると、WALKMAN、YouTube、アルバムなどの再生時に、内蔵スピーカーで迫力のあるサウンドを楽しめます。
S-Force Front Surround 3D	内蔵スピーカーで仮想的に臨場感のある3D音声を再生します。
音量	P.123
通知音	P.123
タッチ操作音	P.124
画面ロック解除時の音	画面ロックの解除時に音を鳴らすかどうかを設定します。

各種音量を調節する

1 設定メニュー画面で（P.111）、［音設定］▶［音量］をタップする

- 次の項目の音量を調節します。
  - 音楽、動画、ゲーム、その他のメディア
  - 通知
  - アラーム

2 スライダを左右にドラッグする

- 音量を下げるにはスライダを左にドラッグ、上げるにはスライダを右にドラッグします。

3 ［OK］をタップする

❖お知らせ

- 音設定でアラームの音量を設定していても、「アラームと時計」アプリで設定している「アラームの音量」（P.214）が優先されます。

通知音を設定する

1 設定メニュー画面で（P.111）、［音設定］▶［通知音］をタップする

2 通知音を選択し、［完了］をタップする

❖**お知らせ**
- Media Go（P.153）から転送したり、インターネットからダウンロードした「.wav」「.m4a」または他の形式の音声ファイルを通知音として設定できます。
- お買い上げ時に登録されている通知音以外の音を設定する場合は、♫をタップします。

タッチ操作時の音をオンにする

1 設定メニュー画面で（P.111）、［音設定］をタップする

2 「タッチ操作音」にチェックを入れる
- チェックを外すと、タップしたときに操作音が鳴らないようになります。

❖**お知らせ**
- 「タッチ操作音」はメニューを選択したときの音です。
- ソフトウェアキーボードのキー操作音の設定は、「文字入力の設定」（P.58）から設定します。

画面設定

画面の明るさや表示方法などを設定します。

モバイルブラビアエンジン2	色鮮やかで美しい写真や動画を表示するために、画質改善処理（モバイルブラビアエンジン2）を設定します。コントラストや色合いなどが調節されます。※
画面の明るさ	P.124
壁紙	P.71
スリープ	P.125
フォントサイズ	フォントサイズを設定します。
タップして起動	P.125
テーマ	ホーム画面や設定メニュー画面などの背景を設定します。
ロック画面	P.125

※ 静止画の画質改善処理はアルバムアプリでの表示に限ります。

画面の明るさを調節する

1 設定メニュー画面で（P.111）、［画面設定］▶［画面の明るさ］をタップする

2 スライダを左右にドラッグする
- 画面の明るさを下げるにはスライダを左にドラッグ、上げるにはスライダを右にドラッグします。

3 ［OK］をタップする

❖**お知らせ**
- 「明るさを自動調整」にチェックを入れると、手動で設定した明るさを基準に、周囲の明るさに応じて自動で明るさを調整します。
- ステータスバーの時刻をタップし、をタップしてのスライダを左右にドラッグしても、明るさを調節できます。

画面のバックライトが消灯するまでの時間を設定する

1 **設定メニュー画面で（P.111）、[画面設定]▶[スリープ]をタップする**

2 **画面のバックライトが消灯するまでの時間を選択する**

❖**お知らせ**
- 画面のバックライトをすぐ消灯するには、を押します。

タップ起動をオンにする

タップ起動をオンにすると、バックライト消灯時に画面をダブルタップして、バックライトを点灯することができます。

1 **設定メニュー画面で（P.111）、[画面設定]をタップする**

2 **「タップして起動」にチェックを入れる**
- 「タップして起動」のチェックを外すと、タップ起動はオフになります。

画面ロック解除画面の壁紙を変更する

- 優先アプリ設定（P.131）で「一括設定」または「ロック画面」を「Xperia™」に設定し、画面ロックの解除方法（P.136）を「スワイプ／タッチ」に設定した場合の壁紙のみ変更できます。

1 **設定メニュー画面で（P.111）、[画面設定]▶[ロック画面]をタップする**

2 **[壁紙]▶[アルバム]／[Xperia™の壁紙]をタップする**
- 設定方法について詳しくは「壁紙を変更する」（P.71）の手順2をご参照ください。

ストレージ

内部ストレージ、microSDカード、USBストレージの容量を確認できます。また、microSDカード、USBストレージ内のデータを削除して初期化できます。
USBストレージとは、市販のリーダライタケーブルを使って本端末に接続されたmicroSDカードなどの外部記録媒体のことです。

内部ストレージ	
合計容量	内部ストレージのアプリ、画像・動画、オーディオ（音楽・着信音など）、ダウンロード、その他、空き容量などを確認します。
SDカード	
合計容量	microSDカードの空き容量などを確認します。
SDカードのマウント解除※1	microSDカードの認識を解除して、microSDカードを安全に取り外します。
SDカードをマウント※1	microSDカードを認識させます。
SDカード内データを削除※1	P.127
SDカードを暗号化します※2	microSDカード内のデータを消去して暗号化し、他の端末やパソコンで使用できないようにします。
外部USBストレージ	
合計容量	USBストレージの空き容量などを確認します。
USBストレージのマウント解除※1	USBストレージの認識を解除して、USBストレージを安全に取り外します。
USBストレージをマウント※1	USBストレージを認識させます。
USBストレージ内データ削除※1	P.127
その他	
SDカードへデータ転送	内部ストレージの画像、動画、音楽データをmicroSDカードへ転送します。

※1 microSDカードやUSBストレージの認識状態により表示される項目は異なります。
※2 あらかじめ画面ロックの解除方法を「PIN」／「パスワード」に設定しておく必要があります（P.136）。

❖お知らせ

- SDカードの暗号化を解除するには、本端末をリセットする必要があります（P.139）。

microSDカードをフォーマットする

1 設定メニュー画面で（P.111）、［ストレージ］をタップする

2 ［SDカード内データを削除］▶［SDカード内データ削除］をタップする

- 必要に応じて、画面ロックの解除方法を入力します。

3 ［すべて削除］をタップする

❖お知らせ

- フォーマットを行うと、microSDカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

USBストレージをフォーマットする

- あらかじめ、microSDカードなどの外部記録媒体を挿入した市販のリーダライタケーブルを、本端末に接続しておきます。

1 設定メニュー画面で（P.111）、［ストレージ］をタップする

2 ［USBストレージ内データ削除］▶［削除］をタップする

- 必要に応じて、画面ロックの解除方法を入力します。

3 ［すべて削除］をタップする

❖お知らせ

- フォーマットを行うと、USBストレージ（microSDカードなどの外部記録媒体）の内容がすべて消去されますのでご注意ください。

端末内部の空き容量を増やす

端末内部の空き容量が少ない場合、次の操作を行うことで空き容量を増やすことができます。

- ブラウザで、すべての一時インターネットファイルとブラウザ履歴情報をクリアします。詳しくは、「履歴を削除する」（P.110）をご参照ください。
- 使用しないアプリケーションをアンインストールします。詳しくは、「インストールされたアプリケーションを削除する」（P.129）をご参照ください。

電源管理

電池の使用量を確認したり、省電力モードの設定をします。

項目	説明
電池	電池使用量、電池残量などを表示します。
省電力モード	電池の消費を抑えるための設定をします。

アプリ

インストールされたアプリケーションの管理や削除、メモリの使用状況などを表示したり、設定を変更したりできます。

本端末のアプリケーションに許可されている動作を表示する

各アプリケーションの操作に伴い、本端末内のネットワーク通信機能や位置情報機能など、アクセスが許可されている機能が確認できます。

1 設定メニュー画面で（P.111）、[アプリ]をタップする

2 表示したいアプリケーションをタップする

3 画面を上にフリックして許可されている動作を表示する

- すべての許可されている動作が表示されていない場合は、[すべて表示]をタップします。

アプリケーションを強制終了する

アプリケーションが応答しないというポップアップ画面が表示された場合に、アプリケーションを強制終了することができます。

1 設定メニュー画面で（P.111）、[アプリ]をタップする

2 強制終了するアプリケーションをタップする

3 [強制終了]をタップする

4 注意文を読んで[OK]をタップする

❖お知らせ

- アプリケーションを強制終了したくないときには、[キャンセル]をタップしてアプリケーションの応答を待ってください。

アプリケーションのすべてのデータを削除する

- インストールされたアプリケーションのすべてのデータを削除する前に、アプリケーション内に保存されているデータも含めて、そのアプリケーションに関連する保存しておきたいコンテンツをすべてバックアップしておいてください。

1 設定メニュー画面で（P.111）、[アプリ]をタップする

2 データを削除したいアプリケーションをタップする

3 [データを削除]をタップする

4 注意文を読んで[OK]をタップする

インストールされたアプリケーションを削除する

- インストールされたアプリケーションを削除する前に、アプリケーション内に保存されているデータも含めて、そのアプリケーションに関連する保存しておきたいコンテンツをすべてバックアップしておいてください。
- いくつかのアプリケーションは削除できません。

1 **設定メニュー画面で（P.111）、[アプリ] をタップする**

2 **削除したいアプリケーションをタップする**

3 **[アンインストール] をタップする**

4 **[OK] をタップする**

5 **アンインストールが完了したら [OK] をタップする**

❖お知らせ

- 本端末にプリインストールされているアプリケーションは、アンインストールできない場合があります。アンインストールできない一部のアプリケーションは無効化（P.129）することが可能です。
- Playストアから入手したアプリケーションは、Google Play画面から削除（P.159）することをおすすめします。
- アプリケーション画面でもアプリケーションを削除することができます。詳しくは、「アプリケーションをアンインストールする」（P.79）をご参照ください。

アプリケーションを無効化する

アンインストールできない一部のアプリケーションやサービスを無効化することができます。無効化したアプリケーションはアプリケーション画面に表示されず、実行もされなくなりますが、アンインストールはされません。

1 **設定メニュー画面で（P.111）、[アプリ] をタップする**

2 **画面を左にフリックし、「すべて」タブを表示する**

3 **無効化したいアプリケーションをタップする**

4 **[無効にする] をタップする**

5 **注意文を読んで [OK] をタップする**

- 再度有効化するには［有効にする］をタップします。

❖お知らせ

- アプリケーションを無効化した場合、無効化されたアプリケーションと連携している他のアプリケーションが正しく動作しない場合があります。再度有効化することで正しく動作します。

アプリケーションのキャッシュを削除する

1 **設定メニュー画面で（P.111）、［アプリ］をタップする**

2 **キャッシュを削除したいアプリケーションをタップする**

3 **［キャッシュを削除］をタップする**

アプリケーションの起動時の設定を削除する

アプリケーションの起動時の設定を削除し、初期状態に戻すことができます。

1 **設定メニュー画面で（P.111）、［アプリ］をタップする**

2 **設定を削除したいアプリケーションをタップする**

3 **［設定を削除］をタップする**

アプリケーションの設定をリセットする

すべてのアプリケーションの無効化（P.129）や、起動時の設定（P.130）、バックグラウンドデータの制限をリセットすることができます。

1 **設定メニュー画面で（P.111）、［アプリ］をタップする**

2 **⋮をタップし、［アプリの設定をリセット］をタップする**

3 **［設定をリセット］をタップする**

Xperia™

本端末内の優先アプリを設定できます。また、パソコンや他の機器にUSB経由やWi-Fi経由で接続したときの設定をします。

Throw設定	本端末のさまざまなコンテンツを他の機器で再生できます。
USB接続設定	P.151
スクリーンミラーリング※1	スクリーンミラーリングに対応したテレビ※2に接続し、本端末の画面を表示します。
スマートコネクト	マイク付ステレオヘッドセット（試供品）や市販のイヤホンを接続したとき、またはACアダプタで充電接続したときなどに、自動的にアプリケーションが起動するように設定できます。また、アプリケーションの起動時や停止時の動作を設定することもできます。
優先アプリ設定	P.131
電池性能表示	内蔵電池の性能を表示します。

ワイヤレスコントローラ（DUALSHOCK™3）	市販のUSBケーブルアダプタを使用して、DUALSHOCK™3ワイヤレスコントローラーを本端末に接続できます。

※1 著作権保護されたデータは表示できません。
使用環境によって映像や音声が途切れたり、止まったりする場合があります。
Wi-Fiアンテナ部付近を手で覆うと、転送する映像の品質に影響を及ぼす場合があります。
Wi-Fi接続中にスクリーンミラーリングを開始した場合は、Wi-Fi接続が切断され、パケット通信（LTE/WCDMA/GSM）に切り替わります。
※2 HDCPに対応した機器のみ接続可能です。

優先アプリを設定する

本端末で利用するアプリ（ホームアプリ、ロック画面、電話帳アプリ、動画や音楽を再生するアプリ）を一括または個別で設定できます。

1 **設定メニュー画面で（P.111）、［Xperia™］をタップする**

2 **［優先アプリ設定］▶［一括設定］／［ホームアプリ］／［ロック画面］／［電話帳］／［プレイヤー（音楽・動画）］のいずれかをタップする**

3 **［ドコモ］／［Xperia™］をタップする**
- 使用するアプリが「ドコモ」または「Xperia™」に設定されます。

4 **［OK］をタップする**

❖お知らせ
- 優先アプリを一括で設定する場合は、ホーム画面で［優先アプリ設定］▶［OK］をタップしても設定できます。

ユーザー設定

ドコモサービス

ドコモが提供するアプリケーションのパスワードを設定したり、オートGPS対応のサービスを利用するための設定をします。

アプリケーション管理	定期的にアプリケーションの更新を確認するための設定をします。
ドコモアプリWi-Fi利用設定	Wi-Fi接続時にドコモアプリを利用するための設定をします。
ドコモアプリパスワード	ドコモが提供するアプリケーションのパスワードを設定します。ドコモアプリパスワードの初期値は「0000」に設定されています。
オートGPS	オートGPS対応のサービスを利用するための設定をします。
docomo Wi-Fiかんたん接続	docomo Wi-Fiや自宅Wi-Fiを利用するための設定をします。
データ量確認アプリ	データ量確認アプリの集計間隔や、計測の開始／停止などを設定します。
SDカードバックアップ	端末内に保存されているデータのバックアップ、復元を行います。
オープンソースライセンス	オープンソースライセンスを表示します。

位置情報サービス

位置情報サービスについて許可するかどうかを設定します。

位置情報にアクセス	P.207
GPS機能	GPSを使用して現在地の特定をアプリケーションに許可するかどうかを設定します。
Google位置情報サービス	Google検索の結果などを使用して、Googleが位置情報を使用することを許可するかどうかを設定します。

セキュリティ

セキュリティに関する設定をします。

画面のロック	P.136
顔認識の精度を改善※1	フェイスアンロックの精度を改善します。
生体検知※1	フェイスアンロックでの解除時に、まばたきが必要かどうかを設定します。
パターンを表示する※1	パターン入力時にパターンを表示するかどうかを設定します。
自動ロック※1	画面消灯してから自動でロックがかかるまでの時間を設定します。
電源キーですぐにロック※1	⏻ を押して画面ロックをかけるかどうかを設定します。
所有者情報	画面ロック解除画面に表示されるテキストを設定します。

タブレットの暗号化	内部ストレージを暗号化します。暗号化を行うと、電源を入れるたびにPINコードまたはパスワードの入力が必要になります。
SIMカードロック設定	P.135
パスワードを表示する	パスワードの入力画面で、「・」が表示される前に入力した文字を表示するかどうかを設定します。
端末管理機能	デバイス管理者を有効にするかどうかを設定します。
提供元不明のアプリ	P.138
信頼できる認証情報	信頼できるCA証明書を表示します。
内部ストレージからインストール	暗号化された証明書を内部ストレージからインストールします。
認証ストレージのデータ削除	認証情報ストレージ※2からすべての証明書や認証情報を削除します。

※1「画面のロック」の設定により表示される項目は異なります。

※2 認証情報ストレージに証明書や認証情報を保管します。

❖お知らせ

- 端末の暗号化を解除するには、本端末をリセットし、お買い上げ時の状態に戻す必要があります（P.139）。

ドコモminiUIMカードの保護

本端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要なものがあります。本端末をロックするためのコードやネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

■ 各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、ドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」の「docomoID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。
なおdメニューからは、ホーム画面で［dメニュー］をタップし、［お客様サポート］▶［各種お申込・お手続き］からお客様ご自身で変更ができます。

※「My docomo」「お客様サポート」については、裏表紙の裏面をご参照ください。

PINコード

ドコモminiUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。この暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
PINコードは、第三者によるドコモminiUIMカードの無断使用を防ぐため、ドコモminiUIMカードを本端末に差し込むたびに、または本端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の暗証番号（コード）です。PINコードを入力することにより、端末操作が可能となります。

- 新しく本端末を購入されて、現在ご利用中のドコモminiUIMカードを差し替えてお使いになるときは、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード（PUKコード）」（P.135）でロックを解除してください。

PINロック解除コード（PUKコード）

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コードはお客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモminiUIMカードがロックされます。その場合は、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。

SIMカードロックを設定する

ドコモminiUIMカードにPIN（暗証番号）を設定し、電源を入れたときにPINコードを入力することで、不正使用から保護できます。

1 設定メニュー画面で（P.111）、［セキュリティ］▶［SIMカードロック設定］▶［SIMカードをロック］をタップする

2 PINコードを入力し、［OK］をタップする

- 「SIMカードをロック」にチェックが入ります。

❖お知らせ

- SIMカードのロックを解除するには、同様の操作で解除できます。

電源を入れたときにPINコードを入力する

1 PINコードの入力画面で、PINコードを入力する

2 ［OK］をタップする

PINコードを変更する

- SIMカードロックを設定しているときのみ変更できます。

1 設定メニュー画面で（P.111）、［セキュリティ］▶［SIMカードロック設定］▶［SIM PINの変更］をタップする

2 現在のPINコードを入力し、［OK］をタップする

3 新しいPINコードを入力し、［OK］をタップする

4 もう一度新しいPINコードを入力し、［OK］をタップする

PINロックを解除する

1 ［PUKコード］欄をタップし、PINロック解除コードを入力する

2 ［新しいPINコード］欄をタップし、新しいPINコードを入力して、［OK］をタップする

3 もう一度新しいPINコードを入力し、[OK]をタップする

画面ロック

本端末の電源を入れたり、スリープモードから復帰したりするたびに画面ロック解除が必要になることで、データを保護できます。
画面ロックの設定には、「スワイプ／タッチ」「フェイスアンロック」「パターン」「PIN」「パスワード」の5種類があります（P.136）。

画面ロックの解除方法を設定する

1 設定メニュー画面で（P.111）、[セキュリティ] ▶ [画面のロック] をタップする

2 [スワイプ／タッチ] ／ [フェイスアンロック] ／ [パターン] ／ [PIN] ／ [パスワード] をタップする

- [フェイスアンロック] をタップした場合は、画面の指示に従って、顔認証を設定します。顔認証による画面ロック解除ができない場合の解除方法として、「パターン」または「PIN」を選択して設定する必要があります。
- [パターン] をタップした場合は、画面の指示に従って、ロック解除パターンを入力します。
  パターンを忘れた場合の秘密の質問および答えを設定してください。
- [PIN] をタップした場合は、画面の指示に従って、4～16桁の数字を入力します。この「PIN」は、ドコモminiUIMカードに設定されるPINコード（P.134）とは別のものです。
- [パスワード] をタップした場合は、画面の指示に従って、アルファベットを含む4～16桁の文字を入力します。

画面ロックの解除方法を変更する

1 設定メニュー画面で（P.111）、[セキュリティ] ▶ [画面のロック] をタップする

2 現在のロック解除パターン／PIN／パスワードを入力する

3 新しく設定する解除方法を選択する

- 設定方法は「画面ロックの解除方法を設定する」（P.136）の手順2をご参照ください。

画面ロックをかける

画面ロックの解除方法を設定（P.136）した後に、スリープモード、または ⓞ を押すと、画面ロックがかかります。

画面ロックを解除する

1 **⏻を押してバックライトを点灯する**

2 **画面のロック解除方法を入力する**

- 設定されている画面ロックの解除方法（フリックまたはタップ／顔認証／パターン／PIN／パスワード）を入力します。

ロック解除方法を忘れた場合

■「パターン」を設定している場合

画面ロック解除パターンを5回続けて間違えると、「パターンが違います」と表示されます。

- ［次へ］をタップし、ロック解除パターンを設定したときの秘密の質問に答えて［ロック解除］をタップすると、画面ロックを解除できます。
- Googleアカウントを設定している場合は、「パターンが違います」画面で［次へ］をタップすると、「質問に回答」「Googleアカウント情報を入力」が表示されます。
  - 「質問に回答」にチェックを入れて［次へ］をタップし、秘密の質問に答えて［ロック解除］をタップすると、画面ロックを解除できます。
  - 「Googleアカウント情報を入力」にチェックを入れて［次へ］をタップし、Googleアカウントとパスワードを入力して、［ログイン］をタップすると、画面ロックを解除できます。
- 画面ロックを解除した後に新しくロック解除パターンを設定する場合は、「画面のロックが解除されました」と表示されたら［はい］をタップして、ロック解除パターンを設定し直してください。

❖お知らせ

- ［やり直す］をタップすると、30秒後にパターンの入力を再試行できます。
- ［やり直す］▶［パターンを忘れた場合］をタップすると、［次へ］をタップした後の画面が表示されます。
- 複数のGoogleアカウントを設定している場合、そのいずれかのGoogleアカウントとパスワードを入力して画面ロックを解除できます。

■「PIN」または「パスワード」を設定している場合

ドコモショップにお問い合わせください。

画面ロックがかからないようにする

一度設定した画面ロックをかからない設定に戻します。

1 設定メニュー画面で（P.111）、［セキュリティ］▶［画面のロック］をタップする

2 現在のロック解除パターン／PIN／パスワードを入力する

3 ［設定しない］をタップする

提供元不明のアプリケーションのダウンロードを許可する

- 提供元不明のアプリケーションをダウンロードする前に、本体の設定でダウンロードを許可する必要があります。
  ダウンロードするアプリケーションは発行元が不明な場合もあります。お使いの本端末と個人データを保護するため、Google Playなどの信頼できる発行元からのアプリケーションのみダウンロードしてください。

1 設定メニュー画面で（P.111）、［セキュリティ］をタップする

2 ［提供元不明のアプリ］をタップする

3 注意文を読んで［OK］をタップする

- 「提供元不明のアプリ」にチェックが入ります。

言語と入力

使用する言語と入力方法を設定します。

地域／言語	P.138
スペルチェッカー	スペルチェッカーを設定します。
単語リスト	単語を登録します。
現在の入力方法	入力方法を設定します。
Google音声入力	P.58
POBox Touch（日本語）	
ドコモ文字編集	
中国語キーボード	
外国語キーボード	
音声検索	P.139
テキスト読み上げ	P.139
ポインターの速度	マウスなどのポインターの速度を設定します。

使用する言語を変更する

1 設定メニュー画面で（P.111）、［言語と入力］▶［地域／言語］をタップする

2 地域／言語を選択し、［OK］をタップする

- 日本語を選択すると「OK」が表示されますが、選択した地域／言語によって表示は異なります。

❖お知らせ

- 間違った言語を選択して表示内容が読めなくなった場合は、次のホームページのFAQをご覧ください。
  http://www.sonymobile.co.jp/so-03e/faq.html

音声検索の設定

言語	Google音声検索時に入力する言語を設定します。
音声出力	常時またはハンズフリー時のみ音声で入力するように設定します。
不適切な語句をブロック	音声認識の不適切な結果を表示するかどうかを設定します。
オフライン音声認識のダウンロード	オフライン時に音声認識データをダウンロードします。

テキスト読み上げの設定

Googleテキスト読み上げエンジン※	テキストを読み上げる言語を設定し、Googleテキストを読み上げるための音声合成エンジンを設定します。
Pico TTS※	インストールされている音声合成エンジンについて設定します。
音声の速度	テキストを読み上げる速度を設定します。
サンプルを再生	音声合成の短いサンプルを再生します。

※ 日本語には対応しておりません。

バックアップとリセット

Googleアカウントを使用して、アプリケーションなどのバックアップの設定をしたり、本端末をお買い上げ時の状態に初期化できます。

データのバックアップ	アプリケーションや設定、データなどをGoogleサーバーにバックアップするように設定します。
バックアップアカウント	Googleサーバーにバックアップするアカウントを設定します。
自動復元	アプリケーションの再インストール時に、バックアップ済みの設定やデータを復元するように設定します。
データの初期化	P.139

本端末をリセットする

本端末をリセットすると、ダウンロードしたアプリケーションを含むすべてのデータ、およびアカウントなどが削除され、本端末は初期状態（お買い上げ時の状態）に戻ります。
必ず本端末の重要なデータをバックアップしてから、本端末をリセットしてください。
初期設定については、「初期設定を行う」（P.38）をご参照ください。

1 **設定メニュー画面で（P.111）、［バックアップとリセット］▶［データの初期化］▶［タブレットをリセット］をタップする**

- 「内部ストレージ内データの削除」にチェックを入れると、内部ストレージの内容（音楽、写真など）がすべて削除されます。
- 必要に応じて、画面ロックの解除方法を入力します。

2 **［すべて削除］をタップする**

- 本端末は自動的に再起動します。

セットアップガイド

セットアップガイドを表示し、各機能の初期設定を行います。

- 詳しくは「初期設定を行う」（P.38）をご参照ください。

アカウント

アカウントを設定する

オンラインサービスのアカウント管理（追加または削除）や、オンラインサービス上の連絡先やメッセージなどの情報を本端末と同期させる設定をします。

Googleアカウントを設定する

Googleアカウントを本端末に設定し、Gmail、Google トーク、Googleカレンダー、Google PlayなどのGoogleサービスを利用できます。
なお、本端末には複数のGoogleアカウントを設定することができます。

1 **設定メニュー画面で（P.111）、［アカウントを追加］▶［Google］をタップする**

2 **登録ウィザードの説明に従ってGoogleアカウントを設定する**

- Googleアカウントを持っていない場合は、アカウントを作成してください。
- すでにGoogleアカウントを持っている場合は、ログインしてください。

❖お知らせ

- Googleアカウントを設定しない場合でも本端末をお使いいただくことはできますが、Google トーク、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスがご利用になれません。
- ログインするためにはGoogleアカウントおよびパスワードが必要です。
- ログインすると、「バックアップと復元」画面が表示される場合があります。Googleアカウントを使用して、アプリケーションやブックマークの設定などをバックアップするには、「Googleアカウントでこのタブレットを常にバックアップする」にチェックを入れて、▶をタップします。

- 設定したGoogleアカウントをタップして、次の項目からそれぞれのデータを手動で同期することができます。

Gmailを同期	Googleアカウントで利用しているEメールの送受信履歴を本端末のGmailに同期します。
Google Playブックスを同期	Google Playブックスに同期します。
Googleフォトを同期※	ウェブアルバムのGoogleフォトを本端末のアルバムに同期します。
Playムービーを同期	Google Playのムービーに同期します。
カレンダーを同期	Googleアカウントに登録されている予定などのカレンダー情報を本端末のカレンダーに同期します。
ブラウザを同期	Googleアカウントに保存されたブックマークなどのブラウザの設定を本端末のウェブ機能に同期します。
連絡先を同期	Gmailに登録されている連絡先を本端末の電話帳に同期します。

※ Googleアカウントで利用しているPicasaのウェブアルバムや、Google+でアップロードしたウェブアルバムに多数の写真が含まれている場合は、同期中に多くの電力を消費したり、データ通信量が増加する場合があります。

- 設定したGoogleアカウントでGoogle+をご利用の場合は、「Google+を同期」が表示され、タップして同期させると本端末のアルバムにインスタントアップロードされた写真が表示されます。
- Googleアカウントでログインする前に、データ接続可能な状態であることを確認してください。データ接続状態を知るには、「ステータスアイコン」（P.39）をご参照ください。

Facebookアカウントを設定する

Facebookアカウントの登録・ログインを行うと、オンラインサービス上の「友達」が公開しているプロフィール情報を電話帳に表示させることができます。

❖お知らせ

- Facebookアカウントをまだお持ちでない場合は、次のホームページからもアカウントを作成することができます。
  http://www.facebook.com

1 設定メニュー画面で（P.111）、［アカウントを追加］▶［Facebook］をタップする

- すでにFacebookアカウントを持っていて、本端末で電話帳などからアカウント設定している場合は、追加する必要はありません。

2 画面の指示に従ってログイン情報などを設定する

- Facebookアカウントを持っていない場合は、アカウントを登録してください。
- すでにFacebookアカウントを持っている場合は、ログインしてください。

■ Xperia™用Facebookを設定する

Facebookのアカウントを設定すると、ステータスバーにが表示されます。ステータスバーの時刻をタップして、「Xperia™用Facebook」を設定すると、本端末のアプリケーションの機能と同期できます。

1 ステータスバーの時刻をタップし、[Xperia™用Facebook]をタップする

2 注意文を読んで[同意]▶[完了]をタップする

❖お知らせ

- 「Xperia™用Facebook」の設定は、設定メニュー画面で（P.111）、[アカウントを追加]▶[Xperia™用Facebook]をタップしても設定できます。
- 「Xperia™用Facebook」アカウントや設定したアカウントをタップすると、次の設定ができます。

アプリケーション管理設定	本端末と同期するFacebookに関連したアプリの設定をします。各機能にチェックを入れると本端末のアプリケーションとFacebookが同期します。
カレンダーを同期	Facebookに登録されている友達の誕生日などのイベントを本端末のカレンダーに同期します。
友達の音楽を同期	友達がFacebookで「いいね！」を指定した音楽を本端末のWALKMANに同期します。
連絡先を同期	Facebookに登録されている友達のプロフィールを本端末の電話帳に同期します。

その他のアカウントを設定する

Googleアカウント（P.140）やFacebookアカウント（P.141）のほかに、docomoアカウント、Eメール、コーポレートなどを設定できます。

1 設定メニュー画面で（P.111）、[アカウントを追加]をタップする

2 アカウントの種類をタップする

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

❖お知らせ

- docomoアカウントは、ドコモが提供する「SDカードバックアップ」（P.216）を利用する際に使用します。お買い上げ時から設定されています。

アカウントを削除する

1 設定メニュー画面で（P.111）、アカウントの種類を選択し、削除したいアカウントを選択する

2 をタップし、[アカウントを削除]▶[アカウントを削除]をタップする

❖**お知らせ**

- Googleアカウント設定時に、「バックアップと復元」画面で「Googleアカウントでこのタブレットを常にバックアップする」にチェックを入れて登録したGoogleアカウントは、バックアップアカウントとして登録されています。バックアップアカウントを削除すると、ステータスバーに注意メッセージが表示されます。
- docomoアカウントは削除できません。

自動同期を設定する

本端末にオンラインサービス上の情報を同期することができます。本端末およびパソコンのどちらからでも情報を表示、編集できます。

- 同期するには、あらかじめ本端末にオンラインサービスのアカウント（Googleアカウントや Facebookアカウントなど）を設定する必要があります。

1 設定メニュー画面で（P.111）、［データ使用］をタップする

2 ⋮ をタップし、［データの自動同期］をタップして、注意文を読んで［OK］をタップする

- 「データの自動同期」にチェックが入ります。

❖**お知らせ**

- 自動同期するオンラインサービスの項目を変更するには、設定メニュー画面で（P.111）、アカウントの種類を選択します。変更するアカウントを選択し、同期させる項目のみチェックを入れます。

❖**注意**

- 自動同期を設定すると、Googleアカウントでの Gmail、カレンダー、連絡先などのデータ、およびオンラインサービスで設定した「友達」などが公開しているプロフィールの情報などを自動的に同期することを許可します。これらの通信は、パケット通信料がかかる場合がありますのでご注意ください。
- 自動同期が設定されていない場合は、手動で同期できます。設定メニュー画面で（P.111）、アカウントの種類を選択します。アカウントを選択し、同期させる項目をタップします。

同期を中止する

1 同期中に ⋮ をタップする

2 ［同期をキャンセル］をタップする

システム

日付と時刻

本端末の日付と時刻を変更できます。

- 日付、時刻、タイムゾーンを手動で設定する場合は、あらかじめ「日付と時刻を自動設定」「タイムゾーンを自動設定」のチェックを外してネットワーク自動設定を解除する必要があります。

日付と時刻を自動設定	ネットワーク上の日付・時刻情報を使って自動的に補正します。
タイムゾーンを自動設定	ネットワーク上のタイムゾーン情報を使って自動的に補正します。
日付設定	P.144
時刻設定	P.144
タイムゾーンの選択	P.145
24時間表示	P.145
日付形式	P.145

❖お知らせ

- 海外通信事業者によっては時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください（P.145）。

日付を設定する

1 設定メニュー画面で（P.111）、［日付と時刻］▶［日付設定］をタップする

2 数字をドラッグして日付を合わせる

- カレンダーをドラッグして日付をタップしても設定できます。

3 ［完了］をタップする

時刻を設定する

1 設定メニュー画面で（P.111）、［日付と時刻］▶［時刻設定］をタップする

2 数字をドラッグして時間と分を合わせる

- 「24時間表示」のチェックを外している場合は、「AM」または「PM」をドラッグして午前／午後を切り替えます。

3 ［完了］をタップする

タイムゾーンを設定する

1 **設定メニュー画面で（P.111）、［日付と時刻］▶［タイムゾーンの選択］をタップする**

2 **設定したいタイムゾーンを選択する**

時間形式を設定する

1 **設定メニュー画面で（P.111）、［日付と時刻］をタップする**

2 **「24時間表示」にチェックを入れる／外す**

- チェックを入れると時刻の表示が24時間表示になり、チェックを外すと12時間表示になります。

日付形式を設定する

1 **設定メニュー画面で（P.111）、［日付と時刻］▶［日付形式］をタップする**

2 **設定したい日付形式を選択する**

ユーザー補助

ユーザーの操作に音で反応するユーザー補助サービスなどを設定します。

TalkBack	ユーザー補助サービス（TalkBack）を設定します。
大きい文字サイズ	文字サイズを大きくします。
画面の自動回転	P.46
パスワードの音声出力	パスワードを音声出力します。
テキスト読み上げ	P.139
長押し感知までの時間	画面をロングタッチして操作するときの反応速度を設定します。
ウェブアクセシビリティの拡張	Googleからスクリプトをインストールするかどうかを設定します。

開発者向けオプション

アプリケーションを開発する際に使用する設定や、デバッグ機能などを利用するかどうかを設定します。

1 **設定メニュー画面で（P.111）、［開発者向けオプション］をタップする**

2 **開発者向けオプションのをタップまたは右にドラッグする**

3 **注意文を読んで［OK］をタップする**

タブレット情報

電波状態、法定情報などの情報を確認できます。

<table>
<tr><td>ソフトウェア更新</td><td>P.232</td></tr>
<tr><td>端末の状態</td><td>電波の状態、電池残量などを確認できます。</td></tr>
<tr><td>法的情報</td><td>オープンソースライセンスやGoogle利用規約などを確認できます。</td></tr>
<tr><td>モデル番号</td><td rowspan="5">バージョンや番号を確認できます。</td></tr>
<tr><td>Androidバージョン</td></tr>
<tr><td>ベースバンドバージョン</td></tr>
<tr><td>カーネルバージョン</td></tr>
<tr><td>ビルド番号</td></tr>
</table>

Bluetooth機能を利用する

Bluetooth機能は、パソコンやハンズフリーヘッドセットなどのBluetooth機器とワイヤレス接続できる技術です。
Bluetoothデバイスと通信するには、Bluetooth機能をオンにし、本端末とBluetoothデバイスをペア設定または接続します。

❖お知らせ

- 初期設定では、Bluetooth機能はオフです。オンにして本端末の電源を切ると、Bluetooth機能もオフになります。再度電源を入れると、Bluetooth機能は自動的にオンになります。
- 使用しない場合は電池の消耗を抑えるためにBluetooth機能をオフにしてください。

■ 無線LAN対応機器との電波干渉について

本端末のBluetooth機能と無線LAN対応機器は、同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LAN対応機器の近辺で使用すると電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- Bluetooth対応機器と無線LAN対応機器は、10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、Bluetooth対応機器または無線LAN対応機器の電源を切ってください。

※すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。Bluetooth DUNには対応しておりません。

Bluetooth機能をオンにして本端末を検出可能にする

1 ホーム画面で をタップし、［基本機能／設定］▶［設定］▶［Bluetooth］をタップする

2 Bluetoothの をタップまたは右にドラッグする

- がステータスバーに表示され、Bluetooth機能がオンになります。

3 ［Xperia Tablet Z］をタップする

- 本端末が、他のBluetoothデバイスから2分間検出可能になります。

本端末の名前を入力する

Bluetooth機能を使用するときに、Bluetoothデバイスに表示される本端末の名前を入力できます。

1 Bluetooth機能がオンになっていることを確認する

2 ホーム画面で をタップし、[基本機能／設定]▶[設定]▶[Bluetooth]をタップする

3 をタップし、[タブレットの名前を変更]をタップする

4 名前を入力し、[名前を変更]をタップする

Bluetoothデバイスとペア設定する

本端末とBluetoothデバイスを接続するには、Bluetoothデバイスをペア設定します。ペア設定して接続すると、ハンズフリーヘッドセットなどで音楽を聴いたり、本端末とBluetoothデバイスの間で画像などのデータを送受信したりすることができます。

- 一度本端末とBluetoothデバイスのペア設定を行うと、ペア設定情報は記憶されます。
- ペア設定を行うときに、パスコード（PIN）の入力が必要になる場合があります。本端末のパスコード（PIN）は「0000」です。「0000」を入力してもペア設定できない場合は、Bluetoothデバイスの取扱説明書をご参照ください。
- 一度パスコード（PIN）を入力してペア設定を行うと、次にペア設定したBluetoothデバイスに接続する際は、再度パスコード（PIN）を入力する必要はありません。
- 本端末に対応しているBluetoothプロファイルについては、「主な仕様」をご参照ください（P.236）。

1 Bluetooth機能がオンになっていることを確認する

2 ホーム画面で をタップし、[基本機能／設定]▶[設定]▶[Bluetooth]をタップする

3 [機器の検索]をタップする

- 検出されたBluetoothデバイスが、一覧表示されます。

4 本端末とペア設定を行うBluetoothデバイス名をタップする

5 **「ペア設定リクエスト」画面でパスコードを確認し、［ペア設定する］をタップする**

- ペア設定を行ったBluetoothデバイスを使用できます。
- Bluetoothデバイスによっては、ペア設定完了後、続けて接続まで行うデバイスがあります。
- 「ペア設定リクエスト」画面でパスコード（PIN）の入力が必要な場合があります。

❖**お知らせ**

- ペア設定を行うデバイス側で、Bluetooth機能がオンになっていることと、Bluetooth検出機能がオンになっていることを確認してください。
- セキュアシンプルペアリング（SSP）機能に対応したBluetoothデバイスとペア設定を行う場合は、画面にパスキーが表示されます。表示されたパスキーが正しいことを確認した後、ペア設定します。

Bluetoothデバイスと接続する

1 **Bluetooth機能がオンになっていることを確認する**

2 **ホーム画面で をタップし、［基本機能／設定］▶［設定］▶［Bluetooth］をタップする**

3 **［機器の検索］をタップする**

- 検出されたBluetoothデバイスが、一覧表示されます。
- 必要に応じて、Bluetoothデバイスのペア設定を行います。

4 **接続したいBluetoothデバイス名をタップする**

- デバイスと接続中は、ステータスバーに が表示され、デバイス名の下に接続状況が表示されます。

❖**お知らせ**

- 接続中のBluetoothデバイス名の をタップすると、接続したBluetooth機器の状態を確認したり、設定を変更したりすることができます。

Bluetoothデバイスの接続を解除する

1 **ホーム画面で をタップし、［基本機能／設定］▶［設定］▶［Bluetooth］をタップする**

2 **接続中のBluetoothデバイス名をタップする**

3 **［OK］をタップする**

- 再接続するときは、デバイス名をタップします。

Bluetoothデバイスのペア設定を解除する

1 **ホーム画面で をタップし、［基本機能／設定］▶［設定］▶［Bluetooth］をタップする**

2 **ペア設定を解除したいBluetoothデバイス名の をタップし、［ペアを解除］をタップする**

- 接続が切断され、ペア設定も解除されます。

Bluetooth機能でデータを送受信する

- あらかじめ、Bluetooth機能をオンにして、相手のBluetoothデバイスとペア設定を行ってください。

Bluetooth機能でデータを受信する

1 **相手のBluetoothデバイスからデータを送信する**

- ステータスバーに が表示されます。

2 **ステータスバーの時刻をタップして、［Bluetooth共有：ファイル受信］▶［受信］をタップする**

- 受信が完了すると、画面に受信済みのメッセージが表示されます。

Bluetooth機能でデータを送信する

1 **各アプリケーションの共有メニューで「Bluetooth」を選択する**

2 **送信する相手のBluetoothデバイスをタップする**

- 送信が完了すると、画面に送信済みのメッセージが表示されます。

❖お知らせ

- 「ドコモ電話帳」アプリからの送信については、「電話帳をBluetooth／Eメール／Gmailで送信する」（P.89）をご参照ください。
- 「アルバム」アプリからの送信については、「画像ファイルを共有する」（P.198）をご参照ください。

外部機器接続

microUSB接続ケーブルでパソコンに接続する

本端末とパソコンをmicroUSB接続ケーブル01（別売品）などで接続すると、本端末の内部ストレージおよびmicroSDカードがパソコンに認識され、データのコピーや移動、削除などの操作ができるようになります。

- 著作権で保護された画像や音楽などのデータは、コピーや移動、削除などの操作ができない場合があります。

❖お知らせ

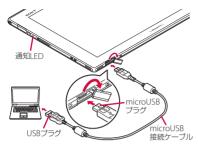
- 以下のオペレーティングシステム（OS）に対応しております。
  - Microsoft Windows 8
  - Microsoft Windows 7
  - Microsoft Windows Vista
  - Microsoft Windows XP
- お買い上げ時は「メディア転送モード（MTP)」でパソコンに接続されます。

microUSB接続ケーブルで本端末とパソコンを接続する

- microUSB接続端子カバーの開閉方法については「防水／防塵性能を維持するために」（P.22、P.23）をご参照ください。

1 本端末のmicroUSB接続端子カバーを開き、microUSB接続ケーブルのmicroUSBプラグの刻印面（⭠）を上にして、本端末のmicroUSB接続端子に水平に差し込む

2 microUSB接続ケーブルのUSBプラグをパソコンのUSBポートに差し込む

- 初めてmicroUSB接続ケーブルを接続したときは、パソコンに本端末のドライバソフトがインストールされます。インストール完了までしばらくお待ちください。
- 本端末上に「PC Companionソフトウェア」画面が表示されたら、[スキップ]をタップしてください。

■ **メディア転送モード（MTP）の場合**

本端末のステータスバーに「内部ストレージとSDカード」と表示され、パソコン上の画面に本端末がポータブルデバイスとして表示されます。
本端末の内部ストレージおよびmicroSDカードにアクセスできるようになります。

■ **ファイル転送モード（MSC）の場合**

本端末のステータスバーに「SDカードが接続されました」と表示され、パソコン上の画面に本端末がリムーバブルディスクとして表示されます。
microSDカードにアクセスできるようになります。

❖お知らせ

- パソコンに接続したときに表示される画面は、パソコンの動作環境（OS）によって異なる場合があります。
- ホーム画面で をタップし、［基本機能／設定］▶［設定］▶［Xperia™］▶［USB接続設定］をタップすると、USB接続モードの接続状態の確認や次の接続設定を変更できます。

PC Companionのインストール	パソコン接続時にPC Companionのインストールウィザードを表示します（P.234）。
USB接続モード	パソコン接続時のUSB接続モードを「メディア転送モード（MTP）」「ファイル転送モード（MSC）」に切り替えます。
信頼された機器	Wi-Fiネットワーク経由でホストとなる機器と本端末とをペア接続します（P.154）。

- USB接続モードを「ファイル転送モード（MSC）」に切り替えてパソコンに接続しているときは、本端末側でmicroSDカードにアクセスできなくなります。そのため、「カメラ」「アルバム」などのアプリケーションで、microSDカードを使用する機能が利用できない場合があります。
- パソコンに接続すると、自動的に充電を開始します。詳細については、「充電について」（P.32）をご参照ください。

- 「PC Companionソフトウェア」画面で［インストール］をタップしてPC Companionをインストールすると、本端末のソフトウェア更新をパソコンに接続して行うことができます（P.234）。また、パソコンと接続して、メディアファイルを管理したり、バックアップファイルを作成したりするなど、パソコン上から次のアプリケーションを利用できます。詳細については、インストール後のPC Companion画面で確認できます。

Support Zone	本端末のソフトウェア更新をパソコンに接続して行います（P.234）。
Contacts Setup	以前ご利用の端末の電話帳を本端末にコピーできます。
Media Go	P.153
Sync Zone	電話帳やカレンダーを、パソコンやGoogleと本端末の間で同期します。
バックアップと復元	本端末のデータをバックアップしたり、別の端末に移動したりできます。
ファイルマネージャ	本端末内のファイルの種類、更新時間、場所などを確認できます。

microUSB接続ケーブルを安全に取り外す

- データ転送中にmicroUSB接続ケーブルを取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。

■ メディア転送モード（MTP）の場合

1 データ転送中でないことを確認し、microUSB接続ケーブルを取り外す

■ ファイル転送モード（MSC）の場合

1 ステータスバーの時刻をタップする

2 ［SDカードが接続されました］をタップする

- ステータスバーに「SDカードが接続解除されました」と表示されます。

3 microUSB接続ケーブルを取り外す

Media Goを利用する

Media Goは、本端末とパソコンのメディアコンテンツの転送および管理を支援するパソコンのアプリケーションです。
Media Goを利用すると、CDからパソコンに楽曲を取り込み、本端末へ転送することができます。

- Media GoはPC Companionからインストールすることができます。パソコンにインストールしたPC Companionを起動し、「Sony PC Companion」画面でMedia Goをインストールしてください。PC Companionのインストール方法については、「PC Companionをご利用のパソコンにまだインストールしていない場合」（P.234）をご参照ください。
- Media Goの使用方法の詳細については、パソコン上のMedia Goの画面で「ヘルプ」をクリックし、「Media Goヘルプ」をクリックしてご覧ください。

❖お知らせ

- Media Goは、次のホームページからダウンロードして入手することもできます。
  http://www.sonymobile.co.jp/mediago/

Wi-Fi上で本端末とパソコンを接続する

Wi-Fiネットワーク上で本端末とパソコン※をペアになるように接続設定すると、本端末のユーザーがWi-Fiネットワークエリア内に出たり入ったりする際、本端末の内部ストレージとパソコンが自動的に接続/切断できるようになります。接続したパソコンから内部ストレージ内にあるファイルに簡単にアクセスできるようになります。

※パソコンのOSは、Microsoft Windows 7またはMicrosoft Windows 8である必要があります。Microsoft Windows XP、Microsoft Windows Vista、その他のOSではペア設定できません。

1 ペア接続したいパソコンを、Wi-Fiネットワークにつなぐ

2 Wi-Fiネットワークに本端末を接続する（P.113）

3 本端末をmicroUSB接続ケーブルでパソコンに接続する

- 本端末上に「PC Companionソフトウェア」画面が表示されたら、[スキップ]をタップしてください。

4 パソコン上の「コンピューター」画面に、ポータブルデバイスとして本端末が表示されていることを確認する

5 ポータブルデバイスのアイコンを右クリックし、「ネットワーク構成」をクリックする

6 「次へ」をクリックする

7 本端末上でポップアップ画面の[ペア]をタップする

8 パソコンのポータブルデバイスのネットワーク構成画面で、「完了」をクリックする

9 microUSB接続ケーブルを取り外す

10 本端末のホーム画面で をタップし、[基本機能/設定]▶[設定]▶[Xperia™]▶[USB接続設定]▶「信頼された機器」欄の「ホスト名」（パソコン名）をタップする

11 ［接続］をタップする

- Wi-Fiネットワーク上でパソコンと本端末が「メディア転送モード（MTP）」で接続され、ファイルをやり取りできるようになります。

❖お知らせ

- 本端末のホーム画面で をタップし、［基本機能／設定］▶［設定］▶［Xperia™］▶［USB接続設定］をタップすると、「信頼された機器」欄に「ホスト名」（パソコン名）が表示されます。ホスト名をタップし、［除外する］をタップして接続設定を解除できます。「除外する」をタップするまでは、Wi-Fiネットワークのエリア内外で接続／切断を繰り返しても、接続設定自体は継続されます。
- Wi-Fiネットワーク（アクセスポイント）のプライバシーセパレータ機能が有効になっている場合はペア接続ができません。

DLNA機器とファイルを共有する

Wi-Fi機能を利用して、他のクライアント（DLNA：Digital Living Network Alliance）機器と本端末のメディアファイルを共有し再生できます。
あらかじめ他のクライアント機器とWi-Fi接続（P.112）を設定しておきます。

メディアサーバーを設定する

1 ホーム画面で をタップし、［基本機能／設定］▶［設定］▶［その他の設定］をタップする

2 ［メディアサーバー設定］をタップする

- メディアサーバー設定画面が表示され、次の設定ができます。

SO-03E サーバー名の変更	クライアント機器上で見える本端末（サーバー）の名称を変更できます。
コンテンツ共有	クライアント機器からWi-Fi経由で本端末に接続できるように設定します。
アクセス許可待ちの機器	アクセス許可待ちのクライアント機器を管理します。
登録された機器	本端末に登録されたクライアント機器を管理します。

❖お知らせ

- メディアサーバー設定画面で をタップし、［Wi-Fi設定］をタップすると、Wi-Fi接続を設定できます。

DLNA機器のメディアファイルを本端末で再生する

メディアサーバー機能を使って、本端末とDLNA機器のメディアファイルを共有することができます。

- あらかじめDLNA機器と本端末を同じWi-Fiネットワークに接続し、本端末からのアクセス許可を設定しておいてください。

1 **メディアサーバー設定画面でコンテンツ共有の をタップまたは右にドラッグする**

- ステータスバーに「メディアサーバーがONです」と表示されます。

2 **をタップする**

- ホーム画面が表示されます。

3 **ホーム画面で をタップし、［Xperia］▶［アルバム］／［ムービー］をタップする**

4 **［マイアルバム］／［Devices］をタップする**

5 **接続するデバイス名を選択し、フォルダを選択する**

6 **メディアファイルをタップして再生する**

本端末のメディアファイルをDLNA機器で再生する

Throw機能を使って、本端末のメディアファイルをDLNA機器で再生することができます。

- あらかじめDLNA機器と本端末を同じWi-Fiネットワークに接続しておいてください。
- DLNA機器で、本端末からのアクセス許可設定が必要になる場合があります。

1 **ホーム画面で をタップし、［Xperia］▶［アルバム］／［ムービー］をタップする**

2 **再生したいファイルをタップする**

3 **をタップし、［Throw］をタップする**

- デバイスの一覧画面が表示されます。

4 **デバイスの一覧画面に表示されたデバイスをタップする**

- DLNA機器で再生されます。

dメニュー

dメニューでは、ドコモのおすすめするサイトや便利なアプリケーションに簡単にアクセスすることができます。

dメニューを開く

1 ホーム画面で［dメニュー］をタップする

- ブラウザが起動し、「dメニュー」が表示されます。

❖お知らせ

- dメニューのご利用には、パケット通信（LTE/3G/GPRS）またはWi-Fiによるインターネット接続が必要です。
- dメニューへの接続およびdメニューで紹介しているアプリケーションのダウンロードには、別途パケット通信料がかかります。なお、ダウンロードしたアプリケーションによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。
- dメニューで紹介しているアプリケーションには、一部有料のアプリケーションが含まれます。

dマーケット

dマーケットでは、自分に合った便利で楽しいコンテンツを手に入れることができます。

dマーケットを開く

1 ホーム画面で［dマーケット］をタップする

- 初めて使用するときは、「dマーケットソフトウェア使用許諾契約書」への同意画面が表示されます。「同意する」にチェックを入れ、［利用開始］をタップします。

❖お知らせ

- dマーケットの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

Playストア

Google Playを利用すると、便利なアプリケーションや楽しいゲームに直接アクセスでき、本端末にダウンロード、インストールすることができます。また、アプリケーションのフィードバックや意見を送信したり、好ましくないアプリケーションや本端末と互換性がないアプリケーションを不適切なコンテンツとして報告することができます。

- Google Playのご利用には、Googleアカウントの設定が必要となります（P.140）。
- ダウンロードするアプリケーションやゲームには無料のものと有料のものがあり、Google Playのアプリケーション一覧ではその区別が明示されています。有料アプリケーションの購入、返品、払い戻し請求などの詳細については、「ヘルプ」（P.159）をご参照ください。

アプリケーションをインストールする

1 ホーム画面で［Playストア］をタップする

- 利用規約の同意画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

2 アプリケーションを検索し、インストールしたいアプリケーションをタップする

- 表示内容をよくご確認の上、画面に従って操作してください。
- 多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリケーションには特にご注意ください。ダウンロードの操作を行うと、本端末でのこのアプリケーションの使用に関する責任を負うことになります。

❖お知らせ

- アプリケーションのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する可能性があります。
- 万が一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより各種動作不良が生じた場合、弊社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有料修理となります。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより自己または第三者への不利益が生じた場合、弊社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによっては、自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信は、切断するかタイムアウトにならない限り、接続されたままです。手動でパケット通信を切断するには、ホーム画面で をタップし、［基本機能／設定］▶［設定］▶［データ使用］をタップし、モバイルデータ通信の をタップまたは左にドラッグします。
- アプリケーションによっては、自動的にアップデートが実行される場合があります。

アプリケーションを削除する

1 **ホーム画面で［Playストア］をタップする**

2 **をタップする**

3 **削除したいアプリケーションをタップし、［アンインストール］▶［OK］をタップする**

- 有料アプリケーションをアンインストールする場合は、払い戻し画面が表示される場合があります。詳細については、「ヘルプ」（P.159）をご参照ください。

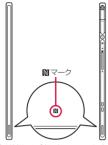
ヘルプ

Google Playについてヘルプが必要なときや質問がある場合は、Google Playの画面を表示した状態でをタップし、［ヘルプ］をタップしてGoogle Playヘルプウェブページに進みます。

NFC機能を利用する

NFC機能を利用して、電話帳、URL、テキストなどのタグを読み取り、交換できるように設定できます。
NFCとはNear Field Communicationの略で、ISO（国際標準化機構）で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。非接触ICカード機能やリーダー／ライター機能（R/W）、機器間通信機能（P2P）などがご利用いただけます。

ワンタッチ機能でデータを送信／受信する

NFCを搭載した携帯電話などの機器との間でデータを送信／受信できます。また、NFCを搭載したソニー製品との間でワンタッチ機能を利用すると、簡単な操作で画像や音楽、本端末で撮影した写真や動画を送ったり受け取ったりすることができます。

- データを送信／受信するにはあらかじめNFC機能をオンにしてください（P.160）。
- 2台の端末を平行にして マークを向かい合わせ、送信／受信が終了するまで動かさないようにしてください。
- 送信／受信の操作や送信／受信できるデータについては、対応するアプリケーションによって異なります。画面の指示に従って操作してください。
- マークを向かい合わせても、送信／受信を失敗する場合があります。失敗した場合は、送信／受信の操作を再度行ってください。
- マークをゆっくりと向かい合わせると送信／受信を失敗することがあります。
- すべてのNFC搭載機器との通信を保証するものではありません。

NFC機能をオンにする

1 ホーム画面で をタップし、［基本機能／設定］▶［設定］▶［その他の設定］をタップする

2 「NFC」にチェックを入れる

- NFC機能がオンになり、ステータスバーに が表示されます。
- NFC機能をオンにすると、Androidビームは自動的に有効になります。

❖お知らせ

- ホーム画面の （NFCカンタン起動ウィジェット）をタップしても、NFC機能のオン／オフを切り替えることができます。

データを送信する

1 NFC機能がオンになっていることを確認する

2 送信したいデータを画面に表示させる

3 受信側の端末と、 マークを向かい合わせる

- 表示されている画面が小さくなり、「タップしてビーム」と表示されます。
- ソフトウェア利用許諾契約書が表示された場合は［同意する］をタップし、画面の指示に従って操作してください。

4 小さくなった画面をタップする

データを受信する

1 NFC機能がオンになっていることを確認する

2 送信側の端末と、N マークを向かい合わせる

- データを受信すると、受信データに対応したアプリケーションが起動します。画面の指示に従って操作してください。

NFCタグをスキャンする

1 NFC機能がオンになっていることを確認する

2 N マークをタグに近づける

- 収集したタグ情報が表示されます。
- アプリケーション選択画面が表示された場合は、利用したいアプリケーションを選択します。

3 タグ情報または［OK］をタップする

- タグ情報が保存されます。
- タグ情報をタップすると、タグ情報に対応したアプリケーションが起動します。画面の指示に従って操作してください。

トルカ

トルカとは、携帯電話に取り込むことができる電子カードです。店舗情報やクーポン券などとして、読み取り機やサイトから取得できます。取得したトルカは「トルカ」アプリに保存され、「トルカ」アプリを利用して表示、検索、更新ができます。
トルカの詳細については、『ご利用ガイドブック（spモード編）』をご覧ください。

❖お知らせ

- トルカを取得、表示、更新する際には、パケット通信料がかかる場合があります。
- ｉモード端末向けに提供されているトルカは、取得・表示・更新できない場合があります。
- IP（情報サービス提供者）の設定によっては、以下の機能がご利用になれない場合があります。
  - 読み取り機からの取得／更新／トルカの共有／microSDカードへの移動、コピー／地図表示
- IPの設定によって、トルカ（詳細）からの地図表示ができるトルカでもトルカ一覧からの地図表示ができない場合があります。
- 重複チェックにチェックを入れた場合、同じトルカを重複して取得することができません。同じトルカを重複して取得したいときは、重複チェックのチェックを外してください。
- メールを利用してトルカを送信する際は、トルカ（詳細）取得前の状態で送信されます。
- ご利用のメールアプリによっては、メールで受信したトルカを保存できない場合があります。
- ご利用のブラウザによっては、トルカを取得できない場合があります。

- トルカをmicroSDカードに移動、コピーする際は、トルカ（詳細）取得前の状態で移動、コピーされます。

モバキャス

モバキャスは、スマートフォン向けの放送サービスです。番組をリアルタイムに視聴できる「リアルタイム」（リアルタイム型放送）、映画やドラマだけでなく、マンガ・小説・音楽・ゲームなどをいつでもどこでも楽しむことができる「シフトタイム」（蓄積型放送）の2つの視聴スタイルが楽しめます。
また、端末の通信機能を利用したソーシャルサービスとの連携など、今までにない放送サービスを楽しめます。
モバキャスの詳細については、モバキャス放送局（NOTTV）のホームページをご覧ください。
NOTTV　http://www.nottv.jp/

モバキャスのご利用にあたって

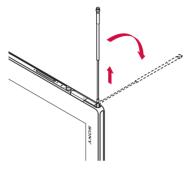
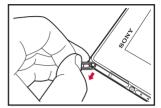
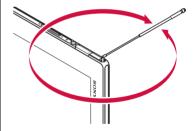
- モバキャスのご利用には別途モバキャス放送局(NOTTV)との有料放送受信契約が必要になります。
- 本端末にドコモminiUIMカードが入っていない場合は放送の受信・視聴ができません。
- モバキャスは日本国内で提供される放送サービスです。
- シフトタイムのご利用にはmicroSDカードの容量が必要です。
Class4以降のmicroSDカードのご利用をおすすめします。

放送電波・受信エリアについて

モバキャスは、XiサービスおよびFOMAサービス、フルセグ／ワンセグとは異なる電波を受信しています。そのため、XiサービスおよびFOMAサービスの圏外／圏内に関わらず、モバキャスの放送電波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。
また、モバキャス放送エリア内であっても、次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

- 放送電波が送信される基地局から離れている場所
- 山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
- トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所

モバキャス・テレビアンテナについて

- モバキャス・テレビアンテナは固定されるまで十分に引き出してください。

※モバキャス・テレビアンテナが引き出しにくい場合は、モバキャス・テレビアンテナの先端のミゾに、小さなクリップなどをかけて引き出してください。

- モバキャス・テレビアンテナは、360度回転します。受信感度の良い方向に向けてお使いください。

❖**お知らせ**

- モバキャス・テレビアンテナを操作するときは、以下の点に注意してください。
  - モバキャス・テレビアンテナの向きを変えるときは、モバキャス・テレビアンテナの根元付近を持ち、方向をよく確認してください。
  - モバキャス・テレビアンテナを収納するときは、モバキャス・テレビアンテナを縮めて、まっすぐ上に向け、モバキャス・テレビアンテナの先端の向きに注意して収納してください。

受信状態をよくするには

- ご利用時にはモバキャス・テレビアンテナを十分伸ばしてください。
- モバキャス・テレビアンテナの向きを変えたり、場所を移動したりすることで受信状態が良くなることがあります。

モバキャスを視聴する

番組／コンテンツの視聴

1　ホーム画面で をタップし、[エンタメ／便利ツール]▶[NOTTV]をタップする

- NOTTVのホーム画面が表示されます。
- 初めて使用するときは、利用規約の同意画面が表示されます。[同意する]をタップすると自動的に初期設定が行われます。初期設定は通信環境の良いところで行ってください。

2　番組／コンテンツのサムネイルをタップする

❖**お知らせ**

- リアルタイム視聴時は、画面を左右にフリックするとチャンネルを選局できます。
- 全画面表示するには、番組／コンテンツの映像をタップします。表示された[操作]をタップし、 をタップします。縦画面の場合は、番組／コンテンツの映像をタップし、 をタップします。
  ※ コンテンツの表示構成は番組／コンテンツにより異なります。
- [データ]をタップすると、データ放送が表示されます（縦画面のみ）。
- [ソーシャル]をタップすると、番組／コンテンツに関連したタイムラインが表示されます。
- [インフォ]をタップすると、番組詳細が表示されます（縦画面のみ）。
- 視聴中に を押すと音量を調節できます。
- 字幕や音声の設定を行うには をタップし、[設定]▶[表示・音声]をタップします。

- モバキャスの番組／コンテンツをMHL接続により、テレビに出力することができます。接続方法については、「テレビに接続して写真や動画を見る」（P.200）をご参照ください。

番組／コンテンツを探す

番組／コンテンツをアプリケーション内にてさまざまな方法で探すことができます。

番組表から検索する（リアルタイム）

1 ホーム画面で をタップし、［エンタメ／便利ツール］▶［NOTTV］をタップする

2 ［番組表］をタップする

- リアルタイム番組表が表示されます。シフトタイムの番組表を表示するには、［シフトタイム］をタップします。
- 現在放送中の番組をタップすると、選択した番組の視聴画面に切り替わります。

条件を指定して検索する

1 ホーム画面で をタップし、［エンタメ／便利ツール］▶［NOTTV］をタップする

2 をタップし、［検索・ジャンル別］をタップする

3 キーワードを入力して検索するか、ジャンル別で探したいものをタップする

番組／コンテンツの受信予約をする（シフトタイム）

1 ホーム画面で をタップし、［エンタメ／便利ツール］▶［NOTTV］をタップする

2 ［番組表］▶［シフトタイム］をタップする

- 今後放送される番組／コンテンツの一覧が表示されます。

3 予約したい番組／コンテンツをタップする

- 番組／コンテンツの詳細画面が表示されます。

4 ［予約する］をタップする

❖お知らせ

- 番組／コンテンツの放送時間に端末の電源が入っていない、電池残量不足、モバキャス放送エリア外など電波受信状況が良くない、microSDカード未挿入、microSDカードの容量不足などの場合は、番組／コンテンツが受信できない場合があります。
- microSDカードに一時保存された番組／コンテンツはご利用中の端末でのみ視聴・利用できます。
- 利用期限を過ぎた番組／コンテンツは自動的にmicroSDカードから削除されます。なお、利用期限が過ぎる前の番組／コンテンツも手動で削除することができます。
- お客様が予約を行っていない場合も自動的に番組／コンテンツが予約される場合があります（自動受信）。
- 自動受信は設定で解除できます。
- 放送電波の受信状況によってコンテンツデータが正常に受信できなかった際に、自動的にパケット通信にてデータを補完する場合があります（自動コンテンツ補完）。
- 自動コンテンツ補完は設定で解除できます。

モバキャスを設定する

表示・音声・コンテンツ受信等の設定ができます。

1 ホーム画面で をタップし、［エンタメ／便利ツール］▶［NOTTV］をタップする

2 をタップし、［設定］をタップする

表示・音声	**字幕表示**	字幕表示を設定します。
	文字スーパー表示	字幕スーパー表示のオン／オフを設定します。
	音声	主音声・副音声を切り替える設定をします。
自動処理	**自動受信**	コンテンツや番組表の自動受信のオン／オフを設定します。
	おすすめのリセット	おすすめ情報をリセットします。
	番組・コンテンツ情報取得	番組表・コンテンツリストの情報を放送で取得する時間帯を設定します。
	自動コンテンツ補完	放送受信環境などの理由により、コンテンツが完全に受信できなかった際に、自動的にパケット通信でデータを補完する機能について設定します。
	利用ログ送信	利用ログ送信のオン／オフを設定します。
	自動ライセンス取得	コンテンツのライセンスを自動的に取得するかどうかを設定します。
	ペアレンタルコントロール	年齢に応じた番組／コンテンツの利用制限を設定します。

ブラウザ	Cookie	Cookieのオン／オフを設定します。
	Cookieを削除	Cookieを削除します。
	放送用保存領域消去	放送用保存領域の情報を削除します。
	データ放送表示	データ放送表示のオン／オフを設定します。
	再読込	再読み込みします。
	文字コード変換	文字コードを変換します。
履歴		履歴を表示します。
ステータスバー	放送中番組を表示	ステータスバーに放送中番組を表示するかどうかを設定します。
機種変更		機種変更時に必要な処理を行います。

テレビ（フルセグ／ワンセグ）

テレビは、放送波の受信状況に応じてフルセグ／ワンセグを切り替えて視聴できるアプリケーションです。フルセグは地上デジタル放送テレビ放送サービスをハイビジョン画質で視聴できます。
ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声と共にデータ放送を受信することができます。また、モバイル機器の通信機能を使った双方向サービス、通信経由の詳細な情報もご利用いただけます。
「フルセグ／ワンセグ」サービスの詳細については、次のホームページをご覧ください。
一般社団法人　デジタル放送推進協会
http://www.dpa.or.jp/

フルセグ／ワンセグのご利用にあたって

フルセグ／ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
データ放送領域に表示される情報は「データ放送」「データ放送サイト」の2種類があります。「データ放送」は映像・音声と共に放送波で表示され、「データ放送サイト」は

データ放送の情報から、テレビ放送事業者（放送局）などが用意したサイトに接続し表示します。
「データ放送サイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。
- サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なものがあります。

放送波について

フルセグ／ワンセグは、放送サービスの1つであり、XiサービスおよびFOMAサービスとは異なる電波（放送波）を受信しています。そのため、XiサービスおよびFOMAサービスの圏外／圏内に関わらず、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。
また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。
- 放送波が送信される電波塔から離れている場所
- 山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
- トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所

モバキャス・テレビアンテナを十分に伸ばし、向きを変えたり場所を移動したりすることで受信状態が良くなることがあります（P.163）。

テレビの初期設定をする

テレビを初めて使用するときは、エリアを選択してチャンネル設定を行います。設定が完了すると、テレビを見ることができます。

1 ホーム画面で をタップし、［エンタメ／便利ツール］▶［テレビ］をタップする

2 地方、都道府県、地域を選択する
- 受信可能なチャンネルを検索し、検索が終了するとチャンネルリストが表示されます。

3 ［OK］をタップする
- テレビのメニュー一覧が表示されます。

テレビを見る

1 ホーム画面で をタップし、［エンタメ／便利ツール］▶［テレビ］をタップする
- テレビのメニュー一覧が表示されます。

2 ［視聴］をタップする
- 初めて視聴するときは、「ご利用にあたって」画面が表示されます。［OK］をタップすると、テレビ視聴画面が表示されます。

■ テレビ視聴画面

フルセグ視聴画面（全画面）

フルセグ視聴画面（データ放送あり）

① 視聴中の放送サービス（フルセグ／ワンセグ）を表示
② データ放送アイコン
③ リモコンボタン
④ 字幕
⑤ 映像
⑥ 受信レベル
⑦ オプションメニューを表示
⑧ チャンネル、放送局名、番組情報
⑨ 録画アイコン
⑩ チャンネル選局キー
- ＜／＞をロングタッチすると受信可能なチャンネルを検索できます。

⑪ データ放送：データ放送コンテンツを表示
- ワンセグの視聴画面では、縦画面のみ表示されます。

⑫ データ放送用リモコン：戻る、フォーカス移動、フォーカス選択など、データ放送中に操作するキーなどを表示

❖お知らせ

- テレビ視聴画面で映像をタップするたびに、オプションメニューなどのアイコンを表示／非表示にできます。
- テレビ視聴中に［◁ ▷］を押すと、音量を調節できます。
- テレビ視聴中は本端末の向きを変えて視聴することもできます。本端末の向きに合わせて、自動的に縦画面表示／横画面表示に切り替わるように設定するには、ステータスバーの時刻をタップし、をタップして、画面の自動回転のをタップします。
- 視聴するチャンネルを切り替えるには、次のいずれかの操作を行います。
  - チャンネル選局キーをタップする
  - テレビ視聴画面の映像を左右にフリックする
  - テレビ視聴画面の映像をロングタッチして表示されるチャンネルリストからチャンネルを選択する
- ［⌂］をタップしてホーム画面に戻っても、テレビは終了しません。テレビを起動したままだと電池の消耗が早くなる場合があります。テレビを終了するには、テレビ視聴画面を表示中に［⮌］をタップします。
- テレビを起動したりチャンネルを変更したりすると、デジタル放送の特性として映像やデータ放送のデータ取得に時間がかかる場合があります。

- 電波状態によって映像や音声が途切れたり、止まったりする場合があります。

データ放送を見る

データ放送では、画面に表示される説明などに従って操作することで、いろいろな情報を見ることができます。

1 フルセグの視聴画面で（P.169）、ⓓをタップする

- データ放送が表示されます。横画面表示中は映像をダブルタップまたはリモコンボタンで、データ放送用リモコンを表示／非表示します。
- ワンセグの視聴画面では、縦画面にするとデータ放送が表示されます。映像をタップするたびに、画面下部にデータ放送用リモコンを表示／非表示にできます。

❖お知らせ

- データ放送を見る場合は、パケット通信料はかかりません。ただし、パケット通信を使用してデータ放送の付加サービスなどを利用する場合は、パケット通信料がかかります。

テレビを設定する

テレビ視聴画面、データ放送の設定やチャンネルの設定などを行うことができます。

オプションメニューを利用する

テレビの録画／視聴予約や各種設定などが行えます。

1 テレビ視聴画面で（P.169）、⋮をタップする

番組	番組表	番組表を表示します（P.174）。
	番組詳細情報	視聴中の番組の詳細情報を表示します。
	番組情報	視聴中のチャンネルの番組情報を表示します。
録画／視聴予約		録画／視聴の予約をしたり、予約結果一覧を表示したりします（P.173）。
エリア切替		放送エリアの登録や変更をします。
字幕／音声／映像設定		字幕表示のオン／オフや、字幕言語、主／副音声の設定をします。

設定	ワンセグ／フルセグ切替	フルセグ／ワンセグ切り替えの設定をします。
	文字スーパー設定	フルセグの文字スーパー表示のオン／オフや、言語の設定をします。
	データ放送設定	位置情報の利用や端末情報の利用の有無を設定したり、放送局メモリの削除や郵便番号を設定したりします。
	オフタイマー	テレビ視聴を終了するタイマーの設定をします。
	受信機のデバイスID	受信機のデバイスIDを表示します。
	ご利用にあたって	ご利用にあたっての情報を表示します。
	ソフトウェアライセンス	ソフトウェアライセンスを表示します。

現在地のチャンネルを登録する

お使いの地域（放送エリア）によって視聴できるチャンネルは異なります。

1 テレビ視聴画面で（P.169）、⋮をタップする

2 ［エリア切替］をタップし、未登録の項目をロングタッチする

3 ［エリア情報設定］をタップし、地方、都道府県、地域を選択する

- 受信可能なチャンネルを検索し、検索が終了するとチャンネルリストが表示されます。

4 ［OK］をタップする

- 放送エリア一覧が表示されます。

放送エリアを変更する

1 テレビ視聴画面で（P.169）、⋮をタップする

2 ［エリア切替］をタップする

3 登録されているエリアを選択する

- 選択したエリアのチャンネルに切り替わります。

❖お知らせ

- 手順3で登録されているエリアをロングタッチすると、詳細の表示やエリア情報の設定、チャンネル更新、エリア名変更、設定削除の操作が行えます。

リモコン番号を変更する

各放送局に割り当てられたリモコン番号を変更します。各放送局はリモコン番号に対応した番号で呼び出すことができます。

1 テレビ視聴画面で（P.169）、映像をロングタッチする

- チャンネルリストが表示されます。

2 リモコン番号を変更したい放送局をタップし、映像をロングタッチする

3 設定したいリモコン番号をロングタッチする

4 ［はい］をタップする

- 別の放送局が設定されているリモコン番号を選択した場合は、[チャンネル上書き登録]▶[はい]をタップします。

❖**お知らせ**

- 設定した放送局を削除するには、手順2で削除したい放送局をロングタッチし、[チャンネル削除]▶[はい]をタップします。

テレビリンクを利用する

データ放送によっては、関連サイトへのリンク情報（テレビリンク）が表示される場合があります。テレビリンクを登録すると、後で関連サイトに接続できます。

テレビリンクを登録する

1 テレビ視聴画面（データ放送あり）で（P.169）、登録するテレビリンクを選択する

- 以降は画面の指示に従って登録してください。

テレビリンクを表示する

1 ホーム画面で をタップし、[エンタメ／便利ツール]▶[テレビ]をタップする

2 [テレビリンク]をタップする

- テレビリンクのリスト画面が表示されます。

3 テレビリンクを選択する

- リンクコンテンツまたはHTMLコンテンツを選択した場合は[はい]をタップします。

❖**お知らせ**

- テレビリンクには有効期限が設定されている場合があります。有効期限が過ぎたテレビリンクは利用できません。

テレビリンクの詳細を見る／削除する

1 ホーム画面で をタップし、[エンタメ／便利ツール]▶[テレビ]をタップする

2 [テレビリンク]をタップし、テレビリンクをロングタッチする

プロパティ	タイトル、説明、有効期限など、登録情報の詳細を表示します。
削除	登録されているテレビリンクを削除します。

❖**お知らせ**

- テレビリンクのリスト画面で をタップしても全件削除することができます。

テレビ番組を録画予約／視聴予約する

テレビ番組の録画や視聴の予約ができます。

1 **テレビ視聴画面で（P.169）、⋮をタップする**

2 **［録画／視聴予約］をタップし、⋮をタップする**

3 **［新規予約］をタップする**

4 **［視聴予約］／［録画予約］をタップする**

5 **番組名、チャンネル、開始／終了日時などを設定し、［保存］▶［はい］をタップする**

❖お知らせ

- 手順4で［番組表から］をタップしても、録画予約／視聴予約ができます。
- フルセグでの録画予約には対応しておりません。

テレビを録画する

表示中の映像・音声・字幕・データ放送を録画します。

1 **テレビ視聴画面で（P.169）、●をタップし録画を開始する**

- フルセグの視聴画面で●をタップした場合は、［はい］をタップします。

2 **テレビ視聴画面で（P.169）、■をタップし録画を終了する**

❖お知らせ

- フルセグの録画には対応しておりません。フルセグの視聴画面で録画を行うと、ワンセグでの録画となります。
- 録画保存できる最大ファイルサイズは2GB、連続録画可能時間は約24時間です。
保存できる保存件数は99件までです。
- 録画データはmicroSDカードに保存されます。microSDカードを取り付けていない場合は録画できません。
- 録画中に他のアプリケーションからmicroSDカードを利用した場合、録画が失敗することがあります。

録画した番組を再生する

1　ホーム画面で　をタップし、[エンタメ／便利ツール]▶[テレビ]をタップする

2　[録画ファイルリスト]をタップし、再生したい番組をタップする

❖**お知らせ**

- 番組をロングタッチすると、タイトルの変更や削除などを行えます。

番組表を利用する

1　テレビ視聴画面で（P.169）、　をタップする

2　[番組]▶[番組表]をタップする

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

FMラジオ

本端末でFM放送を聴くことができます。自動または手動で選局でき、お好みの局をお気に入りに登録することもできます。FMラジオをご利用になる場合は、マイク付ステレオヘッドセット（試供品）などのハンズフリー機器やヘッドフォンをご使用ください。受信アンテナとして機能します。

放送局を検索して登録する

1　マイク付ステレオヘッドセットを本端末に接続する

- マイク付ステレオヘッドセットの接続については、「マイク付ステレオヘッドセットを使用する」（P.196）をご参照ください。

2　ホーム画面で　をタップし、[Xperia]▶[FMラジオ]をタップする

- FMラジオ画面が表示され、自動的に放送局の検索を開始し、放送局の電波をキャッチすると検索が終了します。

3　　／　をタップして選局する

- 画面中央を左右にフリックして選局することもできます。

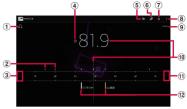
4　　をタップする

5 任意の名前を入力し、色を選択して［保存］をタップする

- 選局した放送局の帯域がお気に入りに登録されます。

6 FMラジオを停止するには、をタップする

❖お知らせ

- FMラジオ画面でをタップし、［チャンネルを検索］をタップしても放送局を検索できます。
- お気に入りの任意の名前に登録できる文字数は全角・半角に関わらず最大8文字まで入力できます。
- ホーム画面に戻って、他の操作をしながらFMラジオをバックグラウンドで聴くことができます。FMラジオ画面に戻るには、ホーム画面でをタップして［Xperia］▶［FMラジオ］をタップするか、ステータスバーの時刻をタップして［FMラジオ］をタップします。
- ドコモminiUIMカードを取り付けていない場合などで日本国内のFMラジオを聴取できないときは、FMラジオ画面でをタップし、［ラジオの地域を設定］▶［日本］をタップしてください。FMラジオを使用する際は、ご利用の地域をご確認ください。

■ FMラジオ画面

① ヘッドフォンで再生／スピーカーで再生
② 受信状態がよい場合に表示される帯域ポイント
③ 左方向にチャンネルを選局
④ お気に入りの登録／編集
⑤ お気に入りリストを表示
⑥ TrackIDを表示
⑦ FMラジオのオン／オフ
⑧ オプションメニューを表示
⑨ モノラル／ステレオ効果
⑩ 現在聴いている放送局
⑪ 右方向にチャンネルを選局
⑫ お気に入りに登録した放送局

スピーカーとハンズフリー機器を切り替える

1 FMラジオ画面で／をタップする

- 音の出力がスピーカー／ハンズフリー機器に切り替わります。

カメラ

シャッターアイコンまたは撮影画面をタップして、写真や動画の撮影ができます。写真撮影は縦画面と横画面のどちらでも撮影できます。動画撮影は横画面での撮影に適しています。スイングパノラマは横画面で撮影します。撮影した写真や動画は自動的に内部ストレージまたはmicroSDカードに保存されます。

始める前に

- 本端末で撮影した写真または動画は、すべて内部ストレージまたはmicroSDカードに保存されます。microSDカードに保存する場合は、カメラを使用する前にmicroSDカードを取り付けてください。また、Media Goからのファイル転送中など本端末でデータを読み書きしている場合、写真を撮影することはできません。
- 本端末のmicroSDカードをｉモード対応端末で利用する場合、本端末で撮影した写真や動画は閲覧できません。
- 本端末を利用して撮影または録音したものを複製、編集などする場合は、著作権侵害にあたる利用方法をお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変などすると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法もお控えください。なお実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますので、ご注意ください。

■ **著作権・肖像権について**

お客様が本端末で撮影または録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権には十分にご注意ください。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。著作権にかかわる画像の伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用になれませんので、ご注意ください。

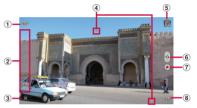
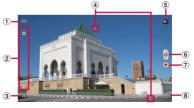
カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

お客様が本端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

スイングパノラマ撮影のご注意

- 以下の場合、スイングパノラマ撮影に適していません。
  - 動きのある被写体がある場合
  - 主要被写体とカメラの距離が近すぎる場合
  - 空、砂浜、芝生などの似たような模様が続く被写体がある場合
  - 大きな被写体がある場合
  - 波や滝など、常に模様が変化する被写体がある場合
- 一定時間内にスイングパノラマ撮影画角に満たなかった場合、足りない部分はグレーで記録されます。
  この場合はカメラを速く動かすと最後まで記録されます。
- 複数の画像を合成するため、つなぎ目が滑らかに記録できない場合があります。
- 暗いシーンでは画像がぶれたり、撮影ができない場合があります。
- 蛍光灯など、ちらつきのある光源がある場合、合成された画像の明るさや色合いが一定でなくなり、うまく撮影できないことがあります。
- スイングパノラマ撮影される画角全体と、ピントを合わせたときの画角とで、明るさや色合い、ピント位置などが極端に異なる場合、うまく撮影できない場合があります。
- 以下の場合、スイングパノラマ撮影が中断されることがあります。
  - カメラを動かす速度が速すぎる場合／遅すぎる場合
  - ぶれすぎた場合
  - カメラを撮影方向と逆に動かした場合

撮影画面とキー操作

■ 写真撮影画面／動画撮影画面

写真撮影画面

動画撮影画面

① 撮影モードアイコン（P.178）
② 設定項目アイコンの表示エリア

③ 設定アイコン
④ 選択された設定を表示するステータスアイコンの表示エリア
⑤ 最近の撮影履歴
- 撮影画面で撮影履歴のサムネイルを画面の左方向（撮影画面が縦向きの場合は上方向）にフリックすると、最新5件分の撮影履歴が表示されます。
- サムネイルをタップすると写真や動画の再生画面が表示されます。
- サムネイルをロングタッチすると次のアイコンが表示されます。
  ：写真や動画の再生画面を表示
  ：共有
  ：削除

⑥ シャッターアイコン（写真）
⑦ 撮影開始／停止アイコン（動画）
⑧ フロントカメラ切り替えアイコン

❖お知らせ

- 撮影画面でピンチイン／アウトまたは を押すと、ズームイン／アウトします。撮影モード（P.178）を「フロントカメラ」「スイングパノラマ」「フロントビデオカメラ」に設定している場合は、ズームを使用できません。
- カメラを終了するには をタップします。

撮影モードを変更する

1 **ホーム画面で をタップし、［エンタメ／便利ツール］▶［カメラ］をタップする**

- 写真撮影画面（P.177）が表示されます。

2 **撮影画面で撮影モードアイコン（P.178）をタップし、撮影モードを選択する**

撮影モードアイコンについて

■ 撮影モード

プレミアムおまかせオート

カメラが固定（ ）、動き（ ）の状態を検出したり、最適なシーンを判断します。状態が検出されるとアイコンが表示され、シーンが認識されると認識したシーンのアイコンとシーン名が表示されます。

「ソフトスナップ」「風景」「逆光」「逆光＆人物」「夜景」「夜景＆人物」「ドキュメント」「マクロ」「低照度」「赤ちゃん」「スポットライト」のシーンが認識されます。

ノーマル

標準的な撮影モードです。

ビデオカメラ

動画を撮影します（P.187）。

連写
写真を連続で撮影します（P.195）。
ピクチャーエフェクト
写真にさまざまな撮影効果を設定します（P.194）。
スイングパノラマ
ワイドなアングルのパノラマ写真を撮影します（P.194）。
SCN **シーンセレクション**
プログラム済みのシーンを設定します（P.180）。
フロントカメラ
フロントカメラを使用して写真を撮影します（P.191）。
フロントビデオカメラ
フロントカメラを使用して動画を撮影します（P.191）。

写真を撮影する

写真の撮影は、シャッターアイコン（ ）または撮影画面をタップします。撮影した写真は自動的に内部ストレージまたはmicroSDカードに保存されます。

1 ホーム画面で をタップし、［エンタメ／便利ツール］▶［カメラ］をタップする

- 写真撮影画面（P.177）が表示されます。

■ シャッターアイコンで撮影する

撮影画面で をタップする

- オートフォーカス機能を使って写真を撮影するときは、 をロングタッチし、フォーカスフレームが青色に変わって音が鳴ったら指を離してください。指を離すとすぐに写真が撮影されます。フォーカスフレームが表示されない場合は、オートフォーカスが失敗しています。

■「タッチ撮影」で撮影する

「タッチ撮影」を設定した後、表示される枠を目安に撮影画面をタップする

- 「タッチ撮影」を設定するには、撮影画面で をタップし、［タッチ撮影］▶［ON］をタップします。
- オートフォーカス機能を使って写真を撮影するときは、画面をロングタッチし、フォーカスフレームが青色に変わって音が鳴ったら指を離してください。指を離すとすぐに写真が撮影されます。フォーカスフレームが表示されない場合は、オートフォーカスが失敗しています。

❖お知らせ

- マイク付ステレオヘッドセット（試供品）や市販のイヤホン、または他のBluetoothデバイスなどと接続しているときは、シャッター音が通常より小さくなることがあります。
- 写真撮影画面（P.177）で をタップすると動画を撮影できます。

写真撮影時の設定を変更する

1 ホーム画面で をタップし、[エンタメ／便利ツール] ▶ [カメラ] をタップする

- 写真撮影画面（P.177）が表示されます。

2 撮影画面で をタップし、設定項目をタップする

- あらかじめ撮影画面にいくつかの設定項目アイコンが表示されています。設定内容により表示される設定項目アイコンは変わります。
- 撮影モード（P.178）を「連写」「ピクチャーエフェクト」「スイングパノラマ」に設定している場合は、撮影画面に表示されている設定項目アイコンをタップして設定を変更してください。
- 各設定項目とアイコンについては、「写真撮影設定」（P.180）をご参照ください。

3 選択した設定のオプションの1つをタップする

- 撮影画面に表示されている設定項目を変更した場合、変更した項目のアイコンに変わります。

❖お知らせ

- 撮影画面に表示されている設定項目アイコンを入れ替えるには、撮影画面で をタップし、設定項目をロングタッチして撮影画面に表示される点線枠にドラッグします。
- 撮影画面に表示されている設定項目アイコンを削除するには、設定項目アイコンをロングタッチし、画面中央に表示される にドラッグします。
- 撮影モード（P.178）を「連写」「ピクチャーエフェクト」「スイングパノラマ」に設定している場合は、設定項目アイコンの入れ替えや削除はできません。
- 撮影画面に表示されている と撮影モードアイコン（P.178）の移動や削除はできません。

写真撮影設定

■ シーン

プログラム済みのシーン設定を使用して、さまざまな状況に合わせてカメラを簡単に設定できます。

撮影モード（P.178）が「シーンセレクション」の場合のみ利用できます。

美肌

人物の肌をなめらかに補正して撮影します。

ソフトスナップ

人物の肌の色を、明るく暖かい色調で、きれいに撮影します。

人物ブレ軽減

室内の人物撮影でぶれを軽減します。

風景

木々の色を鮮やかに表現し、遠景にピントを合わせて撮影します。

逆光補正HDR
ハイダイナミックレンジ機能で逆光を補正します。

夜景&人物
夜景を背景にした人物の撮影に適しています。露出時間が長くなるため、手ぶれにご注意ください。

夜景
夜景を明るくきれいに撮影します。露出時間が長くなるため、手ぶれにご注意ください。

手持ち夜景
ノイズを少なくして夜景をきれいに撮影します。

高感度
暗いところでも、ぶれを軽減します。

料理
料理を明るく美味しそうに撮影します。

ペット
ペットの撮影に適しています。

ビーチ
ビーチを明るく鮮やかに再現します。

スノー
雪景色を明るく鮮やかに再現します。

パーティー
室内の照明の雰囲気を活かしながら、きれいに撮影します。露出時間が長くなるため、手ぶれにご注意ください。

スポーツ
動きの速い被写体の撮影で、露出時間を短くして動きのぶれを最小限に抑えます。

ドキュメント
文字や図の撮影に使用します。文字をくっきりと明るく、読みやすく撮影します。

打ち上げ花火
打ち上げ花火をきれいに撮影します。露出時間が長くなるため、手ぶれにご注意ください。

■ 解像度

写真撮影の解像度を設定します。解像度が高くなるほど、記録するためにより大きなメモリ容量が必要になります。

8MP／7MP
画像サイズ8メガピクセル（3264×2448）または7メガピクセル（3104×2328）、縦横比4:3。標準サイズの画面に表示したり、高解像度で印刷するのに適しています。
撮影モード（P.178）を次のいずれかに設定した場合は解像度が7MPになります。

- プレミアムおまかせオート
- ノーマル（「HDR」を「ON」に設定した場合）
- シーンセレクション（「逆光補正HDR」を設定した場合）

5MP
画像サイズ5メガピクセル（3104×1746）、縦横比16:9。高解像度、ワイドスクリーンフォーマット。ワイドスクリーンの画面に表示するのに適しています。

2MP
画像サイズ2メガピクセル（1632×1224）、縦横比4:3。標準サイズの画面に表示するのに適しています。

2MP／ 1.8MP
画像サイズ2メガピクセル（1920×1080）または1.8メガピクセル（1824×1026）、縦横比16:9。ワイドスクリーンの画面に表示するのに適しています。
撮影モード（P.178）を「フロントカメラ」に設定し、「HDR」を「ON」に設定した場合は解像度が1.8MPになります。

1.7MP
画像サイズ1.7メガピクセル（1520×1140）、縦横比4:3。
撮影モード（P.178）が「フロントカメラ」の場合のみ利用できます。

VGA
縦横比4:3のVGA形式（640×480）です。

■ セルフタイマー

シャッターアイコンや撮影画面をタップしてから設定した秒数が経過した後に撮影します。
自分の写真を撮影したり、全員が揃ったグループ写真を撮影したりするときに使用します。撮影時の手ぶれを防止するためにもセルフタイマーを使用できます。

ON（10秒）
タップしてから10秒後に撮影します。

ON（2秒）
タップしてから2秒後に撮影します。

OFF
タップするとすぐに撮影します。

■ スマイルシャッター

笑った瞬間の顔を検出して撮影します（P.193）。

大笑い
大笑いしている顔を検出したときに写真を撮影します。

笑顔
笑顔を検出したときに写真を撮影します。

ほほ笑み
ほほ笑み程度の笑顔でも写真を撮影します。

OFF
スマイル検出機能を解除します。

■ クイック起動

優先アプリ設定（P.131）で「一括設定」または「ロック画面」を「Xperia™」に設定し、画面ロックの解除方法（P.136）を「スワイプ／タッチ」に設定した時に、画面ロック解除画面でクイック起動アイコン（／）を左へドラッグすると、カメラの起動や撮影をするように設定します（P.192）。

起動＆静止画撮影

カメラが起動し、すぐに写真が撮影されます。

起動のみ（静止画）

カメラが起動し、写真撮影画面を表示します。

起動＆動画撮影

カメラが起動し、すぐに動画撮影が開始されます。

起動のみ（動画）

カメラが起動し、動画撮影画面を表示します。

OFF

画面ロック解除画面にクイック起動アイコンを表示しません。

■ フォーカスモード

ピントの合わせ方を設定します。
撮影モード（P.178）が「ノーマル」の場合のみ利用できます。

シングルオートフォーカス

カメラが自動的にピントを合わせます。

マルチオートフォーカス

撮影画面の複数箇所にカメラが自動的にピントを合わせます。シャッターアイコンや撮影画面をタップしてピントが合った箇所は、フォーカスフレームが白色から青色に変わります。

顔検出

顔を検出して、顔にピントを合わせます（P.192）。

タッチフォーカス

撮影画面で被写体をタップすると、フォーカスフレームがタップした箇所に移動します。

追尾フォーカス

被写体を追尾してピントを合わせます。

■ 明るさ（EV補正）

EV補正により、明るさを調節します。
撮影モード（P.178）が「ノーマル」の場合のみ利用できます。

明るさ（EV補正）

バーをドラッグして明るさを調節します。

■ HDR

ハイダイナミックレンジ機能を設定します。

ON

ハイダイナミックレンジ機能で撮影します。

OFF

ハイダイナミックレンジ機能を解除します。

■ ホワイトバランス

周囲の光源に合わせて色合いを調整します。

撮影モード（P.178）が「ノーマル」の場合のみ利用できます。

自動

周囲の光源に合わせて自動的に色合いを調整します。

電球

電球のような照明に合わせて色合いを調整します。

蛍光灯

蛍光灯のような照明に合わせて色合いを調整します。

太陽光

日向での撮影に合わせて色合いを調整します。

曇り

曇り空や日陰に合わせて色合いを調整します。

■ ISO

ISO感度を設定します。光量の少ない場所でも明るく、手ぶれを軽減して撮影します。

撮影モード（P.178）が「ノーマル」の場合のみ利用できます。

自動

「100」から「1600」の中で最適な感度に設定します。

100

感度を100に設定します。

200

感度を200に設定します。

400

感度を400に設定します。

800

感度を800に設定します。

1600

感度を1600に設定します。

■ 測光

撮影画面の明るさを測定して、最適な露出のバランスを自動的に判断します。

撮影モード（P.178）が「ノーマル」の場合のみ利用できます。

中央

撮影画面の中央に重心を置き、画面全体で測光して露出を調整します。

平均

撮影画面全体の明るさに基づいて露出を調整します。

スポット

撮影画面内の中央の一点のみで測光して露出を調整します。

■ 手ぶれ補正

写真撮影時の、わずかな手の動きによる写真のぶれを補正します。

ON

手ぶれを軽減します。

OFF

手ぶれ補正を使用しません。

■ 美肌効果

美肌に撮影する機能を設定します。

撮影モード（P.178）が「フロントカメラ」の場合のみ利用できます。

ON

人物の肌をなめらかに補正して撮影します。

OFF

美肌効果を解除します。

■ ジオタグ

写真に詳細な撮影場所を示す位置情報のタグ（ジオタグ）を付けることができます。ジオタグを付加するには、位置情報サービスの設定をオンにする必要があります。位置情報サービスの詳細については、「位置情報サービスについて」（P.205）をご参照ください。

ON

撮影した写真に位置情報が付加され、写真の撮影場所を特定できるようになります。

OFF

写真の撮影場所を地図上で確認することはできません。

■ 自動アップロード（写真）

撮影した写真をPlayMemories Online（P.76）へ自動的にアップロードします。

ON

撮影した写真を自動アップロードします。オンに設定した場合は、設定画面が表示されます。「Play Memories Online」にチェックを入れ、以降は表示される画面の指示に従って操作してください。

OFF

撮影した写真を自動アップロードしません。

■ タッチ撮影

撮影画面をタップして撮影できます。

ON

撮影画面をタップして写真を撮影できます。

OFF

シャッターアイコンをタップして撮影します。

■ 保存先

撮影した写真の保存先を設定します。

内部ストレージ

撮影した写真を内部ストレージに保存します。

SDカード

撮影した写真をmicroSDカードに保存します。

■ 撮影方向

スイングパノラマの撮影方向を設定します。

撮影モード（P.178）が「スイングパノラマ」の場合のみ利用できます。

右

左から右へ撮影します。

左

右から左へ撮影します。

下

上から下へ撮影します。

上

下から上へ撮影します。

■ 連写速度

連写撮影の速度を設定します。

撮影モード（P.178）が「連写」の場合のみ利用できます。

高速

高速、画像サイズ1280×720、縦横比16:9で撮影します。

中速

中速、画像サイズ3104×1746、縦横比16:9で撮影します。

低速

低速、画像サイズ1920×1080、縦横比16:9で撮影します。

❖お知らせ

- 撮影モード（P.178）が「フロントカメラ」の場合に利用できる設定項目については「フロントカメラ」（P.191）をご参照ください。
- 設定によっては、他の設定と同時に使用できない場合があります。
- 保存先を「SDカード」に設定し連写撮影した場合、microSDカードの書き込み速度によりコマ落ちが発生する場合があります。連写速度を「高速」、「中速」で快適にお使い頂くには保存先を「内部ストレージ」に設定してお使いください。

動画を撮影する

動画の撮影は、撮影開始アイコン（●）と停止アイコン（■）をタップするか、撮影開始時と停止時に撮影画面をタップします。撮影した動画は自動的に内部ストレージまたはmicroSDカードに保存されます。

1 ホーム画面で をタップし、［エンタメ／便利ツール］▶［カメラ］をタップする

2 撮影画面で撮影モードアイコン（P.178）をタップし、［ビデオカメラ］をタップする

- 動画撮影画面（P.177）が表示されます。

■ 撮影開始アイコンと停止アイコンで撮影する

撮影画面で●をタップして撮影を開始し、■をタップして撮影を停止する

■「タッチ撮影」で撮影する

「タッチ撮影」を設定した後、表示される枠を目安に撮影画面をタップして撮影を開始し、撮影画面をタップして撮影を停止する

- 「タッチ撮影」を設定するには、撮影画面で をタップし、［タッチ撮影］▶［ON］をタップします。

❖**お知らせ**

- 動画撮影時は、本端末のマイクを指などでふさがないようにしてください。
- マイク付ステレオヘッドセット（試供品）や市販のイヤホン、または他のBluetoothデバイスなどと接続しているときは、シャッター音が通常より小さくなることがあります。
- 動画撮影画面（P.177）や動画撮影中に、シャッターアイコン（ ／ ）をタップすると写真を撮影できます。表示されるシャッターアイコンはビデオ解像度の設定により異なります。
  シャッターアイコンと撮影される画像サイズは、次のとおりです。
  ：1メガピクセル（1280×720）、縦横比16:9
  ：VGA形式（640×480）、縦横比4:3

動画撮影時の設定を変更する

1 ホーム画面で をタップし、［エンタメ／便利ツール］▶［カメラ］をタップする

2 撮影画面で撮影モードアイコン（P.178）をタップし、［ビデオカメラ］をタップする

- 動画撮影画面（P.177）が表示されます。

3 撮影画面で をタップし、設定項目をタップする

- あらかじめ撮影画面にいくつかの設定項目アイコンが表示されています。設定内容により表示される設定項目アイコンは変わります。

- 各設定項目とアイコンについては、「動画撮影設定」(P.188)をご参照ください。

4 選択した設定のオプションの1つをタップする

- 撮影画面に表示されている設定項目を変更した場合、変更した項目のアイコンに変わります。

❖お知らせ

- 撮影画面に表示されている設定項目アイコンを入れ替えるには、撮影画面でをタップし、設定項目をロングタッチして撮影画面に表示される点線枠にドラッグします。
- 撮影画面に表示されている設定項目アイコンを削除するには、設定項目アイコンをロングタッチし、画面中央に表示されるにドラッグします。
- 撮影画面に表示されていると撮影モードアイコン(P.178)の移動や削除はできません。

動画撮影設定

■ **シーン**

プログラム済みのシーン設定を使用して、さまざまな状況に合わせてカメラを簡単に設定できます。

OFF

自動的に色合いや明るさを調整します。

ソフトスナップ

人物の肌の色を、明るく暖かい色調で、きれいに撮影します。

風景

木々の色を鮮やかに表現し、遠景にピントを合わせて撮影します。

夜景

夜景を明るくきれいに撮影します。

ビーチ

ビーチを明るく鮮やかに再現します。

スノー

雪景色を明るく鮮やかに再現します。

スポーツ

動きの速い被写体の撮影で、露出時間を短くして動きのぶれを最小限に抑えます。

パーティー

室内の照明の雰囲気を活かしながら、きれいに撮影します。

■ ビデオ解像度

動画撮影の解像度を設定します。解像度が高くなるほど、記録するためにより大きなメモリ容量が必要になります。

Full HD

縦横比16:9のフルHD形式（1920×1080）です。

HD

縦横比16:9のHD 720p形式（1280×720）です。

VGA

縦横比4:3のVGA形式（640×480）です。

■ セルフタイマー

撮影開始アイコンや撮影画面をタップしてから設定した秒数が経過した後に撮影を開始します。

ON（10秒）

タップしてから10秒後に撮影を開始します。

ON（2秒）

タップしてから2秒後に撮影を開始します。

OFF

タップするとすぐに撮影を開始します。

■ クイック起動

優先アプリ設定（P.131）で「一括設定」または「ロック画面」を「Xperia™」に設定し、画面ロックの解除方法（P.136）を「スワイプ／タッチ」に設定した時に、画面ロック解除画面でクイック起動アイコン（／）を左へドラッグすると、カメラの起動や撮影をするように設定します（P.192）。

起動＆静止画撮影

カメラが起動し、すぐに写真が撮影されます。

起動のみ（静止画）

カメラが起動し、写真撮影画面を表示します。

起動＆動画撮影

カメラが起動し、すぐに動画撮影が開始されます。

起動のみ（動画）

カメラが起動し、動画撮影画面を表示します。

OFF

画面ロック解除画面にクイック起動アイコンを表示しません。

■ フォーカスモード

ピントの合わせ方を設定します。

シングルオートフォーカス

カメラが自動的にピントを合わせます。

顔検出

顔を検出して、顔にピントを合わせます（P.192）。

追尾フォーカス
被写体を追尾してピントを合わせます。

■ 明るさ（EV補正）
EV補正により、明るさを調節します。

明るさ（EV補正）
バーをドラッグして明るさを調節します。

■ ホワイトバランス
周囲の光源に合わせて色合いを調整します。

自動
周囲の光源に合わせて自動的に色合いを調整します。

電球
電球のような照明に合わせて色合いを調整します。

蛍光灯
蛍光灯のような照明に合わせて色合いを調整します。

太陽光
日向での撮影に合わせて色合いを調整します。

曇り
曇り空や日陰に合わせて色合いを調整します。

■ 測光
撮影画面の明るさを測定して、最適な露出のバランスを自動的に判断します。

中央
撮影画面の中央に重心を置き、画面全体で測光して露出を調整します。

平均
撮影画面全体の明るさに基づいて露出を調整します。

スポット
撮影画面内の中央の一点のみで測光して露出を調整します。

■ 手ぶれ補正
動画撮影時にカメラの揺れを補正します。

ON
手ぶれを軽減します。

OFF
手ぶれ補正を使用しません。

■ ジオタグ
動画に詳細な撮影場所を示す位置情報のタグ（ジオタグ）を付けることができます。ジオタグを付加するには、位置情報サービスの設定をオンにする必要があります。位置情報サービスの詳細については、「位置情報サービスについて」（P.205）をご参照ください。

ON
撮影した動画に位置情報が付加され、動画の撮影場所を特定できるようになります。

OFF
動画の撮影場所を地図上で確認することはできません。

■ マイク

動画撮影時に周囲の音を録音するかどうかを設定します。

ON

撮影時に周囲の音を録音します。

OFF

撮影時に周囲の音を録音しません。

■ タッチ撮影

撮影画面をタップして撮影を開始／停止できます。

ON

撮影画面をタップして動画撮影を開始／停止できます。

OFF

撮影開始／停止アイコンをタップして動画撮影を開始／停止します。

■ 保存先

撮影した動画の保存先を設定します。

内部ストレージ

撮影した動画を内部ストレージに保存します。

SDカード

撮影した動画をmicroSDカードに保存します。

❖お知らせ

- 撮影モード（P.178）が「フロントビデオカメラ」の場合に利用できる設定項目については「フロントカメラ」（P.191）をご参照ください。
- 設定によっては、他の設定と同時に使用できない場合があります。

フロントカメラ

フロントカメラを使用すると、撮影画面を見ながら自分の写真や動画を撮影することができます。

1 ホーム画面で をタップし、［エンタメ／便利ツール］▶［カメラ］をタップする

- 写真撮影画面（P.177）が表示されます。

2 撮影画面で をタップする

3 写真／動画を撮影する

- 撮影の方法については「写真を撮影する」（P.179）または「動画を撮影する」（P.187）をご参照ください。

❖お知らせ

- 撮影画面で撮影モードアイコン（P.178）をタップし、［フロントカメラ］／［フロントビデオカメラ］をタップしてもフロントカメラに切り替えることができます。
- フロントカメラを使用している場合、「解像度」「セルフタイマー」「スマイルシャッター」「HDR」「手ぶれ補正」「美肌効果」「ジオタグ」「自動アップロード（写真）」「タッチ撮影」「保存先」を設定できます。フロントカメラでは、上記以外の「写真撮影設定」（P.180）は対応しておりません。
  - フロントカメラの解像度は「2MP」（「HDR」を「ON」に設定した場合は「1.8MP」）「1.7MP」「VGA」です。
  - フロントカメラ切り替え時にカメラの一部設定を引き継ぎます。

- フロントビデオカメラを使用している場合、「ビデオ解像度」「セルフタイマー」「手ぶれ補正」「ジオタグ」「マイク」「タッチ撮影」「保存先」を設定できます。フロントビデオカメラでは、上記以外の「動画撮影設定」（P.188）は対応しておりません。
  - フロントビデオカメラ切り替え時にビデオカメラの一部設定を引き継ぎます。

クイック起動

クイック起動を利用すると、画面ロック解除画面でカメラを起動して撮影することができます。

❖お知らせ

- お買い上げ時の画面ロック解除画面では、をタップするとカメラを起動することができます。
- クイック起動を利用するには、あらかじめ優先アプリ設定（P.131）で「一括設定」または「ロック画面」を「Xperia™」に設定します。また、画面ロックの解除方法（P.136）を「スワイプ／タッチ」に設定する必要があります。

1 画面ロック解除画面で／を左へドラッグする

- お買い上げ時は「起動のみ（静止画）」に設定されており、カメラが起動します。
- クイック起動を利用して撮影するには、撮影画面から設定します。詳しくは、「クイック起動」（P.183）をご参照ください。

顔検出

顔検出を使用すると、中心から外れた位置の顔にピントを合わせることができます。カメラが最大5つの顔を自動的に検出し、そのうち1つをオートフォーカスの対象に選択します。カメラからの距離と、中心からの距離のバランスにより、最適な顔が判断されます。選択された顔のフレームは黄色で表示され、自動的にピントが合わせられます。フレームをタップして、ピントを合わせる顔を選択することもできます。

顔検出を設定する

1 ホーム画面でをタップし、[エンタメ／便利ツール]▶[カメラ]をタップする

- 写真撮影画面（P.177）が表示されます。

2 撮影画面で撮影モードアイコン（P.178）をタップし、[ノーマル]／[ビデオカメラ]をタップする

3 撮影画面でをタップし、[フォーカスモード]▶[顔検出]をタップする

顔検出を使用して撮影する

1 顔検出を設定し、カメラを被写体に向ける

- 検出した顔にフレームが表示されます（最大で5つ）。

2 ピントを合わせるフレームをタップするか、タップせずにピントを合わせる顔をカメラに選ばせる

- ピントを合わせる顔のフレームが黄色に変わります。

3 写真／動画を撮影する

- 撮影の方法については「写真を撮影する」（P.179）または「動画を撮影する」（P.187）をご参照ください。

スマイルシャッター

スマイルシャッターを使用すると、笑った瞬間の顔を撮影できます。カメラが最大5つの顔を自動的に検出し、そのうち1つをスマイルシャッターとオートフォーカスの対象に選択します。選択された顔のフレームは黄色で表示され、選択された顔が笑うと、フレームが青色に変わりカメラが自動的に写真を撮影します。

スマイルシャッターを設定する

1 ホーム画面で ▦ をタップし、［エンタメ／便利ツール］▶［カメラ］をタップする

- 写真撮影画面（P.177）が表示されます。

2 撮影画面で ✕ をタップし、［スマイルシャッター］をタップする

3 スマイルシャッターが反応する笑顔のレベルを選択する

スマイルシャッターを使用して写真を撮影する

1 スマイルシャッターを設定し、カメラを被写体に向ける

- 検出した顔にフレームが表示されます（最大で5つ）。
- カメラがピントを合わせる顔を選択します。ピントを合わせる顔のフレームが黄色に変わります。

2 ピントを合わせる顔が笑うと、カメラが自動的に写真を撮影する

- 写真は自動的に内部ストレージまたはmicroSDカードに保存されます。
- 笑顔を検出できなくても、「写真を撮影する」（P.179）の操作で写真を撮影できます。

ピクチャーエフェクト

ピクチャーエフェクトを使用すると、さまざまな撮影効果の写真を撮影することができます。

ピクチャーエフェクトを設定する

1 ホーム画面で をタップし、［エンタメ／便利ツール］▶［カメラ］をタップする

- 写真撮影画面（P.177）が表示されます。

2 撮影画面で撮影モードアイコン（P.178）をタップし、［ピクチャーエフェクト］をタップする

3 撮影効果を選択する

- 「ノスタルジック」「ミニチュア」「カラフル」「フィルター」「魚眼レンズ」「スケッチ」「パートカラー」「ハリスシャッター」「万華鏡」から選択できます。

❖**お知らせ**

- 撮影効果を選択する画面では、 を押すとスクリーンショットを撮影することができます。
- ピクチャーエフェクトの解像度は「2MP」です。解像度の変更はできません。

ピクチャーエフェクトを使用して写真を撮影する

1 ピクチャーエフェクトを設定し、カメラを被写体に向ける

- タップやピンチなどで撮影効果の設定を変更できます。

2 をタップする

- 写真は自動的に内部ストレージまたはmicroSDカードに保存されます。

❖**お知らせ**

- ピクチャーエフェクトを使用して撮影する場合は「タッチ撮影」（P.179）を使用できません。

スイングパノラマ撮影

スイングパノラマを使用すると、ワイドなアングルのパノラマ撮影ができます。
画面の白枠と黒枠を合わせながらカメラを設定した撮影方向へゆっくりと動かして撮影します。

スイングパノラマを設定する

1 ホーム画面で をタップし、［エンタメ／便利ツール］▶［カメラ］をタップする

- 写真撮影画面（P.177）が表示されます。

2 撮影画面で撮影モードアイコン（P.178）をタップし、［スイングパノラマ］をタップする

- をタップして「撮影方向」（P.186）を設定できます。

スイングパノラマを撮影する

1 スイングパノラマを設定し、カメラを被写体に向ける

2 写真を撮影する

- 撮影の方法については「写真を撮影する」（P.179）をご参照ください。
- 撮影画面に、白い枠と大きい黒い枠が表示されます。

3 白い枠を大きい黒い枠に合わせながら、カメラを左から右へゆっくり動かす

- 撮影方向を変更した場合は、設定した方向へゆっくり動かして撮影します。
- 撮影が成功すると、写真は自動的に内部ストレージまたはmicroSDカードに保存されます。

❖お知らせ

- スイングパノラマを撮影する場合は、横画面で撮影します。

連写撮影

連写を使用すると、連続で写真を撮影することができます。

連写を設定する

1 ホーム画面で をタップし、［エンタメ／便利ツール］▶［カメラ］をタップする

- 写真撮影画面（P.177）が表示されます。

2 撮影画面で撮影モードアイコン（P.178）をタップし、［連写］をタップする

- をタップして「連写速度」（P.186）を設定できます。

連写を撮影する

1 連写を設定し、カメラを被写体に向ける

2 をロングタッチする

- をロングタッチしている間、連写撮影されます。
- 写真は自動的に内部ストレージまたはmicroSDカードに保存されます。

❖お知らせ

- 連写を撮影する場合は「タッチ撮影」（P.179）を使用できません。

マルチメディアコンテンツの再生

本端末で撮影した写真や動画、内部ストレージやmicroSDカードに保存したマルチメディアコンテンツ（音楽、写真、動画など）は、「メディアプレイヤー」「WALKMAN」「アルバム」などのアプリケーションで閲覧・再生できます。
本端末は次のファイル形式のマルチメディアコンテンツが再生できます。

種類	ファイル形式
音	WAV（PCM、G.711）（.wav）、AAC（.3gp、.m4a、.mp4）、AAC+（.3gp、.m4a、.mp4）、eAAC+（.3gp、.m4a、.mp4）、MP3（.mp3）、AMR-NB（.3gp）、AMR-WB（.3gp）、MIDI（SP-MIDI/GM/GML（.mid）、XMF（.xmf）、Mobile XMF 1.0（.mxmf）、RTTTL/RTX（.rtttl、.rtx）、OTA（.ota）、iMelody（.imy））、Ogg Vorbis（.ogg）、FLAC（.flac）、PIFF（.isma）
静止画	JPEG（.jpeg、.jpg）、GIF（.gif）、PNG（.png）、BMP（.bmp）、WEBP（.webp）
動画	H263（.3gp、.mp4）、H264 AVC（.3gp、.mp4）、MPEG-4 SP（.3gp）、VP8（.webm、.mkv）、Xvid（.avi）、Quicktime（.mov）、PIFF（.ismv）

保護されたコンテンツ著作権

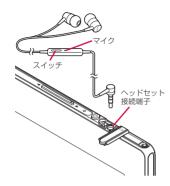
本端末を利用して撮影または録音などしたものを複製、編集などする場合は、著作権侵害にあたる利用方法はお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変などすると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法もお控えください。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますので、ご注意ください。

カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

マイク付ステレオヘッドセットを使用する

1 マイク付ステレオヘッドセット（試供品）の接続プラグを本端末のヘッドセット接続端子に接続する

- 接続方向をよくご確認の上、正しく接続してください。無理に接続すると破損の原因となります。
- スマートコネクトの設定画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

❖お知らせ

- マイク付ステレオヘッドセットを接続してメディアプレイヤーやWALKMAN、FMラジオなどを聴く場合、マイク付ステレオヘッドセットのスイッチを押して、オン／オフを切り替えることができます。ただし、操作時の条件により異なる動作をする場合があります。
- 市販のイヤホンを接続すると、イヤホンによっては音声が出力されない場合があります。

アルバム

画像や、カメラで撮影した写真や動画を閲覧・再生できます。また、Media Goを使って本端末にデータを転送したり、外部からデータを取り込んだりできます。詳細については、「microUSB接続ケーブルでパソコンに接続する」（P.151）をご参照ください。

写真／動画を表示する

1 ホーム画面で をタップし、［Xperia］▶［アルバム］をタップする

- アルバム画面が表示されます。
- 動画ファイルには が表示されます。

❖お知らせ

- 保存されている画像の枚数により、画面の読み込みに時間がかかる場合があります。

■ アルバム画面

① 画像タブ
- 画像を時系列で一覧表示します。ピンチすると画像の表示を拡大／縮小することができます。

② マイアルバムタブ
- アルバムを一覧表示します。ジオタグが付加された画像を地図上に表示したり、保存した画像、カメラで撮影した画像のほか、同期しているオンラインサービス上のアルバムの画像や、メディアサーバーに登録された機器での画像などを表示します。

③ オプションメニューを表示

写真を再生する

1　アルバム画面で写真をタップする

- 写真再生画面が表示されます。
- 画面をタップすると、撮影日時などの情報やオプションメニューアイコンなどが表示されます。

■ 写真再生画面

① 位置情報
- ジオタグが付加された画像の場合は国名や地名が表示され、アイコンをタップすると地図上に画像が表示されます。

② アルバム画面に戻る
③ 共有メニューを表示（P.198）
④ 画像の削除（P.199）
⑤ オプションメニューを表示（P.199）
⑥ 画像の撮影日時

❖お知らせ

- 写真再生画面でピンチすると画像の表示を拡大／縮小することができます。
- 選択したファイルにより表示される項目は異なります。

動画を再生する

1　アルバム画面で動画をタップする

- 動画再生画面が表示されます。

2　▶をタップする

- 動画が再生されます。

画像ファイルを操作する

画像ファイルを共有する

画像ファイルをGmailやEメールなどに添付したり、PicasaやGoogle+などのオンラインサービスにアップロードしたり、Bluetoothなどの対応する機器に送信して共有することができます。

1　写真再生画面／動画再生画面で画面をタップし、<共有アイコン>をタップする

- 画像ファイルの共有メニューが表示されます。
- ［すべて表示］をタップすると、すべての共有メニューが表示されます。

2　画像ファイルの共有方法を選択する

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

❖お知らせ

- 選択した画像ファイルによっては、表示されるメニューが異なったり、操作できない場合があります。

- 複数の画像ファイルを操作するには、アルバム画面で をタップし、［アイテムを選択］をタップして操作する画像ファイルを選択します。
- 共有可能なファイル容量、ファイル種別には特に制限はありませんが、転送するアプリケーションにより制限される場合があります。またDRM管理コンテンツは共有することができません。

画像ファイルを削除する

1 写真再生画面／動画再生画面で画面をタップし、 をタップして［OK］をタップする

- 画像ファイルが削除されます。

❖お知らせ

- 複数の画像ファイルを削除するには、アルバム画面で をタップし、［アイテムを選択］をタップして削除する画像ファイルを選択し、 をタップして［OK］をタップします。

オプションメニューを利用する

スライドショー表示や画像の編集、電話帳や壁紙への登録、撮影日時などの詳細情報の確認などが行えます。

1 写真再生画面／動画再生画面で画面をタップし、 をタップする

2 表示されたメニューから、利用したい項目を選択する

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

❖お知らせ

- 選択した画像ファイルによっては、表示されるメニューが異なったり、操作できない場合があります。
- 手順2で「Throw」を選択すると、接続先機器の一覧画面が表示されます（接続先機器が見つからない場合は、［新規機器の追加］をタップして設定します）。接続先機器の一覧画面で機器を選択すると、DLNA機器、Bluetooth機器、スクリーンミラーリング対応機器と本端末との間でファイルを共有できます。

YouTube

YouTubeは無料オンライン動画ストリーミングサービスで、動画の再生、検索、アップロードを行うことができます。

- モバイルネットワーク接続を使用して動画コンテンツをダウンロード・アップロードする際に、パケット通信料が発生します。

YouTube動画を再生する

1 ホーム画面で をタップし、［Google］▶［YouTube］をタップする

- Googleアカウントを設定していない場合は、Googleアカウント設定画面が表示されます。画面の指示に従って設定してください。

- 動画の一覧が表示されます。カテゴリやランキングから選択することもできます。

2 動画をタップして再生する

- 画面をタップすると、再生／一時停止アイコンやプログレスバーが表示されます。プログレスバーのマーカーを左右にドラッグして、再生位置を変更できます。
- [戻る] をタップすると再生を停止して、動画の一覧画面に戻ります。
- YouTubeを終了するには、[ホーム] をタップします。

❖お知らせ

- 再生中に画面をタップして「CC」が表示される場合は、字幕が表示できるキャプション機能がある動画です。［CC］をタップすると、キャプション機能の設定ができます。
- 再生中に画面をタップして「HD」または「HQ」が表示される場合は、［HD］／［HQ］をタップすると高画質で再生されます。Wi-Fi接続中の場合は、はじめから高画質で再生されます。モバイルネットワーク接続でも、はじめから高画質で再生したい場合は、 をタップし、［設定］▶［全般］をタップして、「端末で高画質動画を表示」にチェックを入れます。
- をタップすると動画を検索できます。検索履歴を消去するには、 をタップし、［設定］▶［検索］▶［検索履歴を消去］▶［OK］をタップします。

テレビに接続して写真や動画を見る

本端末はMHL接続に対応しております。
MHL対応のテレビの場合は、市販のMHLケーブルを本端末のmicroUSB接続端子とテレビのMHL対応端子に差し込んで接続します。
HDMI対応のテレビの場合は、市販のHDMI変換コネクタ（MHL変換アダプタ）とHDMIケーブルなどを利用して本端末と接続できます。
テレビに接続すると、写真や動画などをテレビの画面に表示させることができます。

テレビに接続してTV launcherからアプリケーションを起動する

1 ホーム画面またはアプリケーション画面表示中の本端末を、MHLケーブルでテレビに接続する

■ ホーム画面表示中の場合

- 自動的にTV launcherが起動します。

■ アプリケーション画面表示中の場合

- ステータスバーに 、 が表示されます。ステータスバーの時刻をタップして、［TV launcher］をタップすると、TV launcherが起動します。

2 テレビをMHL入力のモードに切り替える

- 本端末の画面がテレビの画面に表示されます。

3 アイコンを左右にフリックして使用したいアプリケーションを選択する

❖お知らせ

- MHL接続時にステータスバーの時刻をタップして、［MHL接続］をタップすると、出力の設定やテレビリモコンの使用方法の確認などができます。
- TV launcher画面で、左上のWALKMANのアルバムアートを選択すると、WALKMAN画面が表示されます。
- TV launcher画面で［ホーム］をタップすると、本端末のホーム画面が表示されます。
- TV launcher画面で［追加］をタップまたはをタップし［追加］をタップして、追加したいショートカットを選択すると、TV launcher画面にショートカットが追加されます。
- TV launcher画面でをタップし、［並べ替え］をタップすると、TV launcher画面のショートカットを並べ替えることができます。
- TV launcher画面でをタップし、［削除］をタップすると、TV launcher画面のショートカットを削除することができます。
- 本端末からMHLケーブルを取り外すと接続を終了しますが、テレビがMHL入力やHDMI入力のモードのままになる場合があります。テレビの取扱説明書に従って地上デジタルテレビのモードに切り替えるなどの操作を行ってください。
- MHL接続利用時には、お客様の利用環境によって電波状態に影響がでる場合があります。
- MHL接続を使用しないときはMHLケーブルやHDMI変換コネクタなどを本端末から取り外し、MHL接続を解除してください。MHL接続されたままだと電池の消耗が早くなる場合があります。
- 本端末では、MHLによるテレビ出力において、解像度720×576p at 50Hzはサポートしておりません。
- 次の機器と接続することで、テレビのリモートコントローラーを使用してTV Launcher画面、ホーム画面やさまざまなアプリケーションを操作できます。
  - リモコン操作制御規格（RCP）をサポートしているMHL対応テレビ
  - リモコン操作制御規格（CEC）をサポートしているHDMI対応テレビ

  HDMI対応テレビと接続する場合は、RCPに対応している市販のHDMI変換コネクタ（MHL変換アダプタ）が必要です。
  また、アプリケーションによっては、リモコン操作に対応していない場合もあります。

メディアプレイヤー

メディアプレイヤーを利用して、内部ストレージやmicroSDカードに保存した音楽や動画を再生します。

- パソコンから音楽データや動画データをコピーする方法については、「microUSB接続ケーブルでパソコンに接続する」（P.151）をご参照ください。
- 再生可能なデータのファイル形式は、「マルチメディアコンテンツの再生」（P.196）をご参照ください。

メディアプレイヤーを起動する

1 ホーム画面で をタップし、［エンタメ／便利ツール］▶［メディアプレイヤー］をタップする

- メディアプレイヤー画面が表示されます。

■ メディアプレイヤー画面

① サムネイル表示／リスト表示
- 「ムービー」「アルバム」のカテゴリで切り替えられます。

② カテゴリタブ
- 表示する情報を切り替えます。
- 上下にフリックできます。

③ 降順表示／昇順表示
④ オプションメニューを表示
⑤ 楽曲再生表示エリア
⑥ アルバムアート

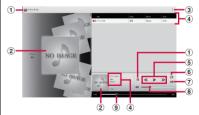
❖お知らせ
- タブのアイコンの並び順を変更する場合は、 をタップして［設定］▶［アイコンの並べ替え］をタップし、変更したい項目の を上下にドラッグして［決定］をタップします。

楽曲／動画を再生する

1 ホーム画面で をタップし、［エンタメ／便利ツール］▶［メディアプレイヤー］をタップする

- カテゴリタブの［ムービー］をタップすると、動画の一覧が表示されます。

2 楽曲／動画をタップする

- 楽曲／動画が再生されます。
- 楽曲再生画面を表示するには、楽曲再生表示エリアのアルバムアートをタップします。

■ 楽曲再生画面

① 楽曲一覧に戻る
② アルバムアート
③ オプションメニューを表示

④ 楽曲情報
⑤ 楽曲の先頭に戻るまたは前の楽曲へスキップ／再生または一時停止／次の楽曲へスキップ
⑥ リピートオフ／リピートオン／1曲リピート
⑦ シャッフルオフ／シャッフルオン
⑧ 音量調節
- 楽曲の再生中に [◁ ▷] を押しても音量を調節できます。

⑨ 再生位置

❖お知らせ

- ホーム画面に戻って、他の操作をしながらバックグラウンドで楽曲を聴くことができます。楽曲再生画面に戻るには、ホーム画面でをタップし、［エンタメ／便利ツール］▶［メディアプレイヤー］をタップするか、ステータスバーの時刻をタップして再生中の楽曲名をタップします。

■ 動画再生画面

① 動画情報
② 動画一覧に戻る
③ 画面の自動回転オン／オフ
- をタップすると赤くなり、画面の自動回転がオフになります。

④ オプションメニューを表示
⑤ 再生位置
⑥ 動画の先頭に戻るまたは前の動画へスキップ／再生または一時停止／次の動画へスキップ
⑦ 音量調節
- 動画の再生中に [◁ ▷] を押しても音量を調節できます。

❖お知らせ

- 横画面表示の場合は、画面をタップするとオプションメニューアイコンなどが表示されます。

プレイリスト

プレイリストを利用して、楽曲をお好みの順番に再生することができます。

プレイリストを作成する

1 ホーム画面でをタップし、［エンタメ／便利ツール］▶［メディアプレイヤー］をタップする

2 カテゴリタブを上下にフリックして、［プレイリスト］をタップする

- プレイリスト画面が表示されます。

3 ［プレイリスト作成］をタップし、プレイリスト名を入力して［OK］をタップする

4 ［プレイリストに曲を追加］をタップし、追加したい楽曲を選択する

- 「アーティスト」や「アルバム」から楽曲を選択することもできます。

- 選択された楽曲は が赤くなり、タップするたびにプレイリストに追加されます。

5 ［決定］▶［完了］▶［OK］をタップする

プレイリストの曲を編集する

1 プレイリスト画面で編集したいプレイリストを選択して［編集］をタップする

■ **楽曲の並び順を変更する場合**

並び順を変更したい楽曲の を上下にドラッグし、［完了］▶［OK］をタップする

■ **楽曲をプレイリストから削除する場合**

削除したい楽曲を選択し、［完了］▶［OK］をタップする

プレイリストを削除する

1 プレイリスト画面で［編集］をタップする

2 削除したいプレイリストをタップする

3 ［完了］▶［OK］をタップする

❖お知らせ

- 「最近追加した曲」「最近再生した曲」「再生回数が多い曲」は削除できません。

Socialife

FacebookやTwitterなどのSNS、ニュースサイトなどをまとめて閲覧・管理できるアプリケーションです。

- Socialifeを利用するには、FacebookまたはSony Entertainment Networkのアカウントが必要です。

Socialifeを起動する

1 ホーム画面で をタップし、［Xperia］▶［Socialife］をタップする

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

メニューについて

次のメニューからさまざまな操作ができます。

マイストリーム	登録したネットワークサービスやニュースサイトのタイムラインをひとつにまとめて表示します。Facebook、Twitter、ニュースなどカテゴリーごとに絞り込んで表示することもできます。
お気に入り	マイストリームでお気に入りに登録したSNSのメッセージやニュース記事などを表示します。
見つける	Socialifeユーザーに人気のニュースサイトや、おすすめのニュースサイトなどを表示します。
設定	ニュースサイトの登録、サインインIDの管理をしたり、ヘルプやお知らせを表示します。

位置情報サービスについて

GPS機能やWi-Fi機能、モバイルネットワークを使用して現在地を測位できます。
GPS機能を使用すると、多少時間がかかることはありますが、正確な現在地が測位されます。Wi-Fi機能やモバイルネットワークを使用すると、すばやく現在地が測位されますが、正確さにばらつきがある場合があります。GPS機能とWi-Fi機能、モバイルネットワークを組み合わせて使用すると、すばやく正確に現在地を測位できます。

GPS機能

本端末には、衛星信号を使用して現在地を算出するGPS受信機が搭載されています。いくつかのGPS機能は、インターネットを使用します。データの転送には、課金が発生する場合があります。
現在地の測位にGPS機能を使用するときは、空を広く見渡せることを確認してください。数分経っても現在地を測位できない場合は、別の場所に移動する必要があります。測位しやすくするために、動かず、GPS／Wi-Fi／Bluetoothアンテナ部（P.27）を覆わないようにしてください。GPS機能を初めて使用するときは、現在地の測位に最大で10分程度かかることがあります。

- GPSシステムのご利用には十分注意してください。システムの異常などにより損害が生じた場合、弊社では一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。
- 本端末の故障、誤動作、異常、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、弊社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、弊社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、弊社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 車の日よけに金属が使用されていると、GPSを受信しにくくなることがあります。
- 衛星利用測位（GPS）は、米国防省により構築され運営されています。同省がシステムの精度や維持管理を担当しています。このため、同省が何らかの変更を加えた場合、GPSシステムの精度や機能に影響が出る場合があります。
- ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害する恐れがあり、信号受信が不安定になることがあります。
- 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確でない場合があります。

■ 受信しにくい場所

GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、以下の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。

- 建物の中や直下
- かばんや箱の中
- 密集した樹木の中や下
- 自動車、電車などの室内
- 本端末の周囲に障害物（人や物）がある場合
- 地下やトンネル、地中、水中
- ビル街や住宅密集地
- 高圧線の近く
- 大雨、雪などの悪天候

❖注意

- 一部、または全部のGPS機能を使用できない場合は、契約内容にインターネットの利用が含まれていることをご確認の上、「無線とネットワーク」（P.111）をご参照ください。
- 弊社はナビゲーションサービスに限らず、いずれの位置情報サービスの正確性も保証しません。

GPS機能／位置情報サービスをオンにする

GPS機能やWi-Fi機能、モバイルネットワーク基地局からの情報をもとにした現在地の特定などができます。

1 **ホーム画面で をタップし、［基本機能／設定］▶［設定］をタップする**

2 **［位置情報サービス］をタップする**

3 **位置情報にアクセスの OFF をタップまたは右にドラッグする**

4 **GPS機能についての注意文を読んで［同意する］をタップし、位置情報についての注意文を読んで［同意する］をタップする**

- 「GPS機能」「Google位置情報サービス」にチェックが入ります。

❖お知らせ

- Google位置情報サービスにより、個人を特定しない形で位置情報が収集されます。なお、アプリケーションが起動していない場合でも位置情報を収集することがあります。
- 「GPS機能」と「Google位置情報サービス」は個別に設定することができます。

■ Googleアプリケーションで現在地情報を利用する

Googleマップなどのgoogleアプリケーションで現在地を特定するには、Googleアプリケーションに位置情報へのアクセスを許可する必要があります。
Googleアカウントを設定している場合はアカウントのプライバシー項目から位置情報設定を行います。Googleアカウントの詳細については、「Googleアカウントを設定する」（P.140）をご参照ください。

- あらかじめ位置情報サービスをオンにしておきます（P.207）。

1 **ホーム画面で をタップし、［基本機能／設定］▶［設定］をタップする**

2 **［Google］▶［位置情報の設定］をタップする**

3 **Googleアプリに位置情報へのアクセスを許可するの OFF をタップまたは右にドラッグする**

Googleマップを使用する

Googleマップを利用して、現在地の表示や別の場所の検索、経路の検索などを行うことができます。

❖お知らせ

- Googleマップを利用するには、データ通信可能な状態（LTE/3G/GPRS）にあるか、Wi-Fi接続が必要です。
- Googleマップは、すべての国や地域を対象としているわけではありません。
- LTE/3G/Wi-Fiの接続のみでは、現在位置が検出されない場合があります。
- Googleにより最新のサービス、機能が提供される場合があります。

1 ホーム画面で をタップし、［Google］▶［マップ］をタップする

- メッセージが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- マップ画面が表示されます。

地図上で現在地を検出する

位置情報サービスを利用して現在地を検出できます。

❖お知らせ

- 現在地を検出するには、あらかじめ位置情報サービスをオンに設定し（P.207）、Googleアプリケーションに位置情報へのアクセスを許可する必要があります（P.207）。Googleアカウントを設定していない場合は、マップ画面で をタップし、［設定］▶［現在地設定］をタップして設定します。

1 マップ画面で をタップする

- 現在地が地図上で青い印の点滅で表示されます。
- をタップすると、本端末の地磁気コンパスと地図上で表示される方角が連動します。

地図を拡大／縮小する

1 マップ画面をピンチアウト／インする

❖お知らせ

- 画面をダブルタップしても拡大できます。

ストリートビューを見る

ストリートビューは対応していない地域もあります。非対応の場合は、ストリートビューのアイコンが薄いグレーで表示されます。

1 マップ画面でストリートビューで表示したい地点をロングタッチする

2 表示された吹き出しをタップする

3 ［ストリートビュー］▶［OK］をタップする

- ストリートビュー表示中に をタップし、［コンパスモード］をタップすると本端末の地磁気コンパスとストリートビューで表示される方角が連動します。

興味のある場所を検索する

1 マップ画面で検索バーをタップし、検索する場所を入力する

- 住所、都市、ビジネスの種類や施設（例えば、ロンドン　美術館）を入力できます。
- 文字の入力に従って一致する場所のリストが画面に表示された場合は、リストをタップし、地図上でその位置を表示することもできます。

2 ソフトウェアキーボードのをタップする

- 地図上に検索した場所が表示されます。
- マップ画面右下に「もしかして…」と表示された場合やマップ画面左上に「検索結果」と表示された場合にタップすると、表示する場所を選択することができます。

3 目的の場所をタップする

- 詳細情報画面が表示されます。

❖お知らせ

- 詳細情報画面では、検索した場所への経路を確認したり、電話番号を確認したりすることができます。場所によって表示される項目は異なります。
- マップ画面でをタップすると、「レストラン」「カフェ」などのカテゴリを選択して検索し、地図表示できます。

レイヤを変更する

地図上に重ねる情報を選択できます。

1 マップ画面でをタップする

2 表示する情報をタップする

- 交通状況と路線図は提供地域が限定されています。

交通状況	交通状況を表示します。
航空写真	航空写真を表示します。
地形	地形を表示します。
路線図	路線情報を表示します。
Latitude	Latitudeに参加します。
マイマップ	パソコンで作成したマイマップを閲覧できます。マイマップは本端末からは閲覧するだけで作成できません。
ウィキペディア	Wを表示します。 Wをタップするとその場所に関するWikipediaの記事を閲覧できます。

道案内を取得する

目的地への詳しい道案内を取得できます。

1 **マップ画面で をタップする**

2 **上の入力欄に出発地を入力し、下の入力欄に目的地を入力する**

- 入力欄の右にある をタップして「現在地」「連絡先」「地図上の場所」「マイプレイス」から出発地、目的地を選択することもできます。

3 **移動の方法を（車）／（公共交通機関）／（徒歩）から選択する**

- 公共交通機関を選択した場合は、優先する交通機関や条件を選択することができます。

4 **［実行］をタップする**

■ 車／徒歩の場合

経路が地図で表示されます。

■ 公共交通機関の場合

経路の一覧が表示されます。経路を選択すると、詳細が確認できます。

❖お知らせ

- 手順4の後、をタップすると、現在地を出発点にした経路検索が簡単にご利用いただけます。

地図をクリアする

表示されたレイヤや経路検索結果などを消去します。

1 **マップ画面で をタップし、［地図をクリア］をタップする**

Google Latitudeで友人の現在地を確認する

Google Latitudeを利用すると、地図上で友人と位置情報を共有することができます。

友人と位置情報を共有するには、Googleアカウントを設定（P.140）してLatitudeに参加し、自分の位置情報を提供する友人を招待するか、友人からの招待を受ける必要があります。

Latitudeに参加する

あらかじめ位置情報サービスをオンにしておく必要があります。詳しくは、「GPS機能／位置情報サービスをオンにする」（P.207）をご参照ください。

1 **マップ画面で をタップし、［Latitude］をタップする**

- Googleアカウントを設定していない場合は、［Latitude］をタップするとGoogleアカウント設定画面が表示されます。画面の指示に従って設定してください。

❖**お知らせ**

- Latitudeの設定および無効化は、マップ画面で ⋮ をタップし、[現在地設定]をタップして表示される画面から行います。
- Latitudeの詳細については、マップ画面で ⋮ をタップし、[ヘルプ]▶[操作手順]▶[その他のマップの機能]▶[Latitude]をタップして、Latitudeのヘルプをご覧ください。

カレンダー

本端末にはスケジュールを管理するカレンダーが搭載されています。Googleアカウントなどを持っている場合は、本端末のカレンダーとウェブカレンダーを同期することができます。詳しくは、「アカウントを設定する」(P.140)をご参照ください。

- Googleアカウントを設定した場合、Googleアカウントの同期項目の[カレンダーを同期]をタップしてください(P.141)。

カレンダーを表示する

1 ホーム画面で をタップし、[Google]▶[カレンダー]をタップする

- カレンダー画面が表示されます。

2 [月]/[週]/[日]をタップする

- 25 をタップすると、本端末に設定した現在の日時にカーソルが移動します。アイコンの数字は現在の日付によって異なります。
- カレンダー部分を左右にフリックすると、月表示では前後の月、週表示では前後の週、日表示では前後の日を表示します。
- 週表示、日表示で画面をピンチすると、カレンダーの表示を拡大/縮小することができます。

カレンダーの予定を作成する

1 カレンダー画面で + をタップする

2 予定のタイトル、場所、日時、参加者、説明を入力する

3 [完了]をタップする

❖**お知らせ**

- Googleアカウントを設定している場合は手順2で、予定を作成するアカウントを選択することもできます。
- 「詳細設定」の ∨ をタップすると、「タイムゾーン」「繰り返し」「通知」「外部向け表示」「公開設定」を設定できます。

カレンダーの予定を表示する

1 カレンダー画面で予定のある日付／時間を表示する

- カレンダー画面で［予定リスト］をタップすると、予定の一覧を表示します。

2 詳細を表示する予定をタップする

❖**お知らせ**

- Facebookにログインしている場合は、「Xperia™用Facebook」（P.142）の［カレンダーを同期］をタップすることで、Facebookのイベントもカレンダーに表示できます。

カレンダーの予定を検索する

1 カレンダー画面で をタップする

2 キーワードを入力し、ソフトウェアキーボードの をタップする

- 検索結果の一覧が表示されます。検索結果をタップすると予定の詳細が表示されます。

カレンダーの予定を削除する

1 カレンダー画面で予定のある日付／時間を表示する

- カレンダー画面で［予定リスト］をタップすると、予定の一覧を表示します。

2 削除したい予定をタップする

3 ［削除］▶［削除］をタップする

❖**お知らせ**

- すべての予定を削除するには、カレンダー画面で ⋮ をタップし、［設定］▶［カレンダーの表示設定］▶［すべての予定を削除］▶［削除］をタップします。

通知を解除またはスヌーズを設定する

通知時刻になると、ステータスバーに が表示されます。

1 ステータスバーの時刻をタップする

2 ［スヌーズ］／［解除］をタップする

- ［スヌーズ］をタップすると、ポップアップメニューが表示され、スヌーズ間隔を選択できます。選択した時間の経過後に再度通知が表示されます。

❖お知らせ

- スヌーズとは、いったん通知を解除してもしばらくして再度通知する機能です。
- Googleアカウントを選択し、参加者を設定した予定では、通知パネルに表示された［返信］をタップすると、参加者へメールを作成して送信することができます。

カレンダーの設定を変更する

カレンダーの表示、通知方法、通知音、標準の通知時間、クイック返信の定型文などを設定します。

1 カレンダー画面で をタップし、［設定］をタップする

2 変更する項目を選択する

アラームと時計

「アラームと時計」アプリでは、アラームを設定できるほか、世界時計やストップウォッチ、タイマーなどを利用できます。

1 ホーム画面で をタップし、［エンタメ／便利ツール］▶［アラームと時計］をタップする

- アラーム画面が表示されます。

■ アラーム画面

① 時計表示
- タップすると日付と時刻（P.144）の設定画面が表示されます。

② アラーム画面を表示
③ 世界時計を表示（P.215）
④ ストップウォッチを表示（P.215）
⑤ タイマーを表示（P.216）
⑥ アラームの追加（P.214）
⑦ 時計を全画面表示
⑧ オプションメニューを表示
⑨ アラーム一覧

アラームを設定する

1 アラーム画面で＋をタップする

2 時間などを設定し、［完了］をタップする

- ［詳細設定］をタップすると、すべての設定項目が表示されます。

時間設定	数字を上下にドラッグして時間を設定します。
繰り返し	アラームを使用する曜日を設定します。
アラーム音※	アラーム音を設定します。
スヌーズ間隔	アラーム音を止めてからもう一度アラーム音が鳴るまでの時間を設定します。
アラームテキスト	アラーム鳴動中に表示されるテキストを入力して設定します。
スタイル設定	チェックを入れてからタップして、アラーム鳴動中に表示される画像とアラーム音を設定します。
アラームの音量	スライダを左右にドラッグして音量レベルを調整します。
マナーモード中の鳴動	マナーモードに設定中でもアラームが鳴動するかどうかを設定します。
サイドキーの動作	アラーム鳴動中に［◁ ▷］を押したときの動作を設定します。
自動消音時間	アラーム鳴動が自動で止まる時間を設定します。

※「スタイル設定」にチェックを入れている場合は設定できません。「アラーム音」を設定するには「スタイル設定」のチェックを外してください。

❖お知らせ

- アラームのオン／オフを切り替えるには、アラーム画面で をタップします。
- アラームがオンになると、 の下のラインが青色に点灯します。

アラームを削除する

1 アラーム画面で をタップし、［削除］をタップする

2 削除したいアラームにチェックを入れる

3 ［削除］▶［はい］をタップする

- 「削除」の右側には、チェックを入れたアラームの数が表示されます。

アラームが鳴っているときにアラームを止める

1 アラームが鳴っているときに を右へドラッグする

❖お知らせ

- ［スヌーズ］をタップすると、「スヌーズ間隔」（P.214）で設定した時間の経過後に、再度アラームが鳴ります。

世界時計を利用する

世界各地の都市の日時を表示できます。

1 アラーム画面で「世界時計」タブをタップする

- 世界時計画面が表示されます。

2 ＋をタップする

3 都市を選択する

❖お知らせ

- をタップし、都市の一覧を左右にフリックすると、各都市の日時を連動させて比較することができます。
- サマータイム期間中の各都市の時刻表示は、手順2の都市を追加する画面で表示される標準時間（GMT）との時差表示とは異なる場合があります。

世界時計を変更する

世界時計の摂氏／華氏の表示を変更したり、並べ替えをしたり、削除したりできます。

1 世界時計画面で⋮をタップする

■ 所在地を設定する

［所在地の設定］をタップし、都市を選択する

■ 摂氏／華氏の表示を変更する

［摂氏］／［華氏］をタップする

■ 並べ替える

［並べ替え］をタップし、追加した都市の日時の横にあるを上下にドラッグして［完了］をタップする

■ 削除する

［削除］をタップし、削除したい都市にチェックを入れて［削除］▶［はい］をタップする

- 「削除」の右側には、チェックを入れた都市の数が表示されます。

ストップウォッチを利用する

1 アラーム画面で「ストップウォッチ」タブをタップする

2 ［開始］をタップする

- 計測が開始され、ステータスバーにが表示されます。
- ［ラップ］をタップすると、途中計時が計測されます。

3 ［停止］をタップする

- ［開始］をタップすると、計測を再開できます。
- ［リセット］をタップすると、計測した時間やラップタイムを消去します。

タイマーを利用する

1 アラーム画面で「タイマー」タブをタップする

2 [時間設定]をタップする

3 数字を上下にドラッグして時間を合わせ、[完了]をタップする

4 [開始]をタップする

- タイマーが開始され、ステータスバーにが表示されます。

5 [停止]をタップする

- 設定した時間が経過したときのアラーム音を停止します。
- 設定時間内に[停止]をタップすると、タイマーを一時停止できます。[開始]をタップすると、タイマーを再開します。

❖お知らせ

- をタップすると、タイマーの履歴から時間設定ができます。
- をタップし、アラーム音を選択して[完了]をタップすると、アラームの音を変更することができます。
- 任意のアプリケーションを使用しながらをタップし、[タイマー]をタップすると、「スモールアプリ」(P.41)のタイマーを利用することができます。

SDカードバックアップ

microSDカードなどの外部記録媒体を利用して、電話帳、spモードメール、ブックマークなどのデータの移行やバックアップができます。

- バックアップまたは復元中にmicroSDカードを取り外さないでください。本端末内のデータが破損する場合があります。
- 電池残量が不足しているとバックアップまたは復元が実行できない場合があります。その場合は、本端末を充電後に再度バックアップまたは復元を行ってください。
- バックアップや復元には、ドコモアプリパスワードが必要です。ドコモアプリパスワードの設定については、「ドコモアプリパスワード」(P.132)をご参照ください。

❖お知らせ

- SDカードバックアップの詳細については、をタップし、[ヘルプ]をタップして表示されるヘルプをご覧ください。

バックアップする

本端末のメモリ構成上、microSDカードを取り付けていない場合、画像・動画などのデータは内部ストレージに保存されます。本アプリケーションでは画像・動画などのデータのうち内部ストレージに保存されているもののみバックアップされます。microSDカードに保存されているデータはバックアップされません。

1 **ホーム画面で をタップし、［基本機能／設定］▶［設定］をタップする**

2 **［ドコモサービス］▶［SDカードバックアップ］をタップする**
- 初めてご利用される際には、「利用許諾契約書」に同意いただく必要があります。

3 **［バックアップ］をタップする**

4 **バックアップするデータにチェックを入れる**
- ［すべて選択］をタップすると、すべてのデータにチェックが入ります。

5 **［バックアップ開始］▶［OK］をタップする**

6 **ドコモアプリパスワードを入力し、［OK］をタップする**
- microSDカードにデータがバックアップされます。

復元する

1 **ホーム画面で をタップし、［基本機能／設定］▶［設定］をタップする**

2 **［ドコモサービス］▶［SDカードバックアップ］をタップする**
- 初めてご利用される際には、「利用許諾契約書」に同意いただく必要があります。

3 **［復元］をタップする**

4 **復元するデータ種別の［選択］をタップし、復元するデータにチェックを入れて［選択］をタップする**
- ［最新データを選択］をタップすると、データ種別ごとの最新のバックアップデータを選択します。

5 **［追加］／［上書き］をタップして復元方法を選択し、［復元開始］▶［OK］をタップする**

6 **ドコモアプリパスワードを入力し、［OK］をタップする**
- バックアップしたデータが復元されます。

Googleアカウントの電話帳をdocomoアカウントにコピーする

Googleアカウントに登録された連絡先データや、本端末内に登録された連絡先データをdocomoアカウントにコピーできます。

1 ホーム画面で をタップし、［基本機能／設定］▶［設定］をタップする

2 ［ドコモサービス］▶［SDカードバックアップ］をタップする

- 初めてご利用される際には、「利用許諾契約書」に同意いただく必要があります。

3 ［電話帳アカウントコピー］をタップし、コピーしたいGoogleアカウントの電話帳の［選択］をタップする

4 ［上書き］／［追加］をタップする

- 電話帳データが、docomoアカウントにコピーされます。

❖**お知らせ**

- 他の端末の電話帳項目名（電話番号など）が本端末と異なる場合、項目名が変更されたり削除されたりすることがあります。また、電話帳に登録可能な文字は端末ごとに異なるため、コピー先で削除されることがあります。
- 電話帳をmicroSDカードにバックアップする場合は名前が登録されていないデータはコピーできません。
- microSDカードの空き容量が不足しているとバックアップが実行できない場合があります。その場合は、microSDカードから不要なファイルを削除して容量を確保してください。

OfficeSuite

OfficeSuiteを利用して、本端末やmicroSDカードからWord、Excelなどのファイルを閲覧できます。

❖**お知らせ**

- 一部のファイルでは、レイアウトが崩れるなど正常に閲覧できない場合があります。

OfficeSuiteを起動する

1 ホーム画面で をタップし、［Xperia］▶［OfficeSuite］をタップする

- OfficeSuiteが起動します。

国際ローミングサービス（WORLD WING）の概要

国際ローミング（WORLD WING）とは、日本国内で使用している電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアでご利用いただけるサービスです。SMSは設定の変更なくご利用になれます。

■ 対応ネットワークについて

本端末は、クラス4になります。3GネットワークおよびGSM/GPRSネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。また、3G850MHz/GSM850MHzに対応した国・地域でもご利用いただけます。ご利用可能エリアをご確認ください。海外ではXiエリア外のため、3GネットワークおよびGSM/GPRSネットワークをご利用ください。

■ 海外でご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください。

- 『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』
- ドコモの「国際サービスホームページ」

❖お知らせ

- 国番号・国際電話アクセス番号・ユニバーサルナンバー用国際識別番号・接続可能な国・地域および海外通信事業者は、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。

ご利用できるサービス

主な通信サービス	3G	3G850	GSM (GPRS)
メッセージ（SMS）	○	○	○
メール※	○	○	○
ブラウザ※	○	○	○

※ ローミング時にデータ通信を利用するには、モバイルネットワーク設定の「データローミング」にチェックを入れてください（P.222）。

❖お知らせ

- 接続する海外通信事業者やネットワークにより利用できないサービスがあります。

ご利用時の確認

出発前の確認

海外でご利用いただく際は、日本国内で次の確認をしてください。

■ ご契約について

- WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 充電について

- 海外旅行で充電する際のACアダプタは、別売りの「ACアダプタ 04」をご利用ください。

■ 料金について

- 海外でのご利用料金（パケット通信料）は日本国内とは異なります。
- ご利用のアプリケーションによっては自動的に通信を行うものがありますので、パケット通信料が高額になる場合があります。各アプリケーションの動作については、お客様ご自身でアプリケーション提供元にご確認ください。

滞在国での確認

海外に到着後、本端末の電源を入れると自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。

接続について

「通信事業者」の設定で「検索モード」を「自動」に設定している場合は、最適なネットワークを自動的に選択します（P.222）。
定額サービス適用対象国・地域の通信事業者をご利用の場合、海外でのパケット通信料が一日あたり一定額を上限としてご利用いただけます。なお、ご利用には国内のパケット定額サービスへのご加入が必要です。詳細は『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。

ディスプレイの表示について

国際ローミング中は、がステータスバーに表示されます。

- 接続している通信事業者名は、通知パネルで確認できます。

❖注意

- ステータスバーにが表示中は、パケット通信の利用が可能となりますが、パケット通信料が高額になる場合がありますのでご注意ください。

日付と時刻について

「日付と時刻」の「日付と時刻を自動設定」「タイムゾーンを自動設定」にチェックを入れている場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時刻や時差が補正されます。

- 海外通信事業者のネットワークによっては、時刻・時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- 日付と時刻（P.144）

お問い合わせについて

- 本端末やドコモminiUIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、裏表紙をご参照ください。なお、紛失・盗難された後に発生した通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

帰国後の確認

日本に帰国後は自動的にドコモのネットワークに接続されます。接続できなかった場合は、以下の設定を行ってください。

- 「ネットワークモード」を「LTE/WCDMA/GSM（自動）」に設定してください（P.221）。
- 「通信事業者」の設定で「検索モード」を「自動」に設定してください（P.222）。

海外で利用するための設定

お買い上げ時は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。手動でネットワークを切り替える場合は、次の操作で設定してください。

ネットワークモードの設定

1. **ホーム画面で をタップし、［基本機能／設定］▶［設定］をタップする**
2. **［その他の設定］▶［モバイルネットワーク］▶［ネットワークモード］をタップする**

3 使用するネットワークモードを選択する

- 「LTE/WCDMA」「GSMのみ」「LTE/WCDMA/GSM（自動）」から選択できます。「LTE/WCDMA/GSM（自動）」を選択すると、利用できるネットワークを自動的に切り替えます。

通信事業者の設定

1 ホーム画面で をタップし、［基本機能／設定］▶［設定］をタップする

2 ［その他の設定］▶［モバイルネットワーク］▶［通信事業者］をタップする

- 注意文が表示された場合は、［OK］をタップします。

3 ［検索モード］▶［手動］をタップする

- ［ネットワークを検索］をタップすると、利用可能なネットワークが表示されます。

4 「利用可能なネットワーク」の中から使用するネットワークにチェックを入れる

❖お知らせ

- ネットワーク検索ができない場合は、モバイルデータ通信（P.116）を無効にしてから再度検索してください。
- ネットワークを手動で設定した場合、圏外に移動しても、別のネットワークに自動的に接続されません。
- 「自動」に戻す場合は、手順3で［自動］をタップします。

データローミングの設定

1 ホーム画面で をタップし、［基本機能／設定］▶［設定］をタップする

2 ［その他の設定］▶［モバイルネットワーク］をタップする

3 ［データローミング］をタップする

4 注意文を読んで［はい］をタップする

- 「データローミング」にチェックが入ります。

オプション品・関連機器のご紹介

本端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。
なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。
詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。
また、オプション品の詳細については、各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- ポケットチャージャー 02
- ACアダプタ 04
- DCアダプタ 03
- 卓上ホルダ SO16
- 海外用AC変換プラグCタイプ 01
- microUSB接続ケーブル 01

トラブルシューティング

故障かな?と思ったら

- まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください(P.232)。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ 電源

本端末の電源が入らない

- 電池切れになっていませんか。→P.31

画面が動かない、電源が切れない

- 画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に本端末の電源を強制的に切ることができます。
  ⓞと[◁ ▷]の上を同時に約5秒間押し、本端末の通知LEDが白く1回点滅した後に指を離すと本端末は再起動します。またⓞと[◁ ▷]の上を同時に約10秒間押し、本端末の通知LEDが白く3回点滅した後に指を離すと本端末は強制終了します。→P.37

※強制的に電源を切る操作のため、データおよび設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

■ 充電

充電ができない（通知LEDが点灯しない、電池アイコンが充電中に変わらない）

- アダプタの電源プラグやシガーライタープラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか。→P.35、P.36
- アダプタと本端末が正しくセットされていますか。→P.35
- ACアダプタ 04（別売品）をご使用の場合、ACアダプタのmicroUSBプラグが本端末や付属の卓上ホルダと正しく接続されていますか。→P.33、P.35
- 卓上ホルダを使用する場合、本端末の卓上ホルダ用接触端子は汚れていませんか。汚れたときは、端子部分を乾いた綿棒などで拭いてください。
- microUSB接続ケーブル 01（別売品）を使ってパソコンで充電していませんか。→P.32
- 充電しながら通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇して通知LEDが消灯する（充電が停止する）、または充電が完了しない場合があります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。
- フルセグやモバキャス視聴中に充電を行う場合は、卓上ホルダをご使用ください。

通知LEDが赤色に点滅し、操作ができない

- 電池残量が少ない場合は内蔵電池を充電してください。→P.31

■ 端末操作

操作中・充電中に熱くなる

- 操作中や充電中、また、充電しながらテレビ視聴や動画撮影などを長時間行った場合などには、本端末や内蔵電池、アダプタが熱くなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。

電池の使用時間が短い

- 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。
  圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。
- 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。→P.32
- 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回の使用時間が次第に短くなっていきます。
  十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、裏表紙の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

タップしたり、キーを押したりしても動作しない

- 電源が切れていませんか。→P.36
- 画面ロックを設定していませんか。→P.136

タップしたり、キーを押したりしたときの画面の反応が遅い

- 本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやり取りしているときなどに起きる場合があります。

ドコモminiUIMカードが認識されない

- ドコモminiUIMカードを正しい向きで挿入していますか。→P.28

時計がずれる

- 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。「日付と時刻を自動設定」「タイムゾーンを自動設定」にチェックが入っているかを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。→P.144

端末動作が不安定

- お買い上げ後に端末へインストールしたアプリケーションにより不安定になっている可能性があります。セーフモード（お買い上げ時の状態に近い状態で起動させる機能）で起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリケーションをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。
  セーフモードを起動するには、電源を切った状態で ⓞ を1秒以上押し、XPERIAロゴが表示されたら [◁ ▷] の下を長く押し続けてください。セーフモードが起動すると画面左下に「セーフモード」と表示されます。
  セーフモードを終了するには、電源を入れ直してください。
  電源オンの状態で ⓞ を1秒以上押し、［電源を切る］をロングタッチして［OK］をタップしても、本端末を再起動してセーフモードで起動できます。

※セーフモードを起動するときは、事前に必要なデータをバックアップしてください。
※お客様ご自身で作成したウィジェットが消去される場合があります。
※セーフモードは通常の起動状態ではありません。通常ご利用になる場合はセーフモードを起動しないでください。

- 開発者向けオプションは開発専用に設計されているため、設定すると端末や端末上のアプリケーションが正常に動作しなくなる場合があります。

アプリケーションが正しく動作しない（起動できない、エラーが頻繁に起こるなど）

- 無効化されているアプリケーションはありませんか。無効化されているアプリケーションを有効にしてから再度お試しください。→P.129

■ 画面

ディスプレイが暗い

- バックライト消灯時間を設定していませんか。→P.125
- 画面の明るさ調節を変更していませんか。→P.124
- 使用中に本端末の温度が高くなるとディスプレイが暗くなる場合がありますが、異常ではありません。

■ データ表示

各機能で設定した画像や着信音などが動作せず、お買い上げ時の設定で動作する

- 画像や着信音などの取得時に挿入していたドコモminiUIMカードが挿入されていますか。

■ メール

メールを自動で受信しない

- Eメールアカウントの設定で「Eメールの受信確認頻度」を「手動」に設定していませんか。→P.99

■ カメラ

カメラで撮影した静止画や動画がぼやける

- カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。
- 人物を撮影するときは、顔検出機能を設定してください。→P.192
- 手ぶれ補正を使って撮影してください。→P.185、P.190
- 近くの被写体を写真撮影するときは、撮影モードを「プレミアムおまかせオート」に切り替えてください。→P.178

■ テレビ

フルセグ／ワンセグの視聴ができない

- 地上デジタルテレビ放送サービスのエリア外か放送電波の弱い場所にいませんか。
- チャンネル設定をしていますか。→P.168

■ 海外利用

海外で本端末が使えない

■ アンテナマークが表示されている場合

- WORLD WINGのお申し込みをされていますか。
  WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。

■ 圏外が表示されている場合

- 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか。
  利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」で確認してください。
- ネットワークの設定や海外通信事業者の設定を変更してみてください。
  「通信事業者」の「検索モード」を「自動」に設定してください。
  「ネットワークモード」を「LTE/WCDMA/GSM（自動）」に設定してください。→P.220、P.222、P.221
- 本端末の電源を切った後、再び電源を入れることで回復することがあります。
  →P.36

海外でデータ通信ができない

- 「データローミング」にチェックを入れてください。→P.222

海外で利用中に、突然本端末が使えなくなった

- 利用停止目安額を超えていませんか。
  「国際ローミングサービス（WORLD WING）」のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。

■ データ管理

データ転送が行われない

- USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

microSDカードに保存したデータが表示されない

- microSDカードを差し直してください。
  →P.30

画像表示しようとすると「×」が表示される
またはデモやプレビューで「×」が表示される

- 画像データが壊れている場合は「×」が表示されることがあります。

■ Bluetooth機能

Bluetooth通信対応機器と接続ができない／サーチしても見つからない

- Bluetooth通信対応機器（市販品）側を機器登録待ち受け状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行う場合には、Bluetooth通信対応機器（市販品）、本端末双方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。→P.148

■ 地図・GPS機能

オートGPSサービス情報が設定できない

- 電池残量が少なくなり、オートGPS機能が停止していませんか。
  「低電力時動作設定」により、オートGPS機能が停止している場合は、オートGPSサービス情報は設定できません。この場合、「低電力時動作設定」を「停止しない」に設定するか、充電をすることで設定できるようになります。→P.31、P.132
- 「オートGPS動作設定」にチェックが入っていますか。→P.132

エラーメッセージ

● **通信サービスなし**

- サービスエリア外か、電波の届かない場所にいるため利用できません。電波の届く場所まで移動してください。
- ドコモminiUIMカードが正しく機能していません。
  ドコモminiUIMカードを別の端末に挿入してください。機能するのであれば、問題の原因は本端末にあると考えられます。この場合は、裏表紙の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。
  ドコモminiUIMカードを抜き差しすることで改善する可能性があります。

● **SIMカードはロックされています**

PINコード（P.134）を正しく入力してください。

● **SIMカードはPUKでロックされています**

PUK（PINロック解除コード）（P.135）を正しく入力してください。

● **PINロック解除コードがロックされています**

PINロック解除コードがロックされています。ドコモショップ窓口にお問い合わせください。

● **メモリ不足です**

空き容量がありません。ブラウザの履歴情報などを削除（P.110）したり、不要なアプリケーションを削除（P.129）して容量を確保してください。

スマートフォンあんしん遠隔サポート

お客様の端末上の画面をドコモと共有することで、端末操作設定に関する操作サポートを受けることができます。

- ドコモminiUIMカード未挿入時、国際ローミング中、機内モードなどではご利用できません。
- スマートフォンあんしん遠隔サポートはお申し込みが必要な有料サービスです。
- 一部サポート対象外の操作・設定があります。
- スマートフォンあんしん遠隔サポートの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

1 スマートフォン遠隔サポートセンターへ電話する

■スマートフォン遠隔サポートセンター
0120-783-360
受付時間：午前9:00～午後8:00（年中無休）

2 ホーム画面で をタップし、[基本機能／設定] ▶ [遠隔サポート] をタップする

- 初めてご利用される際には、「ソフトウェア使用許諾書」に同意いただく必要があります。

3 ドコモからご案内する接続番号を入力する

4 接続後、遠隔サポートを開始する

保証とアフターサービス

保証について

- 本端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および『販売店名・お買い上げ日』などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いします。

※本端末は、電話帳などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。

アフターサービスについて

調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」（P.223）をご覧になってお調べください。それでも調子がよくないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（液晶・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■ 以下の場合は、修理できないことがあります。

- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（microUSB接続端子・ヘッドセット接続端子・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）
  - 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後4年間を基本としております。

ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、裏表紙の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

お願い

- **本端末および付属品の改造はおやめください。**
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
    以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - 液晶部やキー部にシールなどを貼る。
    - 接着剤などにより本端末に装飾を施す。
    - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど。
  - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- **各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。**
- **修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。**
- **本端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。**
  キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  使用箇所：スピーカー部
- **本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。**

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェアを更新する

最新のソフトウェアに更新することで、最適なパフォーマンスを実現し、最新の拡張機能を入手することができます。

❖注意

- モバイルネットワーク接続を使用して本端末からインターネットに接続するとき、データ通信に課金が発生します。
- 更新の前に本端末の中のすべてのデータを確実にバックアップしてください。
- ソフトウェア更新後に初めて起動したときは、データ更新処理のため、数分から数十分間、動作が遅くなる場合があります。所要時間は本端末内のデータ量により異なります。通常の動作速度に戻るまでは電源を切らないでください。

❖お知らせ

- ソフトウェア更新について詳しくは、次のホームページをご覧ください。
  http://www.sonymobile.co.jp/support/

ソフトウェア更新の通知設定をする

ソフトウェアが更新されたときに通知するように設定できます。

1 **ホーム画面で をタップし、［基本機能／設定］▶［設定］▶［タブレット情報］▶［ソフトウェア更新］をタップする**

2 **をタップし、［設定］をタップする**

3 **「通知」にチェックを入れる**

- 通知音を変更するには、［通知音］をタップし、変更したい通知音をタップして、［完了］をタップします。

ワイヤレスでソフトウェア更新をダウンロードする

ソフトウェアをダウンロードして更新する

モバイルネットワーク接続またはWi-Fiネットワーク接続を使用し、インターネット経由で、本端末から直接ワイヤレスでソフトウェアをダウンロードできます。

1 ホーム画面で をタップし、［基本機能／設定］▶［設定］▶［タブレット情報］▶［ソフトウェア更新］をタップする

2 「システム」タブをタップし、 をタップする

- 本端末が、ソフトウェア更新を検索します。

❖お知らせ

- ホーム画面で をタップし、 をタップして、［本体設定］▶［タブレット情報］▶［ソフトウェア更新］▶「システム」タブをタップし、 をタップしても、ソフトウェア更新を検索できます。
- 更新センター画面で表示される「新規アプリ」タブ／「更新」タブは、日本国内ではサービスを開始していないためご利用いただけません。

❖注意

- モバイルネットワークでソフトウェアの更新をする場合、データ量の大きい通信を行いますので、パケット通信料が高額になります。このため、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- 海外でローミングサービスをご利用の際は、モバイルネットワークでのダウンロードはできません。

最新のソフトウェア更新を自動ダウンロードする

最新のソフトウェア更新を定期的に検索します。更新がある場合はソフトウェアが自動でダウンロードされ、ステータスバーに が表示されます。

1 ホーム画面で をタップし、［基本機能／設定］▶［設定］▶［タブレット情報］▶［ソフトウェア更新］をタップする

2 をタップし、［設定］をタップする

3 ［自動ダウンロードを許可］をタップし、注意文を読んで［同意する］をタップする

- 「自動ダウンロードを許可」にチェックが入ります。

❖注意

- 自動検索するためにパケット通信料が発生する場合がありますのでご注意ください。

パソコンに接続して更新する

本端末からパソコンにインストールできるPC Companionを使ってソフトウェアを更新することができます。

❖お知らせ

- PC Companionをインストールするパソコンは、インターネットに接続されている必要があります。

PC Companionをご利用のパソコンにまだインストールしていない場合

1 本端末をmicroUSB接続ケーブルでパソコンに接続する

2 本端末上に「PC Companionソフトウェア」画面が表示されたら、[インストール]をタップする

- パソコン上でPC Companionのインストーラが起動します。

3 パソコン上の画面の指示に従ってインストールを行う

- インストール完了後、パソコン上でPC Companionが起動します。さらにソフトウェアの更新がある場合は自動的に通知されますので、パソコン上の画面の指示に従って操作を行ってください。

PC Companionをご利用のパソコンにすでにインストールされている場合

1 パソコン上でPC Companionが起動しているかどうかを確認し、起動していない場合はスタートメニューからPC Companionを起動する

2 本端末をmicroUSB接続ケーブルでパソコンに接続する

3 パソコン上の画面の指示に従って操作を行う

- ソフトウェアの更新がある場合は自動的に通知されます。

ソフトウェア更新に失敗した場合

ソフトウェア更新に失敗して、本端末が起動しない場合は、PC Companionを使った修復操作を行って本端末を復旧することができます。

- 修復操作について詳しくは、次のホームページにあるFAQ（よくあるお問い合わせ）をご覧ください。
  http://www.sonymobile.co.jp/support/

主な仕様

■ 本体

品名		SO-03E
サイズ		高さ約172mm× 幅約266mm× 厚さ約6.9mm（最厚部約7.2mm）
質量		約495g
メモリ		ROM　32GB RAM　2GB
外部メモリ		microSD 2GBまで microSDHC 32GBまで microSDXC 64GBまで対応 （2013年2月現在）
連続待受時間	FOMA／3G	約1120時間（静止時）
	GSM	約930時間（静止時）
	LTE	約1020時間（静止時）
充電時間	ACアダプタ 04	約330分（卓上ホルダSO16併用時約290分）
	DCアダプタ 03	約490分（卓上ホルダSO16併用時約480分）
ワンセグ視聴時間		約410分
モバキャス視聴時間		約480分
ディスプレイ	方式	TFT16,777,216色
	サイズ	約10.1inch
	ドット数	横1920ドット× 縦1200ドット
撮像素子	種類	カメラ：裏面照射型CMOS フロントカメラ：裏面照射型CMOS
	サイズ	カメラ：1/4.0 inch フロントカメラ： 1/6.9 inch
カメラ画素数		カメラ： 有効画素数約810万画素 （記録画素数約800万画素） フロントカメラ： 有効画素数約220万画素 （記録画素数約210万画素）
デジタルズーム		カメラ： 最大約16倍（41段階） フロントカメラ：―
静止画撮影サイズ		カメラ： 3264×2448（8MP 4:3）※1 3104×2328（7MP 4:3）※2 3104×1746（5MP 16:9） 1632×1224（2MP 4:3） 1920×1080（2MP 16:9） 640×480（VGA） フロントカメラ： 1920×1080（2MP 16:9）※3 1824×1026（1.8MP 16:9）※4 1520×1140（1.7MP 4:3） 640×480（VGA）
動画記録サイズ		ビデオカメラ： 1920×1080（フルHD） 1280×720（HD 720p） 640×480（VGA） フロントビデオカメラ： 1920×1080（フルHD） 1280×720（HD 720p） 640×480（VGA）

フレームレート		最大30fps
無線LAN		IEEE802.11a※5/b/g/n※5準拠（IEEE802.11n対応周波数帯：2.4GHz/5GHz）
Bluetooth	対応Bluetoothバージョン	Bluetooth標準規格 Ver.4.0に準拠※6
	出力	Bluetooth標準規格 Power Class 1
	見通し通信距離※7	約10m以内
	対応Bluetoothプロファイル※8	HSP、OPP、SPP、HID、A2DP、AVRCP、HDP、PXP、MAP、DID

※1 撮影モードが「プレミアムおまかせオート」以外、または「シーンセレクション」で「逆光補正HDR」以外、または「ノーマル」で「HDR」が「OFF」の場合の撮影サイズです。
※2 撮影モードが「プレミアムおまかせオート」の場合、または「シーンセレクション」で「逆光補正HDR」の場合、または「ノーマル」で「HDR」が「ON」の場合の撮影サイズです。
※3「HDR」が「OFF」の場合の撮影サイズです。
※4「HDR」が「ON」の場合の撮影サイズです。
※5 ドコモminiUIMカードを挿入していないと使用できません。
※6 本端末を含むすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しております。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやり取りができない場合があります。
※7 通信機器間の障害物や、電波状況により変化します。
※8 Bluetooth対応機器どうしの使用目的に応じた仕様で、Bluetoothの標準規格です。

- 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での目安です。静止時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
  なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか弱い場所）などにより、待受時間は約半分程度になる場合があります。
- インターネット接続を行うと通信・待受時間は短くなります。
  また、通信やインターネット接続をしなくてもメールを作成したり、カメラやアプリケーションを起動すると通信・待受時間は短くなります。
- 充電時間は、内蔵電池が空の状態から充電したときの目安です。

■ 内蔵電池

使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	DC3.7V
公称容量	6000mAh

■ ファイル形式（メディア）

本端末は以下のファイル形式の表示・再生に対応しています。

種　類	ファイル形式
音	WAV（PCM、G.711）（.wav）、AAC（.3gp、.m4a、.mp4）、AAC+（.3gp、.m4a、.mp4）、eAAC+（.3gp、.m4a、.mp4）、MP3（.mp3）、AMR-NB（.3gp）、AMR-WB（.3gp）、MIDI（SP-MIDI/GM/GML（.mid）、XMF（.xmf）、Mobile XMF 1.0（.mxmf）、RTTTL/RTX（.rtttl、.rtx）、OTA（.ota）、iMelody（.imy））、Ogg Vorbis（.ogg）、FLAC（.flac）、PIFF（.isma）
静止画※	JPEG（.jpeg、.jpg）、GIF（.gif）、PNG（.png）、BMP（.bmp）、WEBP（.webp）
動画	H263（.3gp、.mp4）、H264 AVC（.3gp、.mp4）、MPEG-4 SP（.3gp）、VP8（.webm、.mkv）、Xvid（.avi）、Quicktime（.mov）、PIFF（.ismv）

※ 本端末でのカメラ撮影時はJPEGで保存されます。

■ ファイル形式（ドキュメント）

本端末は以下のバージョン／拡張子のファイルの閲覧に対応しています。

種　類	バージョン／ファイル形式
Microsoft Word	Microsoft Word 97～2010／.doc、.docx、.rtf、.txt、.log
Microsoft Exceld	Microsoft Excel 97～2010／.xls、.xlsx、.csv
Microsoft PowerPoint	Microsoft PowerPoint 97～2010／.ppt、.pps、.pptx、.ppsx
PDF	Ver1.7／.pdf

※ 一部のファイルでは、レイアウトが崩れるなど正常に閲覧できない場合があります。

■ 静止画の撮影枚数（目安）

内部ストレージに保存できる撮影枚数	最大約1085500枚
microSDカード（1GB）に保存できる撮影枚数	最大約41940枚

※ 解像度が640×480（VGA）の場合の撮影枚数です。

■ 動画の撮影時間（目安）

内部ストレージに保存できる撮影時間	1件あたり：最大約254分 合計：最大約1487分
microSDカード（1GB）に保存できる撮影時間	1件あたり：最大約63分 合計：最大約63分

※ 解像度が640×480（VGA）の場合の撮影時間です。

認証および準拠について

本端末に固有の認定および準拠マークに関する詳細（認証・認定番号を含む）について確認できます。

1 **ホーム画面で をタップし、[基本機能／設定] ▶ [設定] をタップする**

2 **[タブレット情報] ▶ [法的情報] ▶ [認証] をタップする**

携帯電話機の比吸収率などについて

Tablet Personal Computer: GSM/GPRS/EDGE 850/900/1800/1900 & UMTS/HSPA B1/5/6/19 & LTE B1/19/21

Radio Wave Exposure and Specific Absorption Rate (SAR) Information

United States

This Tablet Personal Computer model has been certified incompliance with the government's requirements for exposure to radio waves.

The Tablet Personal Computer have been designed to comply with applicable safety requirements for exposure to radio waves. Your wireless Tablet Personal Computer is a radio transmitter and receiver. It is designed to not exceed the limits* of exposure to radio frequency (RF) energy set by governmental authorities. These limits establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by international scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a safety margin designed to assure the safety of all individuals, regardless of age and health. The radio wave exposure guidelines employ a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). Tests for SAR are conducted using standardized methods with the Tablet Personal Computer transmitting at its highest certified power level in all used frequency bands. While there may be differences between the SAR levels of various Tablet Personal Computer models, they are all designed to meet the relevant guidelines for exposure to radio waves. For more

information on SAR, please refer to the safe and efficient use chapter in the User Guide. The highest SAR value as reported to the authorities for this Tablet Personal Computer model when tested for use against the body is 1.44 W/kg*. The Tablet Personal Computer has been tested when positioned of 0 mm from the body without any metal parts in the vicinity of the Tablet Personal Computer or when properly used with an appropriate Sony. For devices which include "WiFi hotspot" functionality, SAR measurements for the device operating in WiFi hotspot mode were taken using a separation distance of 0 mm.

** Before a Tablet Personal Computer model is available for sale to the public in the US, it must be tested and certified by the Federal Communications Commission (FCC) that it does not exceed the limit established by the government-adopted requirement for safe exposure*. The tests are performed in positions and locations (i.e., by the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The FCC has granted an Equipment Authorization for this Tablet Personal Computer model with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. While there may be differences between the SAR levels of various Tablet Personal Computers, all mobile Tablet Personal Computers granted an FCC equipment authorization meet the government requirement for safe exposure. SAR information on this Tablet Personal Computer model is on file at the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/oet/fccid after searching on FCCID PY7TM-0000. Additional information on SAR can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) website at http://www.ctia.org/.

* In the United States, the SAR limit for mobile Tablet Personal Computers used by the public is 1.6 watts/kilogram (W/kg) averaged over one gram of tissue. The standard incorporates a margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

** This paragraph is only applicable to authorities and customers in the United States.

Guidelines for Safe and Efficient Use

Please follow these guidelines. Failure to do so might entail a potential health risk or product malfunction. If in doubt as to its proper function, have the product checked by a certified service partner before charging or using it.

■ Recommendations for care and safe use of our products

- Handle with care and keep in a clean and dust-free place.
- **Warning!** May explode if disposed of in fire.
- Do not expose to liquid or moisture or excess humidity.
- For optimum performance, the product should not be operated in temperatures below +5°C (+41°F) or above +35°C (+95°F). Do not expose the battery to temperatures above +60°C (+140°F).

>60°C/140°F

- Do not expose to flames or lit tobacco products.
- Do not drop, throw or try to bend the product.
- Do not paint or attempt to disassemble or modify the product. Only Sony Mobile Communications AB authorised personnel should perform service.
- Consult with authorised medical staff and the instructions of the medical device manufacturer before using the product near pacemakers or other medical devices or equipments.
- Discontinue use of electronic devices, or disable the radio transmitting functionality of the device, when required or requested to do so.
- Do not use where a potentially explosive atmosphere exists.
- Do not place the product, or install wireless equipment, in the area above an air bag in a car.
- **Caution:** Cracked or broken displays may create sharp edges or splinters that could be harmful upon contact.
- Do not use the Bluetooth Headset in positions where it is uncomfortable or will be subject to pressure.

■ Children

Warning! Keep out of reach of children. Do not allow children to play with Tablet Personal Computers or accessories. They could hurt themselves or others. Products may contain small parts that can be detached and create a choking hazard.

■ Power supply (Charger)

Connect the charger to power sources as marked on the product. Do not use outdoors or in damp areas. Do not alter or subject the cord to damage or stress. Unplug the unit before cleaning it. Never alter the plug. If it does not fit into the outlet, have a proper outlet installed by an electrician. When a power supply is connected, there is a small drain of power. To avoid this small energy waste, disconnect the power supply when the product is fully charged. Use of charging devices that are not Sony Mobile Communications AB branded may pose increased safety risks.

■ Battery

New or idle batteries can have short-term reduced capacity. Fully charge the battery before initial use. Use for the intended purpose only. Charge the battery in temperatures between +5°C (+41°F) and +35°C (+95°F). Do not put the battery into your mouth. Do not let the battery contacts touch another metal object. Turn off the product before removing the battery. Performance depends on temperatures, signal strength, usage patterns, features selected and voice or data transmissions. Only Sony Mobile Communications AB service partners should remove or replace built-in batteries. Use of batteries that are not Sony Mobile Communications AB branded may pose increased safety risks. Replace the battery only with another Sony Mobile Communications AB battery that has been qualified with the product as per the standard IEEE-1725. Use of an unqualified battery may present a risk of fire, explosion, leakage or other hazard.

■ Personal medical devices

Tablet Personal Computers may affect implanted medical equipment. Reduce risk of interference by keeping a minimum distance of 22 cm (8.7 inches) between the Tablet Personal Computer and the device. Use the Tablet Personal Computer at your right ear. Do not carry the Tablet Personal Computer in your breast pocket. Turn off the Tablet Personal Computer if you suspect interference. For all medical devices, consult a physician and the manufacturer.

■ Driving

Some vehicle manufacturers forbid the use of Tablet Personal Computers in their vehicles unless a handsfree kit with an external antenna supports the installation. Check with the vehicle manufacturer's representative to be sure that the Tablet Personal Computer or Bluetooth handsfree will not affect the electronic systems in the vehicle. Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

■ GPS/Location based functions

Some products provide GPS/Location based functions. Location determining functionality is provided "As is" and "With all faults". Sony Mobile Communications AB does not make any representation or warranty as to the accuracy of such location information.

Use of location-based information by the device may not be uninterrupted or error free and may additionally be dependent on network service availability. Please note that functionality may be reduced or prevented in certain environments such as building interiors or areas adjacent to buildings.

Caution: Do not use GPS functionality in a manner which causes distraction from driving.

■ Emergency calls

Calls cannot be guaranteed under all conditions. Never rely solely upon Tablet Personal Computers for essential communication. Calls may not be possible in all areas, on all networks, or when certain network services and/or Tablet Personal Computer features are used.

■ Antenna

Use of antenna devices not marketed by Sony Mobile Communications AB could damage the Tablet Personal Computer, reduce performance, and produce SAR levels above the established limits. Do not cover the antenna with your hand as this affects call quality, power levels and can shorten talk and standby times.

■ Radio Frequency (RF) exposure and Specific Absorption Rate (SAR)

When the Tablet Personal Computer or Bluetooth handsfree is turned on, it emits low levels of radio frequency energy. International safety guidelines have been developed through periodic and thorough evaluation of scientific studies. These guidelines establish permitted levels of radio wave exposure. The guidelines include a safety margin designed to assure the safety of all persons and to account for any variations in measurements.

Specific Absorption Rate (SAR) is used to measure radio frequency energy absorbed by the body when using a Tablet Personal Computer. The SAR value is determined at the highest certified power level in laboratory conditions, but because the Tablet Personal Computer is designed to use the minimum power necessary to access the chosen network, the actual SAR level can be well below this value. There is no proof of difference in safety based on difference in SAR value.

Products with radio transmitters sold in the US must be certified by the Federal Communications Commission (FCC). When required, tests are performed when worn on the body. For body-worn operation, this Tablet Personal Computer has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. Please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the handset a minimum of 1.5 cm from the body.

For more information about SAR and radio frequency exposure, go to: *http://www.sonymobile.co.jp/product/SAR/*.

■ Flight mode

Bluetooth and WLAN functionality, if available in the device, can be enabled in Flight mode but may be prohibited onboard aircraft or in other areas where radio transmissions are prohibited. In such environments, please seek proper authorisation before enabling Bluetooth or WLAN functionality even in Flight mode.

■ Malware

Malware (short for malicious software) is software that can harm the Tablet Personal Computer or other computers. Malware or harmful applications can include viruses, worms, spyware, and other unwanted programs. While the device does employ security measures to resist such efforts, Sony Mobile Communications AB does not warrant or represent that the device will be impervious to the introduction of malware. You can however reduce the risk of malware attacks by using care when downloading content or accepting applications, refraining from opening or responding to messages from unknown sources, using trustworthy services to access the Internet, and only downloading content to the Tablet Personal Computer from known, reliable sources.

■ Accessories

Use only Sony Mobile Communications AB branded original accessories and certified service partners. Sony Mobile Communications AB does not test third-party accessories. Accessories may influence RF exposure, radio performance, loudness, electric safety and other areas. Third-party accessories and parts may pose a risk to your health or safety or decrease performance.

■ Disposal of old electrical and electronic equipment

Electronic equipment and batteries should not be included as household waste but should be left at an appropriate collection point for recycling. This helps prevent potential negative consequences for the environment and human health. Check local regulations by contacting your local city office, your household waste disposal service, the shop where you purchased the product or calling a Sony Mobile Communications AB Contact Center. Do not attempt to remove internal batteries. Internal batteries shall be removed only by a waste treatment facility or trained service professional.

■ Disposing of the battery

Check local regulations or call a Sony Mobile Communications AB Contact Center for information. Never use municipal waste.

■ Memory card

If the product comes complete with a removable memory card, it is generally compatible with the handset purchased but may not be compatible with other devices or the capabilities of their memory cards. Check other devices for compatibility before purchase or use. If the product is equipped with a memory card reader, check memory card compatibility before purchase or use.

Memory cards are generally formatted prior to shipping. To reformat the memory card, use a compatible device. Do not use the standard operating system format when formatting the memory card on a PC. For details, refer to the operating instructions of the device or contact customer support.

Warning!

If the device requires an adapter for insertion into the handset or another device, do not insert the card directly without the required adapter.

■ Precautions on memory card use

- Do not expose the memory card to moisture.
- Do not touch terminal connections with your hand or any metal object.
- Do not strike, bend, or drop the memory card.
- Do not attempt to disassemble or modify the memory card.
- Do not use or store the memory card in humid or corrosive locations or in excessive heat such as a closed car in summer, in direct sunlight or near a heater, etc.
- Do not press or bend the end of the memory card adapter with excessive force.
- Do not let dirt, dust, or foreign objects get into the insert port of any memory card adapter.
- Check if you have inserted the memory card correctly.
- Insert the memory card as far as it will go into any memory card adapter needed. The memory card may not operate properly unless fully inserted.
- We recommend that you make a backup copy of important data. We are not responsible for any loss or damage to content you store on the memory card.
- Recorded data may be damaged or lost when you remove the memory card or memory card adapter, turn off the power while formatting, reading or writing data, or use the memory card in locations subject to static electricity or high electrical field emissions.

■ Protection of personal information

Erase personal data before disposing of the product. To delete data, perform a master reset. Deleting data from the Tablet Personal Computer memory does not ensure that it cannot be recovered. Sony Mobile Communications AB does not warrant against recovery of information and does not assume responsibility for disclosure of any information even after a master reset.

Loudness warning!

Avoid volume levels that may be harmful to your hearing.

FCC Statement for the USA

This device complies with Part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions:

(1) This device may not cause harmful interference.

(2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Any change or modification not expressly approved by Sony Mobile Communications AB may void the user's authority to operate the equipment.
This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.
However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.
If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Declaration of Conformity for SO-03E

CE 0682 ⓘ

The Product "SO-03E" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2. The Declaration of Conformity can be found on
http://www.sonymobile.co.jp/product/SAR/doc/.

End User Licence Agreement／エンドユーザーライセンス契約

End User Licence Agreement

Software delivered with this device and its media is owned by Sony Mobile Communications AB, and/or its affiliated companies and its suppliers and licensors.
Sony Mobile grants you a non-exclusive limited licence to use the Software solely in conjunction with the Device on which it is installed or delivered. Ownership of the Software is not sold, transferred or otherwise conveyed.
Do not use any means to discover the source code or any component of the Software, reproduce and distribute the Software, or modify the Software. You are entitled to transfer rights and obligations to the Software to a third party, solely together with the Device with which you received the Software, provided the third party agrees in writing to be bound by the terms of this Licence.

This licence exists throughout the useful life of this Device. It can be terminated by transferring your rights to the Device to a third party in writing.
Failure to comply with any of these terms and conditions will terminate the licence immediately.
Sony Mobile and its third party suppliers and licensors retain all rights, title and interest in and to the Software. To the extent that the Software contains material or code of a third party, such third parties shall be beneficiaries of these terms.
This licence is governed by the laws of Sweden. When applicable, the foregoing applies to statutory consumer rights.
In the event Software accompanying or provided in conjunction with your device is provided with additional terms and conditions, such provisions shall also govern your possession and usage of the Software.

エンドユーザーライセンス契約

本製品及び付属のメディアに含まれるソフトウェア（以下「本ソフトウェア」という）は、Sony Mobile Communications AB（以下「ソニーモバイル」という）及び／又はその子会社、サプライヤー、ライセンサーがその権利を有するものとします。
ソニーモバイルは、お客様に対し、本ソフトウェアについて、本製品と共に使用する場合に限り、非独占、限定的なライセンス（以下「本ライセンス」という）を許諾します。
本ソフトウェアの権利は、何ら販売、移転、その他の方法で譲渡されるものではありません。
お客様は、いかなる手段を用いても、本ソフトウェアのソースコード及びコンポーネントを解読してはならず、また、本ソフトウェアを複製、頒布、修正することは出来ません。
お客様が本ソフトウェアについての権利及び義務を第三者に譲渡出来るのは、本ソフトウェアを本製品と共に第三者に譲渡し、かつ、当該第三者が、本ライセンスの条件を遵守することにつき書面をもって合意した場合に限られます。
本ライセンスは、お客様の本製品使用期間中、有効に存続します。
本ライセンスは、お客様の権利を本製品と共に第三者に書面により譲渡することによって終了することが出来ます。

お客様が、本契約のいずれかの条項に違反した場合、本ライセンスは直ちに取り消されます。
本ソフトウェアに関する全ての権利、権原、権益は、ソニーモバイル、サプライヤー、及びライセンサーに帰属するものとします。
本ソフトウェアに、サプライヤー又はライセンサーが権利を有する素材又はコードが含まれている場合は、その限りにおいて、かかるサプライヤー又はライセンサーは本契約における受益者となるものとします。
本契約の準拠法は、スウェーデン法とします。
上記準拠法は、適用可能な場合には、消費者の法定の権利にも適用されるものとします。
本ソフトウェアにつき追加的な条件が付された場合は、かかる条件は、本契約の各条項に加えて、お客様の本ソフトウェアの保有及び使用について適用されるものとします。

About Open Source Software／オープンソースソフトウェアについて

About Open Source Software

This product includes certain open source or other software originating from third parties that is subject to the GNU General Public License (GPL), GNU Library/Lesser General Public License (LGPL) and different and/or additional copyright licenses, disclaimers and notices. The exact terms of GPL, LGPL and some other licenses, disclaimers and notices are reproduced in the about box in this product and are also available at http://opensource.sonymobile.com.

Sony Mobile offers to provide source code of software licensed under the GPL or LGPL or some other open source licenses allowing source code distribution to you on a CD-ROM for a charge covering the cost of performing such distribution, such as the cost of media, shipping and handling, upon written request to Sony Mobile Communications AB, Open Source

Software Management, Nya Vattentornet, SE-221 88 Lund, Sweden. This offer is valid for a period of three (3) years from the date of the distribution of this product by Sony Mobile.

オープンソースソフトウェアについて

本製品は、オープンソースソフトウェアまたはその他のGNU General Public License (GPL)、GNU Library/Lesser General Public License (LGPL)及び／またはその他の著作権ライセンス、免責条項、ライセンス通知の適用を受ける第三者のソフトウェアを含みます。GPL、LGPL及びその他のライセンス、免責条項及びライセンス通知の具体的な条件については、本製品の「タブレット情報」から参照いただけるほか、http://opensource.sonymobile.com でも参照いただけます。

ソニーモバイルは、Sony Mobile Communications AB, Open Source Software Management, Nya Vattentornet, SE-221 88 Lund, Sweden宛の書面による要求があった場合、GPL、LGPL又はその他のソースコードの配布を要求しているオープンソースライセンスのもとでライセンスされているソフトウェアのソースコードにつき、配布のために必要な費用（メディア費用、物流費用、取扱い費用等）を負担いただくことを条件に、CD-ROMにて配布をいたします。
上記のソースコードの提供の申し出は、本製品がソニーモバイルにより販売されてから3年間有効なものとします。

輸出管理規制について

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。本製品及び付属品を輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省へお問合せください。

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「FOMA」「ｉモード」「ｉアプリ」「デコメール®」「デコメ®」「spモード」「WORLD WING」「トルカ」「mopera」「mopera U」「ｉチャネル」「ケータイお探しサービス」「エリアメール」「イマドコサーチ」「イマドコかんたんサーチ」「マチキャラ」「Xi」「Xi／クロッシィ」「eトリセツ」「dメニュー」「dマーケット」「spモード」ロゴ、「トルカ」ロゴ、「Xi」ロゴは（株）NTTドコモの商標または登録商標です。
- 「Bluetooth」は、Bluetooth SIG. Inc.の登録商標であり、ソニーモバイルコミュニケーションズはライセンスに基づいて使用しています。

Bluetooth®

- 「Wi-Fi」は、Wi-Fi Allianceの登録商標です。
- Wi-Fi Protected SetupおよびWi-Fi Protected SetupロゴはWi-Fi Allianceの商標です。
- The Wi-Fi Protected Setup Mark is a mark of the Wi-Fi Alliance.

- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- 「モバキャス」は、株式会社ジャパン・モバイルキャスティングの商標です。
- 「NOTTV」は、株式会社mmbiの商標です。
- 「Xperia」は、Sony Mobile Communications ABの商標または登録商標です。
- 「Media Go」は、Sony Media Software and Servicesの商標または登録商標です。
- "PlayStation"、"プレイステーション"、"[PSロゴ]"は、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商標または登録商標です。

PlayStation™ Certified

- 「ブラビア」「Sony」「スイングパノラマ」「スマイルシャッター」「プレミアムおまかせオート」「顔検出」「WALKMAN」「xLOUD」「Reader」「Clear Phase」はソニー株式会社の商標または登録商標です。
- "POBox"および"POBox"ロゴは、株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所の登録商標です。"POBox"は、株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所とソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社が共同開発した技術です。

POBox®

- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- [Nマーク]はNFC Forum, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- 「Twitter」はTwitter, Inc.の商標または登録商標です。
- 「Google」「Google」ロゴ、「Android」「Android」ロゴ、「Google Play」「Google Play」ロゴ、「Google+」「Gmail」「モバイルGoogle マップ」「Google トーク」「Google Latitude」「Google Calendar」「YouTube」「YouTube」ロゴ、「Picasa」は、Google, Inc.の商標または登録商標です。
- FacebookおよびFacebookロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。
- mixi, mixiロゴは、株式会社ミクシィの登録商標です。
- DLNA is a trademark or registered trademark of the Digital Living Network Alliance.

- MHL、Mobile High-Definition LinkおよびMHLロゴは、MHL, LLCの商標または登録商標です。
- HDMI, HDMI Logo, High-Definition Multimedia InterfaceはHDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- 「Microsoft」「Windows」「Outlook」「Windows Vista」「Windows Server」「Windows Media」「PlayReady」と「ActiveSync」は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- 本製品は、Microsoftの知的財産権に依存した技術が含まれています。かかる技術を本製品から切り離して、Microsoftのライセンス許可を受けずに使用または頒布することは禁止されています。
- コンテンツ権利者は、Microsoft PlayReadyコンテンツアクセス技術を使用することで、著作権で保護されたコンテンツも含め、知的財産権を保護しています。本製品は、PlayReady技術を使用して、PlayReady及び／又はWMDRMにより保護されたコンテンツにアクセスをします。本製品がコンテンツ使用制限を適切に実施できない場合、当該コンテンツ権利者は、Microsoftに対し、PlayReadyによって保護されたコンテンツを使用する本製品の機能を無効化するよう申し入れることがあります。この無効化はPlayReadyによって保護されていないコンテンツ及び他のコンテンツアクセス技術によって保護されているコンテンツに影響を与えません。コンテンツ権利者は、提供コンテンツへのアクセスに必要なPlayReadyのアップグレードを要求することがあります。アップグレードを行わない場合、当該提供コンテンツへのアクセスができなくなります。

- 本製品は、MPEG-4ビジュアルおよびAVC特許ポートフォリオライセンスのもとで、消費者が商業目的以外で個人的に使用するために提供されており、次の用途に限定されます。（i）MPEG-4ビジュアル標準（以下「MPEG-4ビデオ」）またはAVC規格（以下「AVCビデオ」）に準拠したビデオのエンコード、および/または（ii）商業目的以外の個人的な活動に従事している消費者によってエンコードされたMPEG-4またはAVCビデオのデコード、および／または、MPEG-4またはAVCビデオの提供をMPEG LAによってライセンス許可されているビデオプロバイダから入手したMPEG-4またはAVCビデオのデコード。その他の用途に対するライセンスは許諾されず、黙示的に許可されることもありません。販売促進目的、内部目的および商業目的の使用およびライセンス許可に関する追加情報は、MPEG LA, L.L.Cより入手できます（http://www.mpegla.com を参照）。MPEGレイヤー3オーディオデコード技術は、Fraunhofer IIS and Thomsonによってライセンス許可されます。
- その他、本書で登録するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。
  なお、本文中では、TM、®マークは表記していません。
- 本書に明示されていないすべての権利は、その所有者に帰属します。

SIMロック解除

本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
- 別途SIMロック解除手数料がかかります。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、LTE方式では、ご利用いただけません。また、ご利用になれるサービス、機能などが制限されます。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

索引

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

英数字

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。
spモードから　dメニュー⇒「お客様サポート」⇒「各種お申込・お手続き」（パケット通信料無料）
パソコンから　My docomo (http://www.mydocomo.com/) ⇒ 各種お申込・お手続き

※ spモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※ spモードからご利用になる際は、一部有料となる場合があります。
※ パソコンからご利用になる場合、「docomo ID／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は裏表紙の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。
※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合
航空機内、病院内では、必ず本端末の電源を切ってください。
※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。
ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■ 満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

■ 運転中の場合
運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合
静かにすべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

本端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

【マナーモード】（P.47）
通知音や操作音など、本端末から鳴る音を消します。
※ ただし、シャッター音は消せません。

総合お問い合わせ先
〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合
（局番なしの）151　（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合
0120-800-000
※一部のIP電話からは接続できない場合があります。
受付時間　午前9:00～午後8:00（年中無休）

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合
（局番なしの）113　（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合
0120-800-000
※一部のIP電話からは接続できない場合があります。
受付時間　24時間（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。

ドコモホームページ http://www.nttdocomo.co.jp/

海外での紛失、盗難、故障および各種お問い合わせ先（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 -81-3-6832-6600*（無料）

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

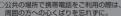
一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 -8000120-0151*

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
●お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。
○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。
※ 回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）

SONY®

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　ソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社
'13.3（1.1版）1271-6973.1